

CDレシーバー

PLS-1410

この度はPLS-1410をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておくことをおすすめします。

PLS-1410取扱説明書



※製品開発の進行および説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

目　次

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



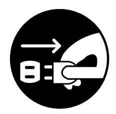
警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



△記号は行為を促す内容を告げるものです。
（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告	絵表示	内容
警告	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
		●乾電池は、充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災・感電の原因となります。
	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

通風孔のある機器のみ

●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

ACアウトレット（電源コンセント）付き機器のみ

●この機器のACアウトレットが供給できる電力は背面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

⚠ 注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

電池を使用する機器のみ

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス ⊕ と マイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りにいれてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

●アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

※送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

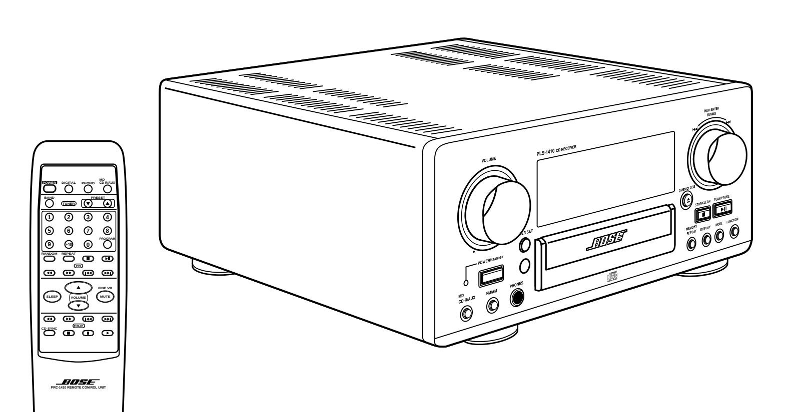
●万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

●お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

特　　長



光デジタル入力端子装備のCDレシーバー

コンパクトディスクプレーヤーとFM/AMチューナーを内蔵し、さらに多彩なデジタルサウンドを楽しむためにデジタル入力端子も装備した全く新しい発想のCDレシーバーです。

デジタル録音が可能な光デジタル出力端子を装備

CD-R/RW、MDへのCDの信号をデジタルのままで録音するための光デジタル出力端子を装備しました。

FM/AM合わせて30局のプリセット、また、お使いの地域の放送局があらかじめメモリーしてある“エリアファインメモリー”

お使いになる地域を選ぶだけで、放送局がメモリーされる“エリアファインメモリー”機能を装備しています。また、ご自分で普段よく聴く放送局だけをメモリーすることもできます。

フォノイコライザー内蔵

本機はフォノイコライザー（MM型専用）を内蔵しているので、アナログのレコードプレーヤーをそのまま接続することができます。お手持ちのレコードを最新のシステムでお楽しみいただけます。

小音量時でもバランスのとれた音を生み出す“Psycho Acoustically Processed”回路

人間の耳は音量が小さくなるにしたがって、ある特定の帯域が聴こえにくくなる性質をもっています。このため大きな音では自然に聴こえる再生音も、小音量になると中域だけの目立つ、もの足りない音になってしまいます。そんな人間の聴覚を研究し、どんな再生レベルでも聴感上もっとも自然な周波数バランスに聴こえるようコントロールします。

Model 121、363用スピーカーイコライザー回路搭載

スピーカーのインピーダンス特性やダンピング特性などは、入力信号の大きさや周波数に応じて変化し、これが再生音の音質変化などの要因となっていました。そこでボーズでは、長年にわたる心理音響学の研究により確立したアクティブ・イコライザー回路を搭載、スピーカーの再生能力を最大限まで引き出し、常にナチュラルなボーズ・サウンドの再生を可能にしています。
（121、363、OTHERSの3種類）

高信頼性CDメカと20bit D/Aコンバーター採用

正確にディスクからデジタル信号を取り出し、アナログ信号へと変換するために、20bit D/Aコンバーターを採用しました。また、信頼性、安定性にすぐれたCDメカを採用し、より正確な信号を取り出すことに成功しています。

バーズアイ・メイプル調のサイドパネル

スピーカーの音圧などによる外部振動や駆動系の内部振動に対し、キャビネットの剛性や振動特性、電気特性を追及し、シャーシ部分には銅メッキを施し、フロントパネルには10mm厚のアルミパネルを採用しました。また、サイドパネルは121、363と同じくバーズアイ・メイプル調に仕上げ、高級感を醸し出すと共にコンポーネント・システムとしての統一感を生み出しています。

伝送効率に優れた金メッキ処理による入力端子

音楽信号の入口、出口となる入力端子は、伝送ロスを最小限にとどめるため金メッキ処理を施しました。

出力のアップと各種機能の充実を実現しながら、しかも省エネ化を達成

55W＋55Wの出力を実現するとともに、スリープタイマーをはじめとする充実したタイマー機能、チューナーでの便利なエリアファインメモリーの搭載、音量の微調整を可能にするファイン・ボリューム・コントロール機能など、利便性を追及した機能を装備。さらに、省エネモード時の待機消費電力は約1Wと大幅に低減しています。

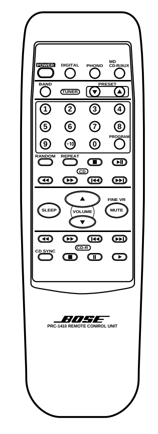
本体のお手入れについて

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

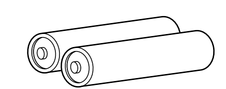
開梱時のご注意

付属品を確認してください

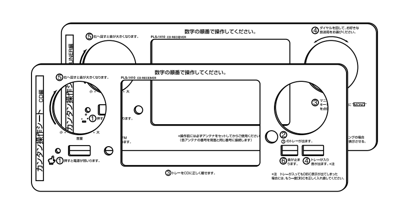
もし開梱時に損傷などが発見された場合や、内容物が不足しているときはそのままの状態を保ち、ただちにお買上になった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日製品の修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。



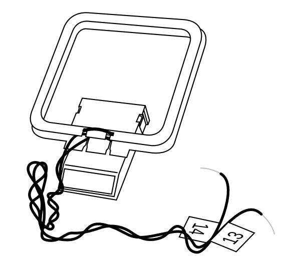
リモコン
PRC-1410×１個



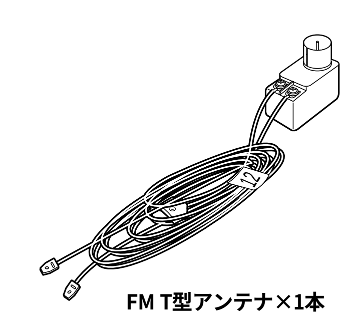
チェック用リモコン用電池（単3型）×2本



カンタン操作シート（CD 用）×1枚
カンタン操作シート（チューナー 用）×1枚

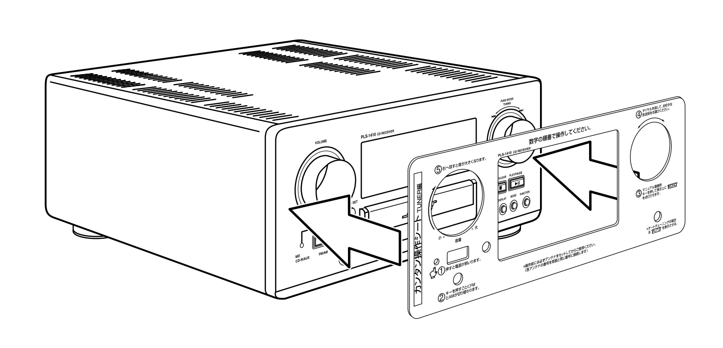


AM ループアンテナ×1本



FM T型アンテナ×1本

カンタン操作シートの使い方



本取扱説明書にしたがって全ての結線を終えた後、図のように簡単操作シートをPLS-1410のフロント面にはめ込みます。表示の数字の順番に操作することによって、CDプレーヤー、チューナーの操作ができます。

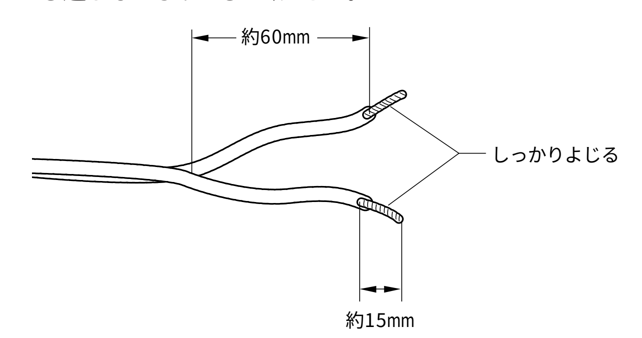
接続の方法

◆スピーカーケーブルの接続◆

1. スピーカーケーブルの先端の被覆をはがします。

※スピーカーケーブルの極性（⊕、⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり低音が出なくなったりします。

※すべての接続が終わるまでは電源コードをコンセントに差し込まないようにしてください。



2. スピーカーケーブルをつなぎます。

本機のスピーカー出力端子にスピーカーケーブルを接続してください。出力端子をゆるめ、ケーブルの芯線部分を差し込み、端子を締めます。

※本機のスピーカー出力端子はバナナプラグにも対応しています。
※お聴きになる場所から向って右側になるスピーカーの⊕端子と本機の⑱端子、スピーカーの⊖端子と⑲端子、左側になるスピーカーの⊕端子と㉑端子、スピーカーの⊖端子と⑳端子とを接続してください。



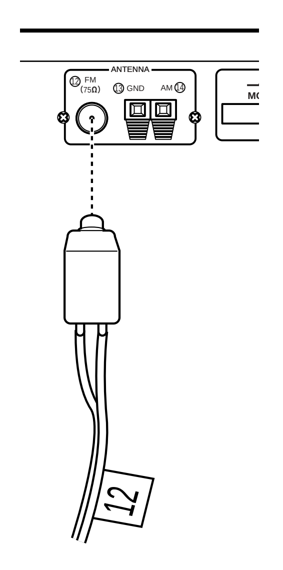
注意 接続の際、スピーカーケーブルの芯線が端子からはみ出したりして他の端子や、金属部に接触しないように注意してください。ショートして、火災などの原因となる場合があります。

◆アンテナの接続◆

ラジオを聴くためには、必ずアンテナを接続してください。アンテナを接続しないと電波の受信ができずラジオを聴くことができません。アンテナの設置については24～25ページ「◆アンテナの調整◆」をご覧ください。

● FMアンテナの接続

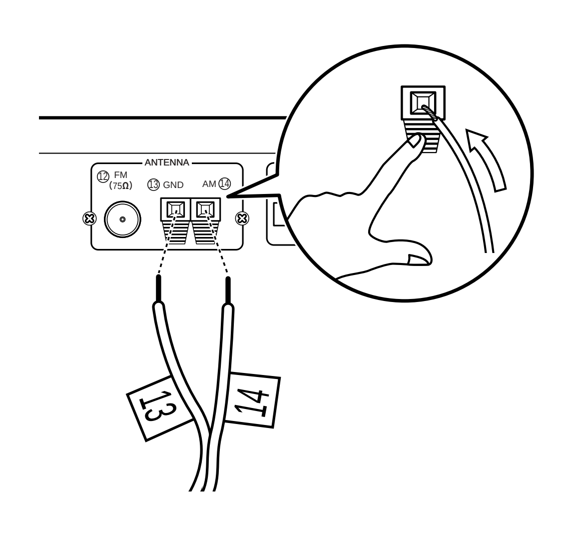
本機背面のジャック⑫に付属のFM T型アンテナのプラグ側をしっかり差し込みます。



※付属のFM T型アンテナを使用します。

●AMアンテナの接続

本機背面の⑬、⑭の端子に⑬、⑭の番号が付いているアンテナコードを接続します。



※付属のAMループアンテナを使用します。

スピーカーの設置場所について

お聴きになる位置は、図のように左右のスピーカーを底辺とした二等辺三角形の頂点が理想的です。

設置について

スピーカーの再生音は、スピーカーを設置する場所やリスニングルームの状況などに大きく影響されます。より良い再生音が得られるよう次の点を考慮したうえ、設置してください。

●出きるだけ遮音された静かな部屋でご使用ください。

●スピーカーは、聴取される耳の高さとほぼ同じになるように設置するのが理想です。

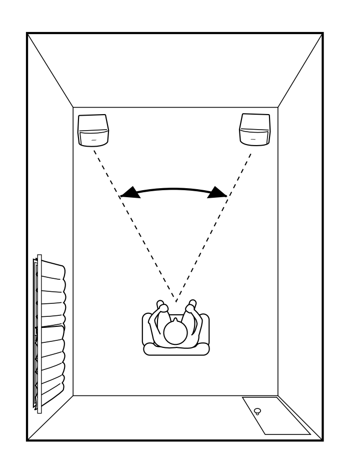
●音質は部屋の音響特性によって変化します。室内に吸音処理することによって、周波数に対する残響時間のバラつきを抑え良好な再生音を得ることができます。

●スピーカーの正面にガラス戸や壁面などありますと、音の反射や共振が起こりやすくなります。この場合、カーテンや厚手の布などをかけて、吸音処理することをおすすめします。

●スピーカーを固い床などに直接置いてご使用されますと、音の反射や共振が起こりやすくなります。この場合、じゅうたんを敷くことによって防止することができますが、じゅうたんの厚みや質によっては、中高域が吸収されすぎることがありますのでご注意ください。

●ステレオ再生の場合、左右のスピーカーができるだけ同じ音響条件になるように設置してください。左右のバランスがそろっていないと、定位がぼやけたり焦点の定まらない音になります。

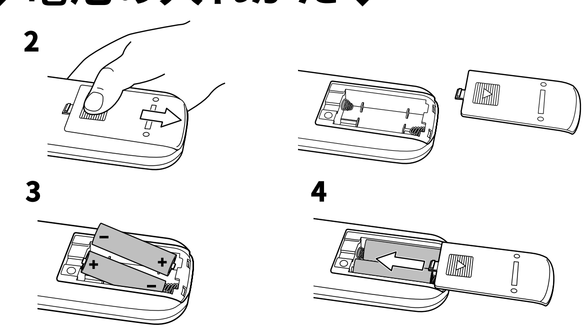
●ステレオ再生の場合、左右のスピーカーの間隔は聴取位置との相関によって変わります。通常聴取位置から左右のスピーカーをはさんだ角度は40～60度くらいが良く、あまり狭くすると十分なステレオ感が得られなくなります。



※室内の音響特性に合わせて、本機の調整を行うことができます（22～23ページ参照）。

リモコンの使い方

◆電池の入れかた◆



1. リモコンを裏返しにします。

2. 図のようにフタを引きだすように電池ボックスを開けます。

3. ボックス内の表示に合わせて乾電池（単3型）2本を入れます。

4. スライドさせるようにフタを閉めてください。

※付属の電池は動作チェック用です。
必ず新しい電池（単3型乾電池）をご用意ください。

⚠ 電池についてのご注意

●乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。

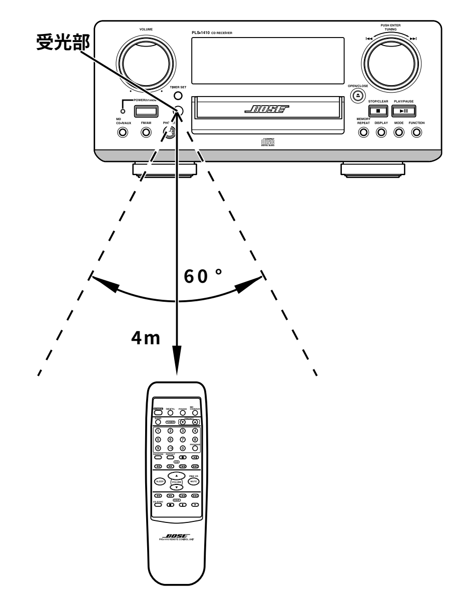
●新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

●乾電池は絶対に充電しないでください。

●長い間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

●液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

◆リモコンの動作範囲◆



リモコンの電池が消耗するとリモコンの動作範囲が狭まってきて、効きが悪くなってきます。このような症状がでてきたらリモコンの電池を2本とも新しいものに交換してください。

⚠ 使用上の注意

●本機の受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。

●本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

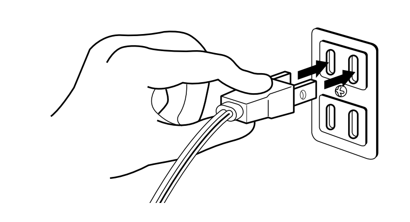
●リモコンと本機受光部の間に障害があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。

電源ON/OFFのしかた

1. 電源コンセントにプラグを差し込む前に、スピーカーケーブルの接続に間違いがないか、もう一度確認してください。

特にケーブルの芯線が、金属部や他の端子に触れていないかを注意して確認してください。

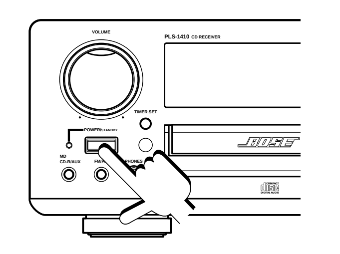
2. 電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。

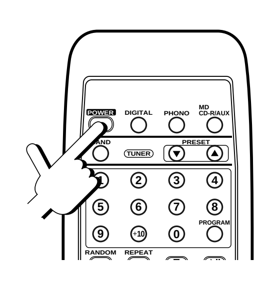


正面パネルのスタンバイインジケーター（赤）が点灯します。スタンバイインジケーターは電源が入っていない（スタンバイ）状態のときスタンバイ状態にあることを示すために、点灯します。電源が入ると消えます。

◆電源を入れる（ON）には◆

・本体POWER/STANDBY（パワー/スタンバイ）キーまたはリモコンのPOWER（パワー）キーを押します。



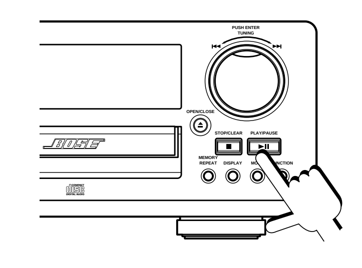


スタンバイインジケーター（赤）が点滅してから消灯して電源が入ります。このとき、前回に聴いていた音量まで自動的に上がります。

※電源が入ると前回に聴いていた音源が自動的に呼び出されます。

※音量を最小にして電源を切った場合は、次回電源を入れたときに、小さい音で鳴るまで自動的に音量が上がります。

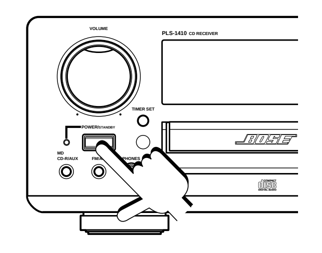
・本体►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押します。

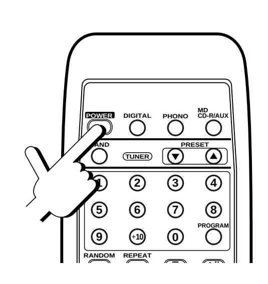


スタンバイインジケーター（赤）が点滅してから消灯して電源が入ります。このとき前回に聴いていた音量まで自動的に上がります。CDトレーにCDがセットされている場合は、そのまま再生を始めます。CDがセットされていない場合は、表示部に " NO DISC " が表示されます。

◆電源を切る（OFF）には◆

・本体POWER/STANDBY（パワー/スタンバイ）キーまたはリモコンのPOWER（パワー）キーを押します。





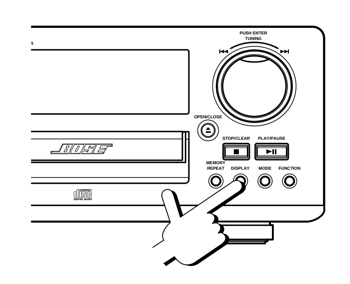
VOLUME（音量調節）つまみが反時計方向に回り音量が最小になって電源が切れます。スタンバイインジケーター（赤）が点灯します。

※次回電源を入れるときに最後に使用していた状態まで自動的に音量が上がりますのでご注意ください。

◆省エネモードスタンバイについて◆

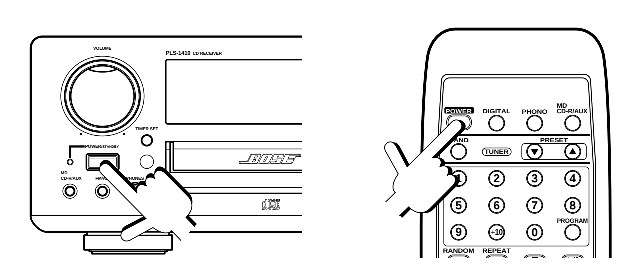
本機にはスタンバイモード時の消費電力を約1Wにまで省エネする省エネモードスタンバイ機能があります。

・電源が切れている（スタンバイ）状態のときにDISPLAY（ディスプレイ）キーを押すと、表示部の時計表示が消灯して省エネモードになります。もう一度DISPLAY（ディスプレイ）キーを押すと、通常のスタンバイモードに戻ります。

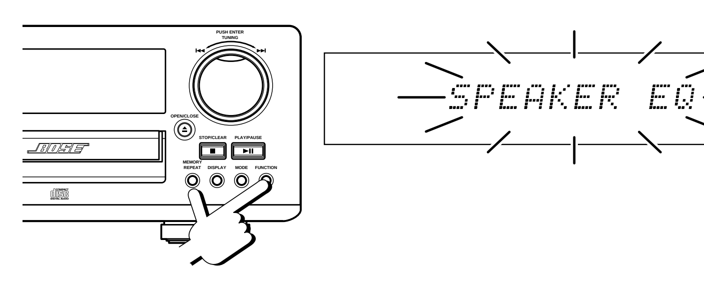


スピーカーの種類にイコライザーを合わせます

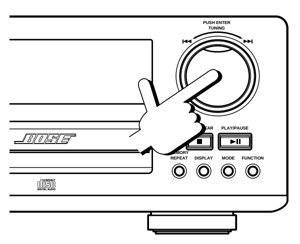
1. 電源を入れます。



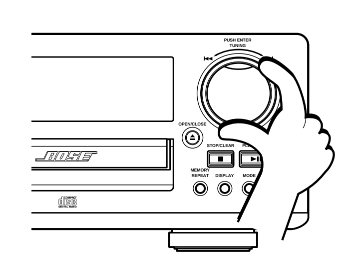
2. 正面パネルのFUNCTION（ファンクション）キーを3回押して“ SPEAKER EQ ”の表示を点滅させます。



3. 表示が点滅してる間（約10秒）にマルチジョグダイヤルを1回押します。

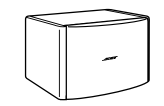


4. マルチジョグダイヤルを回して、ご使用になるスピーカーに合ったイコライザー（スピーカーとの組み合わせで、最適に適合するためのイコライザー）に合わせます。



● モデル121スピーカーを組み合わせる場合

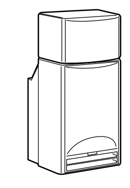
“ SP EQ 121 ” にします。



SP EQ 121

● モデル363スピーカーを組み合わせる場合

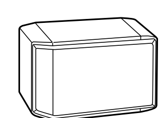
“ SP EQ 363 ” にします。



SP EQ 363

● 組み合わせるスピーカーが121、363以外の場合

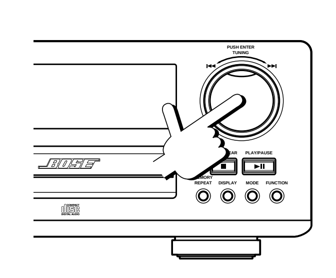
“ SP EQ OTHERS ” にします。



SP EQ OTHERS

5. マルチジョグダイヤルを押して決定します。

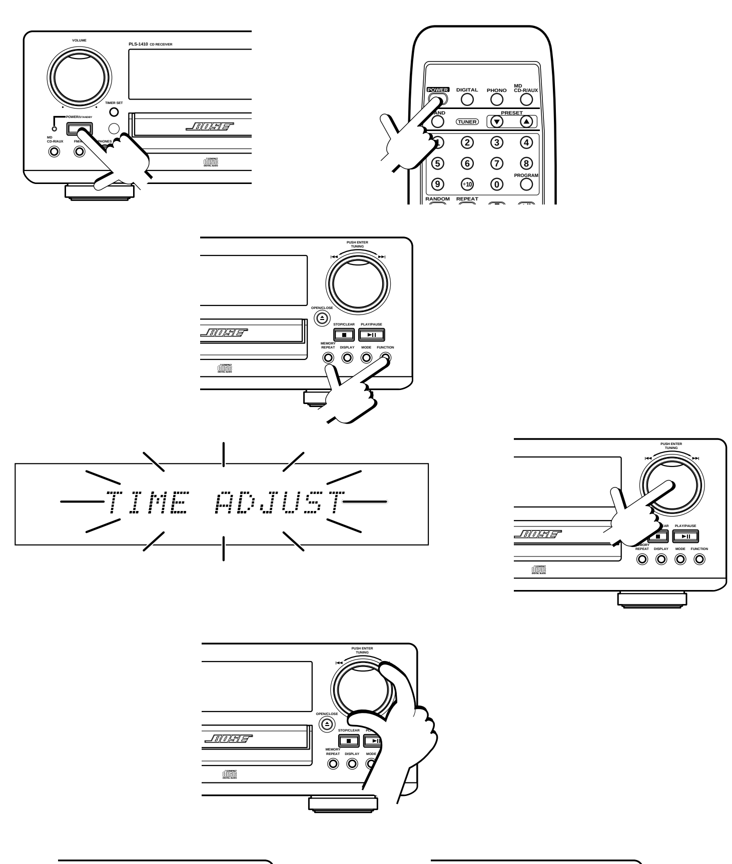
※約10秒間、放置しておいても決定されます。



時計の合わせかた

本機はタイマーによるON/OFFができます。この機能をご使用になるために、現在時刻に本機の時計を合わせる必要があります。
※リモコンではできません。

1. 電源を入れます。



2. FUNCTION（ファンクション）キーを2回押します。



3. 表示部に“TIME ADJUST”が約10秒間点滅しますので、その間にマルチジョグダイヤルを1回押します。

4. マルチジョグダイヤルを左右どちらでも1回カチッとなるまで回します。

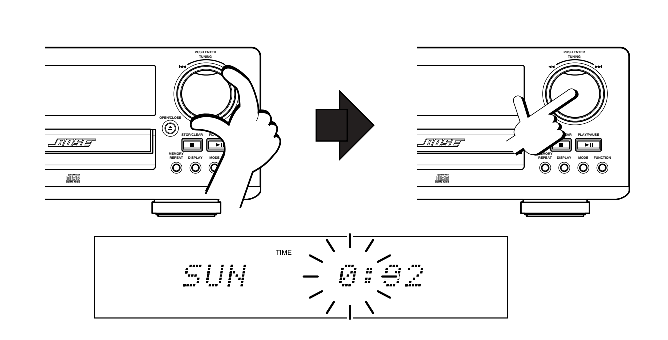
5.『曜日』が点滅を始めます。

点滅している間（約10秒）にマルチジョグダイヤルを回して、現在の『曜日』に合わせてダイヤルを1回押します。

SUN MON TUE WED THU FRI SAT
（日）（月）（火）（水）（木）（金）（土）

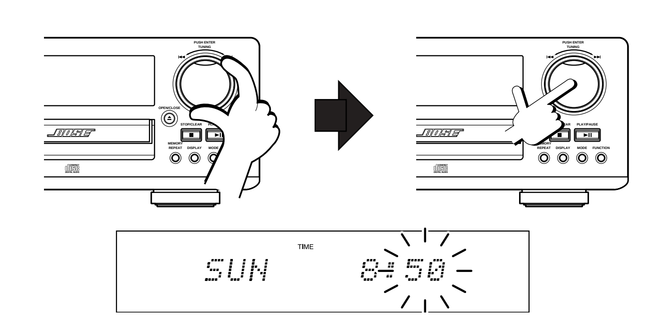
6.『時』が点滅を始めます。

点滅している間にマルチジョグダイヤルを回して、現在の『時』に合わせてマルチジョグダイヤルを1回押します。間違えたときは、STOP/CLEARキーを押すと前の項目に戻ります。



7.『分』が点滅を始めます。

点滅している間にマルチジョグダイヤルを回して、現在の『分』に合わせます。ダイヤルを押すと時計がスタートします。



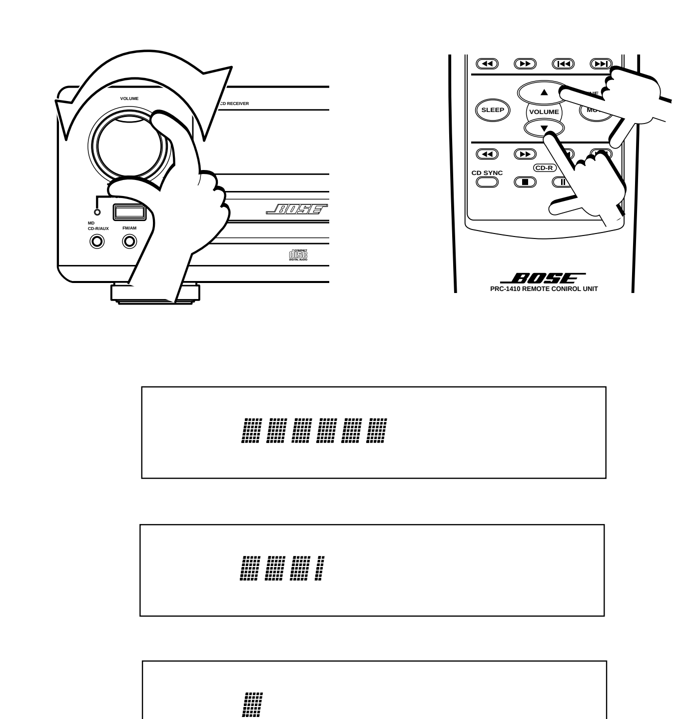
音量調節のしかた

● 音量の調節

VOLUME（音量調節）つまみを時計方向に回すと音が大きくなり、反時計方向に回すと小さくなります。

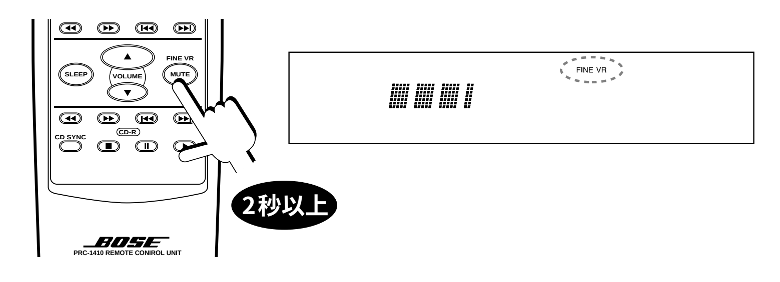
・リモコンのVOLUME ▲ キーを押すと音が大きくなり ▼ キーを押すと小さくなります。

リモコンで操作する場合のインジケーターとして、リモコンでの操作のようすがわかる表示機能があります。音量が大きくなるときは、表示パネルに音量を示すバーが左から出てきます。小さくなるときは、バーが左の方へ少なくなってきます。



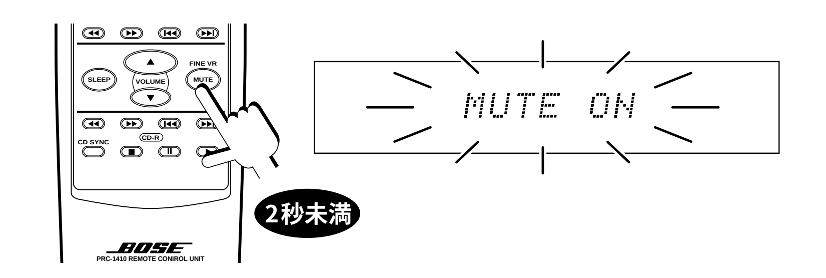
● 音量の微調整（ファイン・ボリューム・コントロール）

本機には小音量時にボリュームの変化量を少なくして、リモコンで音量調節がしやすいように『ファイン・ボリューム・コントロール』機能が採用されています。リモコンのMUTE（ミュート）キーを2秒以上押し続けるとFINE VRインジケーターが点灯し、小さな変化量に自動的に切り替えて、最適な音量に調節することができます。解除するには、MUTE（ミュート）キーを2回押すか、電源を切ると解除されます。



● 一時的に音を消す（ミュート）には

リモコンのMUTE（ミュート）キーを1回押します。表示部に“ MUTE ON ”と表示され音が止まります。解除するには、もう1回MUTE（ミュート）キーを押すかリモコンのVOLUME（ボリューム）▲ または ▼ キーを押します。



※本体のVOLUME（ボリューム）つまみを回しても解除されません。

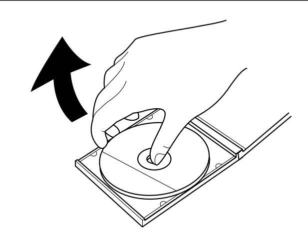
※電源が入るとミュートは解除されて、前回に聴いていた音源が自動的に呼び出されます。

CD（コンパクトディスク）を聴いてみましょう

結露現象について

冬、暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴がつき、くもってしまう現象、これが結露現象です。CDプレーヤーも冷えきった状態のまま暖かい部屋に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、光学系のレンズ（ピックアップのレンズ部分）に露が生じ（結露）、レーザーによるCDからの信号読み取りができず、プレーヤーが動作しないことがあります。
このような現象が生じた場合は、周囲の状況にもよりますが、電源を入れ1時間程放置すると結露が取り除かれプレーヤーは正常に動作するようになります。

ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

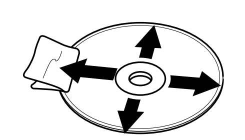


ディスクを持つ場合には、演奏面（ラベルの印刷していない面）に触れないように、両端をはさんで持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



ディスクの表面はいつもきれいに

CDの表面には最大約60億個の情報が入っています。ディスクの表面を拭くときは必ずCD専用のクリーナーを使用して下の図のように拭いてください。



※CDは、プラスチック製です。従来のアナログディスク用のクリーナーや帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品を使用すると、CDの表面に悪い影響を与えますので絶対に使用しないでください。

CD保管上の注意

CDはケースに入れて正しく保管しましょう。ディスクを大切にするため次のような場所に置くことはさけてください。

●直射日光の当たる場所。
●暖房器具の近くや空調の吹き出し口などの高温になる場所。または高温になる物の上。
●車の中などの高温になる場所。
●投光照明機などの発熱物の近くの場所。
●極端に寒い場所。
●湿気や水分のある場所、プール、浴室などの湿気の多い場所。
●屋外や直接水のかかるところ。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にして、セットしてください（CDの演奏は片面だけです）。
七色に輝く面が表面です。レーベル面が裏面になります。従来のレコードプレーヤーと異なり、CDプレーヤーは、レーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読み取ります。したがってCDは従来のレコードのように、使っているうちに性能が劣化するようなことはありません。

・レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

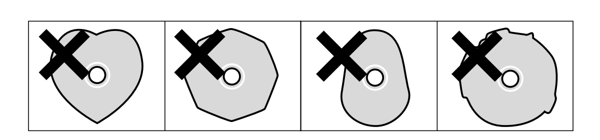
・再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

・ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

・CDは、2枚以上重ねて置いたり、CD以外のものをトレーの上に置かないでください。故障の原因になります。

・市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となることがあります。

・ハート型や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



⚠ 注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがや故障の原因となることがあります。

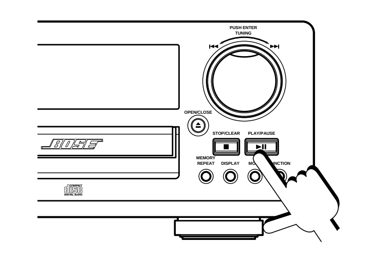
CDを再生してみましょう

1. 電源を入れます。

本体►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押すとスタンバイインジケーターが消灯し、電源が入ります。

ディスクがセットされていない場合は“ Welcome! ”“ TOC Reading ”のあと“ NO DISC ”と表示されます。

※POWER/STANDBY（パワー/スタンバイ）キーで電源を入れた場合は、前回電源を切る直前のモードの表示になります。



2. ⏏ OPEN/CLOSEキーを押します。

CDトレーが手前に出ます。

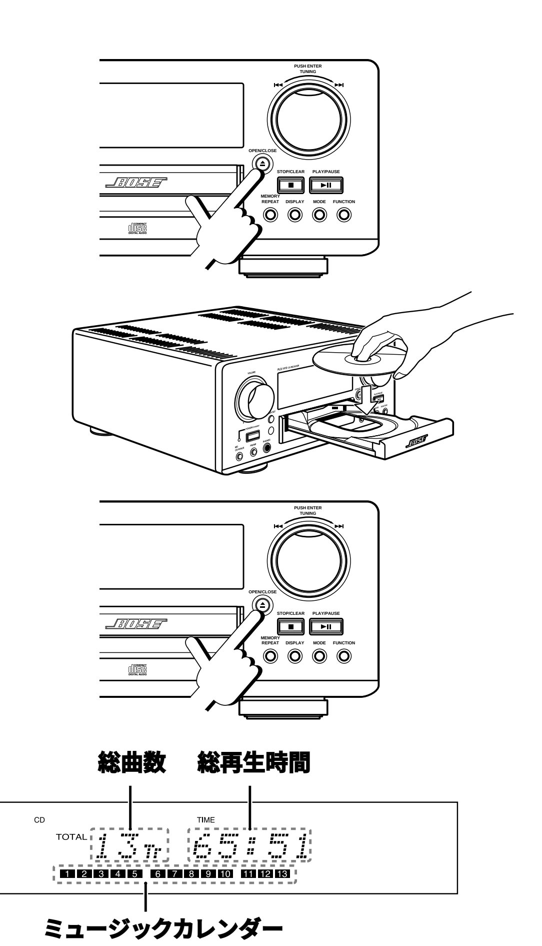
3. ディスクのレーベル面を上にしてCDトレーにのせます。

※このとき本体の►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押しても、CDトレーが閉じ、CDの再生を始めます。

4. ⏏ OPEN/CLOSEキーを押します。

CDトレーが閉まります。

“ TOC Reading ” が表示されたあと、総曲数、総再生時間が表示されます。

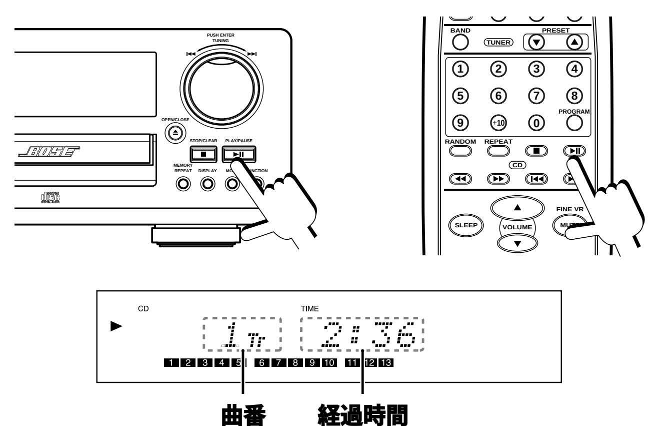


・ミュージックカレンダーには20曲まで表示され、再生が終わった曲から消えていきます。
・ディスクの総曲数が20曲を越える場合は “ OVER ” が点灯します。
・ランダム（順不同）再生モードになっている場合は “ RANDOM ” インジケーターが点灯しています。解除するには本体のMODE（モード）キーあるいは、リモコンのRANDOM（ランダム）キーを表示部に “ CONTINUE ” と表示されるまで押して、通常の再生モードにします。

※リモコンのRANDOM（ランダム）キーを押した場合は、そのまま再生が始まります。

5. 本体の►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーまたはリモコンの►II（CD プレイ/ポーズ）キーを押します。

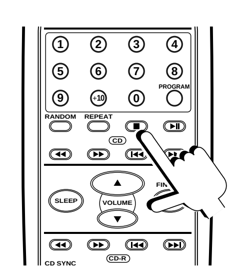
再生が始まります。



CDを再生してみましょう(つづき)

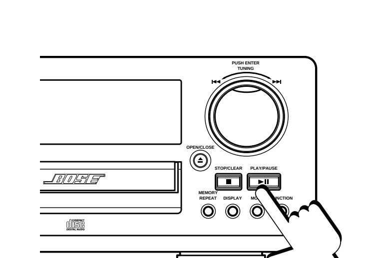
● 再生を止めるには

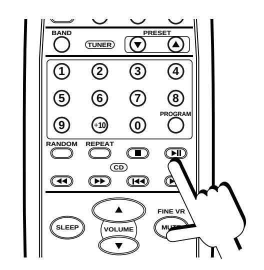
本体の ■ STOP/CLEAR（ストップ/クリア）キーまたはリモコンのCD用 ■（CDストップ）キーを押すと再生が停止します。また、他のモードに切り替えても停止します。（チューナーや、外部入力など）



● 再生を一時停止（ポーズ）するには

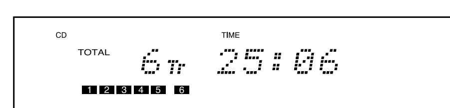
本体の ►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーまたは、リモコンのCD用 ►II（CDプレイ/ポーズ）キーを押すと再生が一時停止します。
もう一度押すと再び再生が始まります。



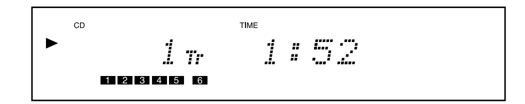


◆CDの再生表示について◆

電源を入れて、CDを本機にセットすると図のように表示されます。

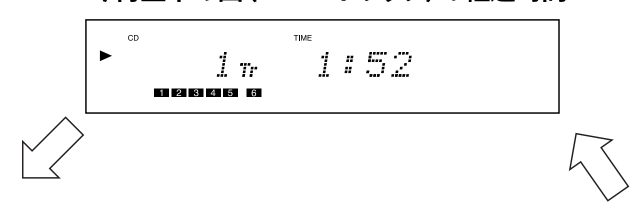


本体の ►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーまたは、リモコンのCD用 ►II（CDプレイ/ポーズ）キーを押すと、再生中の曲の経過時間の表示になります。

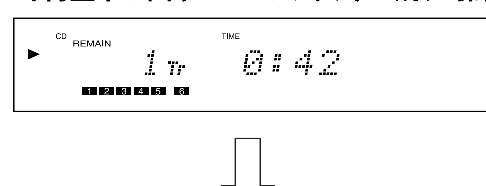


・本体のDISPLAY（ディスプレイ）キーを押すたびに、下図のように表示部の表示が変わります。

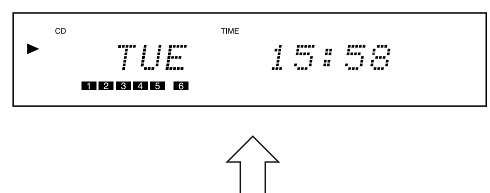
今再生中の曲（Track：トラック）の経過時間



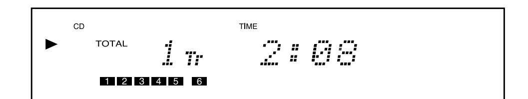
今再生中の曲（Track：トラック）の残り時間

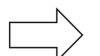


時計表示



CD全体の経過時間



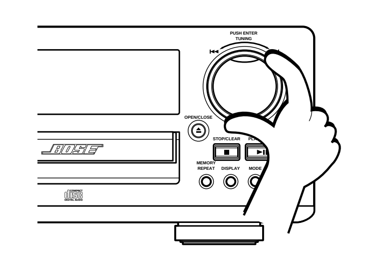


CD全体の残り時間

CD REMAIN TOTAL TIME 1 Tr 41:25

好きな曲を選ぶには

再生中にマルチジョグダイヤル（⏮/⏭）を回すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。

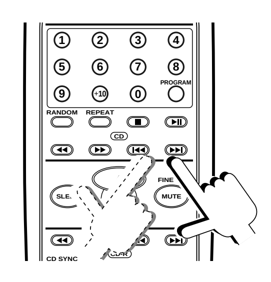


・停止中および一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で停止または一時停止状態になります。▶II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押すと再生が始まります。

・再生中は、⏮ の方向に一回カチッと回すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、マルチジョグダイヤルを続けて回してください。

・プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後の曲にスキップします。

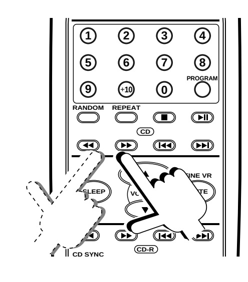
・最初の曲の一時停止中に ⏮ の方向に一回カチッと回すと最後の曲にスキップします。また、最後の曲の再生/一時停止中に ⏭ の方向に一回カチッと回すとCDの最初の曲に戻ります。



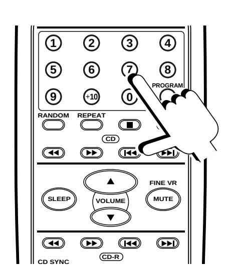
・リモコンの場合はCD用⏮/⏭ (CD選曲）キーを押してください。

再生中にリモコンのCD用 ◀◀/▶▶（CD早戻し/早送り）キーを押し続けると、早戻し/早送りができます。聴きたい部分が見つかったら指を離してください。

※リモコンでしかできません。



停止中または再生中にリモコンの数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。



・一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

・プログラム再生モードでは、数字キーは曲のプログラムに使用しますので選曲には使えません。

たとえば

7曲目： 7

10曲目： +10 → 0

23曲目： +10 → +10 → 3

と押します。

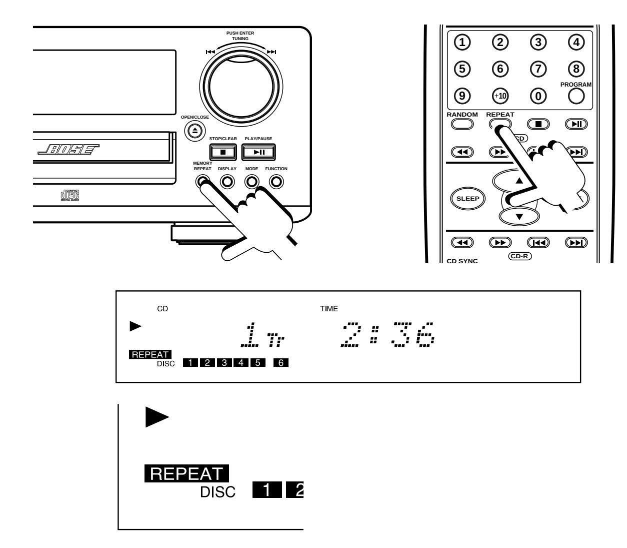
同じ曲を繰り返して聴きたいとき(リピート再生)

CDモード時に、本体のMEMORY/REPEAT(メモリー/リピート）キーまたはリモコンのREPEAT（リピート）キーを押すと同じ曲を繰り返して聴くことができます。繰り返し再生は全曲（DISC）リピート、一曲(TRACK)リピートがあります。

● 全曲（DISC/ディスク）リピートするには

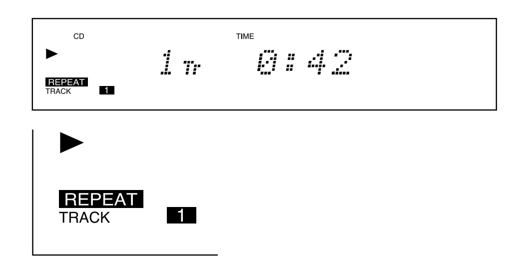
MEMORY/REPEAT(メモリー/リピート）を1回押すと、現在再生中のCDを全曲繰り返し再生します。

・プログラム再生時およびランダム（順不同）再生時も同様にリピート再生することができます。



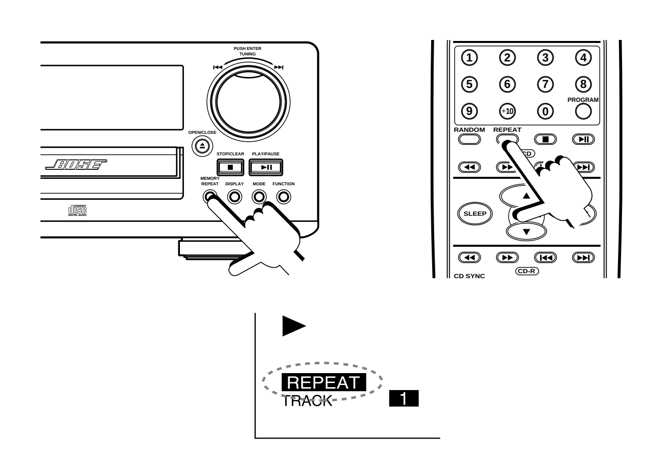
● 一曲（TRACK /トラック）リピートするには

MEMORY/REPEAT(メモリー/リピート)キーをさらに1回押すと、現在再生中の曲を繰り返し再生します。



● リピート再生モードを解除するには

本体のMEMORY/REPEAT(メモリー/リピート)キーまたは、リモコンのREPEAT(リピート)キーを表示部の“ REPEAT ”インジケーターが消えるまで押してください。



RANDOM（ランダム/順不同）再生

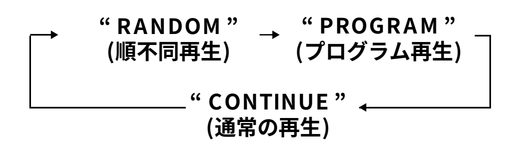
ランダム（順不同）再生するとCDの曲が順不同に再生されます。

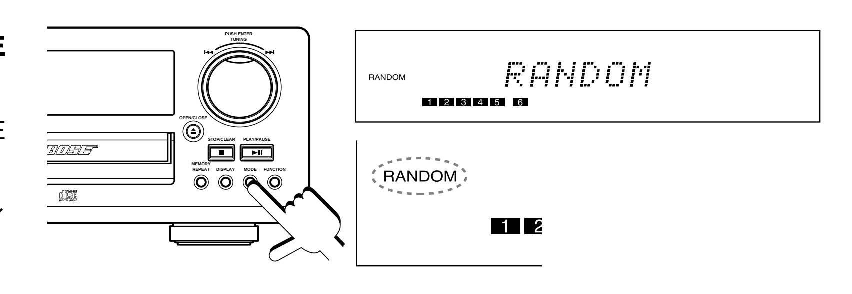
● 本体で行う場合

1. 本体のMODE（モード）キーを押すたびに再生モードが変ります。

表示部に“ RANDOM ”が表示されるまでMODE（モード）キーを押してください。

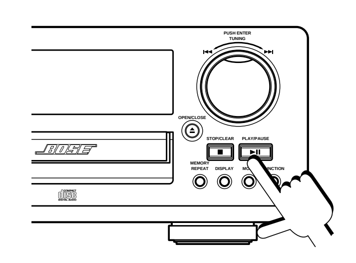
・ランダム再生モードになると“ RANDOM ”インジケーターが点灯します。





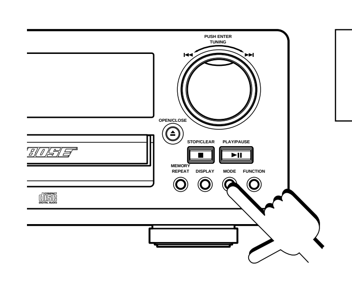
2. ►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押すとランダム再生が始まります。

再生が済んだ曲はミュージックカレンダーから消えていき、CD全曲を再生すると停止します。再生中にマルチジョグダイヤルを I◄◄ 方向に一回カチッと回すと現在再生中の曲の頭に戻ります。►►I 方向に一回カチッと回すと、未再生曲の中から次の曲がランダムに選ばれて再生を始めます。



3. ランダム再生モードを解除する場合は、MODE（モード）キーを表示部に“ CONTINUE ”と表示されるまで押してください。

※本体POWER/STANDBY（パワー/スタンバイ）キーまたはリモコンのPOWER（パワー）キーで電源を切ってもランダム再生モードは解除されません。

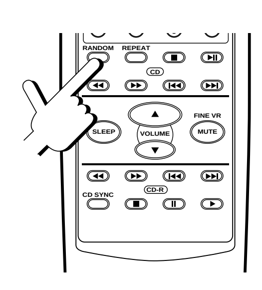


● リモコンで行う場合

1. リモコンのRANDOM（ランダム）キーを押すと、次の曲が無作為に選択され再生が始まります。

I◄◄（CD選曲）キーを押すと、現在再生している曲の頭に戻ります。

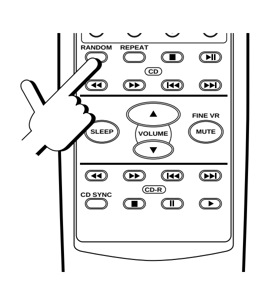
・►►I（CD選曲）キーを押すと、未再生曲の中から次の曲がランダムに選ばれて再生を始めます。



2. ランダム再生モードを解除するには、もう1回リモコンのRANDOM（ランダム）キーを押します。

※本体POWER/STANDBY（パワー/スタンバイ）キーまたはリモコンのPOWER（パワー）キーで電源を切ってもランダム再生モードは解除されません。

※リモコンの数字キーを使って、すでに再生済みの曲番の数字を押すと、もう一度再生できるようになり、未再生の曲番の数字を押すと、再生済みにすることができます。



PROGRAM（プログラム）再生

聴きたい曲を聴きたい順に25曲までプログラムして再生することができます。

・停止中でも再生中でもプログラムできます。

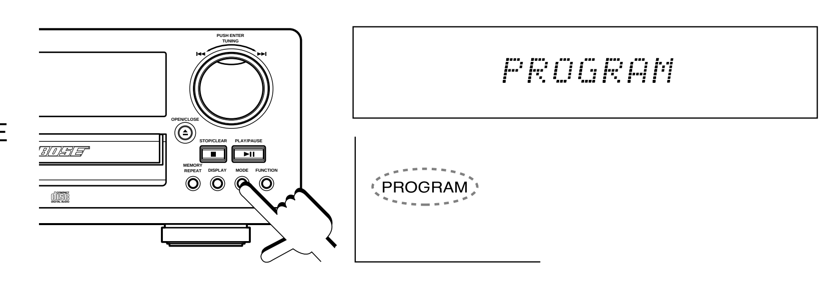
※再生中はリモコンでしかプログラムできません。

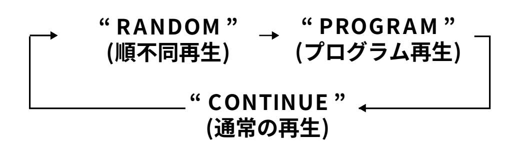
● 本体で停止中にプログラムする場合

※停止中しかプログラムできません。

1. 本体のMODE（モード）キーを押すたびに再生モードが変ります。

表示部に“ PROGRAM ”が表示されるまでMODE（モード）キーを押してください。プログラム再生モードになると“ PROGRAM ”インジケーターが点灯します。

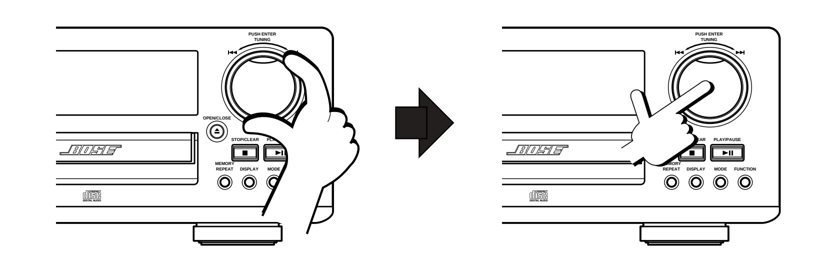




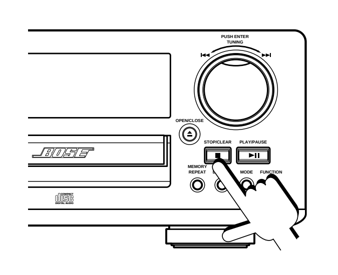
2. マルチジョグダイヤルを回して曲を選んでからマルチジョグダイヤルを押してください。

25曲までプログラムできます。

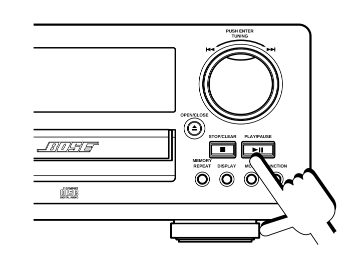
※再生中はマルチジョグダイヤルがスキップ選曲用として使いますので、プログラムには使用できません。リモコンをご使用ください。

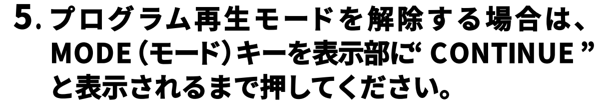


3. 間違えてプログラムした場合、■ STOP/CLEAR（ストップ/クリア）キーを押すとプログラムした曲の最後から一曲ずつ削除できます。

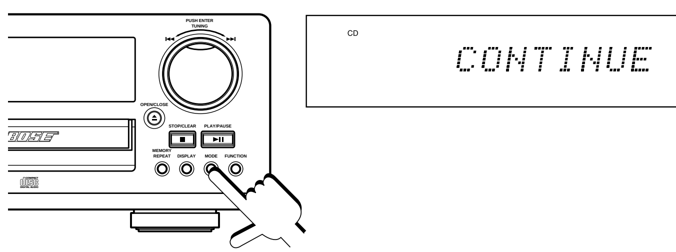


4. 本体►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押すとプログラム再生が始まります。





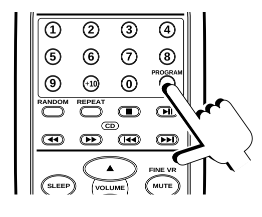
5. プログラム再生モードを解除する場合は、MODE（モード）キーを表示部に“ CONTINUE ”と表示されるまで押してください。



PROGRAM(プログラム)再生(つづき)

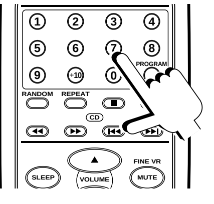
● リモコンでプログラムする場合(再生中、停止中どちらでもできます)

1. リモコンのPROGRAM(プログラム)キーを押してプログラム再生モードにします。

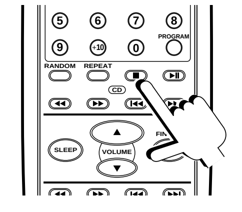


2. リモコンの数字キーで曲を選びます。

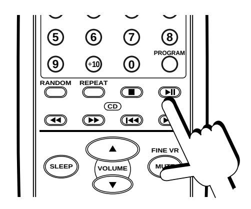
25曲までプログラムできます。再生中にプログラム再生モードにした場合は、そのとき再生していた曲が最初にプログラムされます。



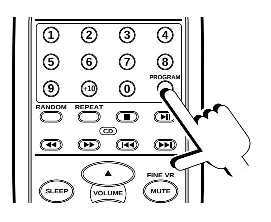
3. 停止中のみ、間違えてプログラムした曲を、CD用■(CDストップ)キーを押して最後から一曲ずつ削除できます。



4. 停止中にプログラムした場合は、リモコンの►II(CDプレイ/ポーズ)キーを押すとプログラム再生が始まります。



5. プログラム再生モードを解除する場合は、リモコンのPROGRAM(プログラム)キーを押してください。

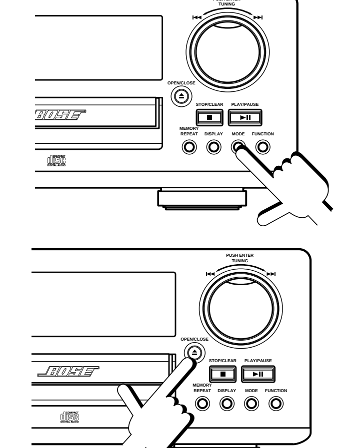


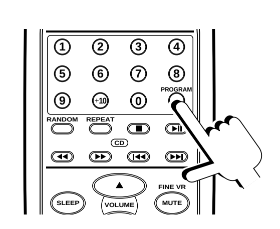
● プログラムに曲を追加するには

リモコンの数字キーで希望の曲を選ぶと、プログラムの最後に曲が追加されます。

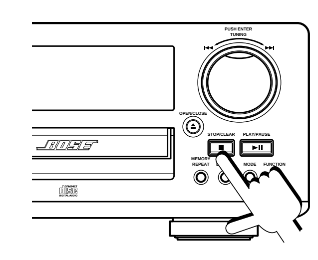
● 全てのプログラム内容の消去

本体MODE(モード)キーまたはリモコンのPROGRAM(プログラム)キーを押してプログラム再生モードを解除すると、全てのプログラム内容が消去されます。





⏏OPEN/CLOSEキーを押した場合、または停止中に■STOP/CLEAR(ストップ/クリア)キーを押した場合は、プログラム再生モードは解除されませんが、プログラム内容は消去されます。



・25曲までプログラムができます。25曲をこえると" PROGRAM FULL "が表示されます。
・プログラムした曲の再生時間の合計が100分以上になると" ――:―― "が表示されます。
・一曲もプログラムされてない状態で►II PLAY/PAUSEキー(プレイ/ポーズ)を押すと、プログラムモードが解除してディスクの一曲目からの通常の再生が始まります。

室内音響に合わせて調整

部屋の音響効果は、ステレオシステムの全体的な音質に影響を与えることがあります。
ルームアコースティックコンペンセーター機能を上手に使って、よりよい音響効果が得られるように、部屋の特性に合わせて調整してください。

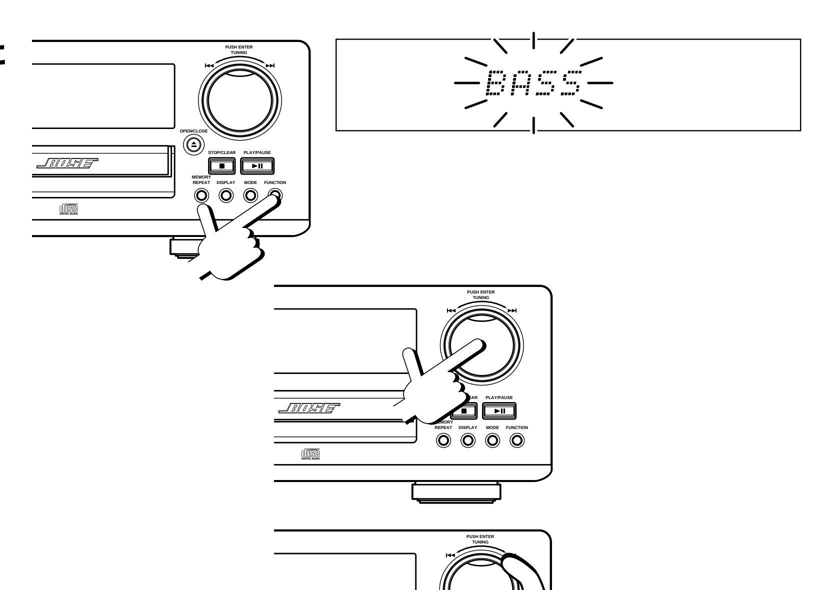
◆低域部分の調整◆

1. FUNCTION（ファンクション）キーを表示部に“ BASS ”と表示されるまで押します。

2. マルチジョグダイヤルを押します。

3. マルチジョグダイヤルを回して低域部分を調整します。

調整範囲は－6～＋2dB（2dBステップ）です。低域が響き易い部屋などでは少し下げるようにします。

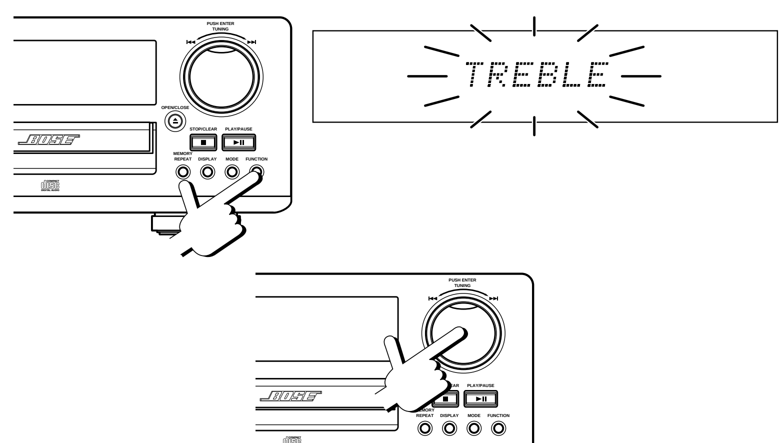


◆高域部分の調整◆

装飾家具、敷き詰めタイプのカーペット、重量のあるカーテンのような音のエネルギーを吸収する家具などを備えた部屋では、システムの高域成分が低減することがあります。スピーカーを柔らかい素材の家具から離すと高域の量が増加します。また、本機のルームアコースティックコンペンセーターで調整することもできます。

1. FUNCTION（ファンクション）キーを表示部に“ TREBLE ”と表示されるまで押します。

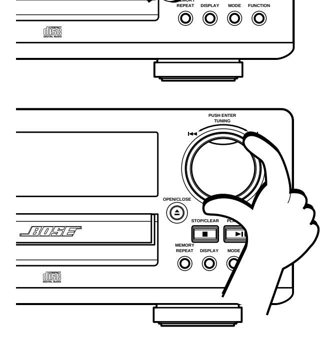
2. マルチジョグダイヤルを押します。





3. マルチジョグダイヤルを回して高域部分を調整します。

調整範囲は－8～＋8dB（2dBステップ）です。板の床やむき出しの壁のある部屋など、また音を吸収する家具などがあまりにも少なすぎる場合は高域成分が多くなりすぎる場合があります。その場合は高域成分を下げるように調整します。



室内音響に合わせて調整（つづき）

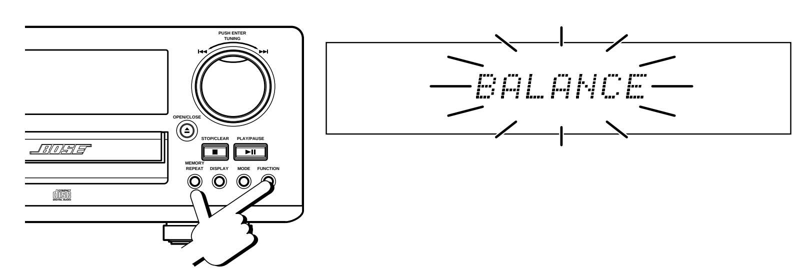
◆左右の音響バランスの調整◆

スピーカーの置かれる左右の壁は同じ材質、同じ面積であることが望ましいのですが、実際には左右の壁の状況が異なってしまっている場合があります。そういう状況では、どうしても左右の音響バランスを整えることが重要になります。

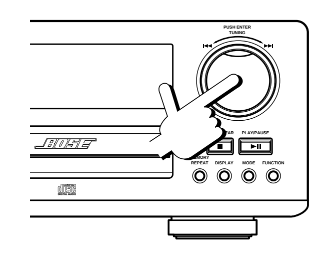
本機のBALANCE（バランス）によって左右の音量の微調整ができます。

※本機のBALANCE（バランス）調整は微調整を行うために設計されていますので、変化量は微少レベルに設定しています。

1. FUNCTION（ファンクション）キーを表示部に“ BALANCE ”と表示されるまで押します。

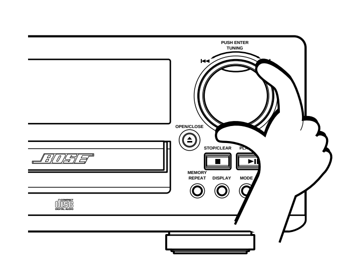


2. マルチジョグダイヤルを押します。



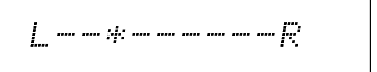
3. マルチジョグダイヤルを回して左右の音量の調整をします。

右側の音量が大きいときは左に回し、左側の音量が大きいときは右側に回します。音声が左右のスピーカーの中央から聴こえるように調整します。

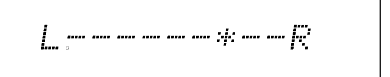


L－－－－＊－－－－R

中央



右側の音量が少し小さくなる



左側の音量が少し小さくなる

ラジオを聴いてみましょう

◆アンテナの調整◆

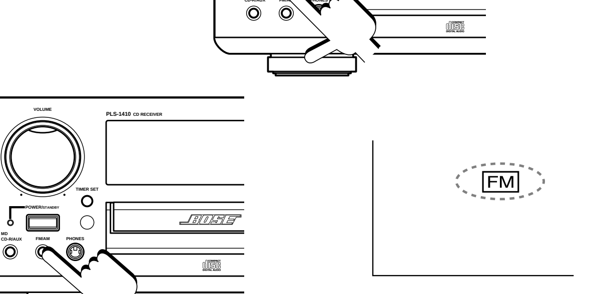
●FMアンテナの向きを合わせる

1. 本体の電源を入れます。

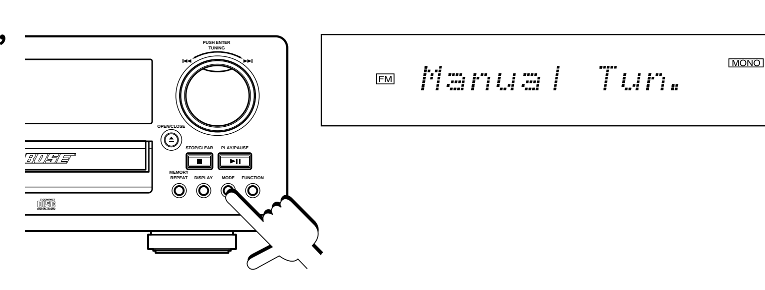
このとき、ある程度音が聴こえるくらいに音量を調節しておいてください。

2. FM/AMキーを押してFMを選びます。

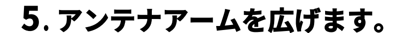
FMを選ぶとFMインジケーターが点灯します。



3. MODE（モード）キーを表示部に“ Manual Tun. ”と表示されるまで押します。



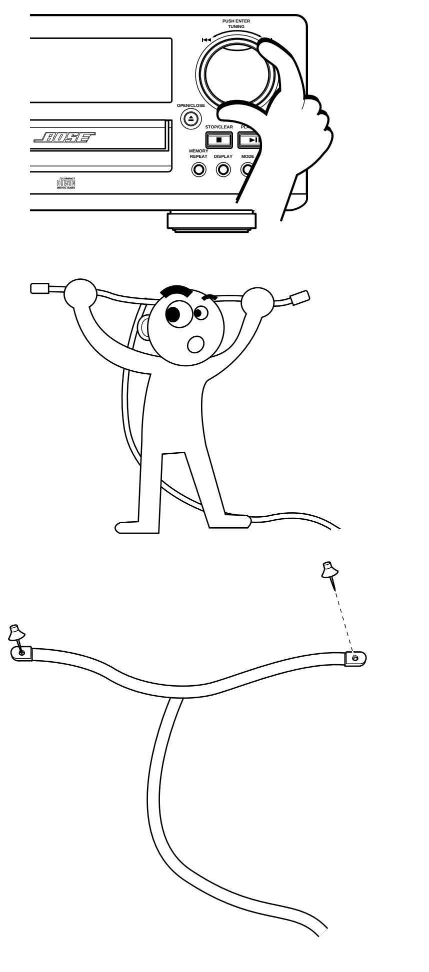
4. マルチジョグダイヤルを回してお近くのFM放送局の周波数に合わせます。



5. アンテナアームを広げます。

このアンテナの向きや位置をいろいろ試してみて最良の設置場所をさがしてください。

※FM T型アンテナを丸めたままにしておいたり、たらしたままにしないで必ずT型に伸ばして一番良好な受信状態になるように設置してください。



6. アンテナの位置がきまったら押しピンなどでとめてください。

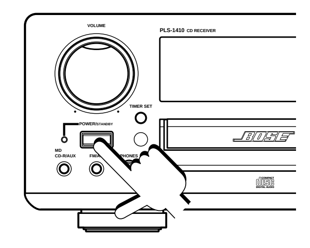
7. 向きの調整が終了したら電源を切ってください。

ラジオを聴いてみましょう(つづき)

●AMループアンテナの向きを合わせる

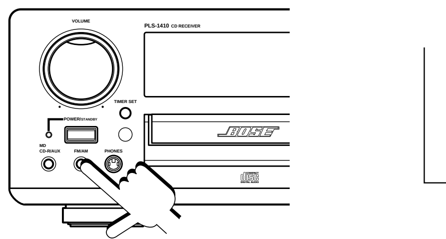
1. 本体の電源を入れます。

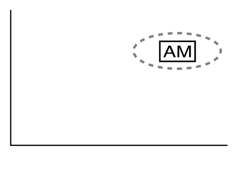
このとき、ある程度音が聴こえるくらいに音量を調節しておいてください。



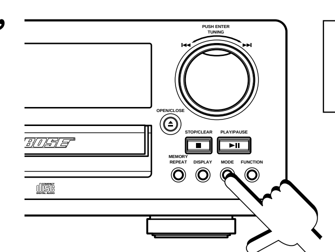
2. FM/AMキーを押してAMを選びます。

AMを選ぶとAMインジケーターが点灯します。



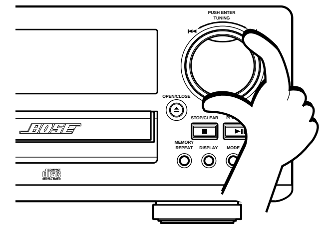


3. MODE(モード)キーを表示部に"Manual Tun."と表示されるまで押します。

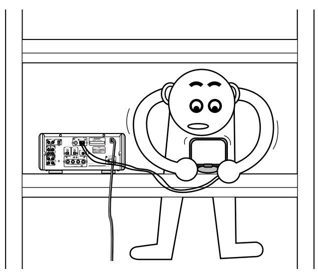


AM Manual Tun.

4. マルチジョグダイヤルを回してお近くのAM放送局の周波数に合わせます。

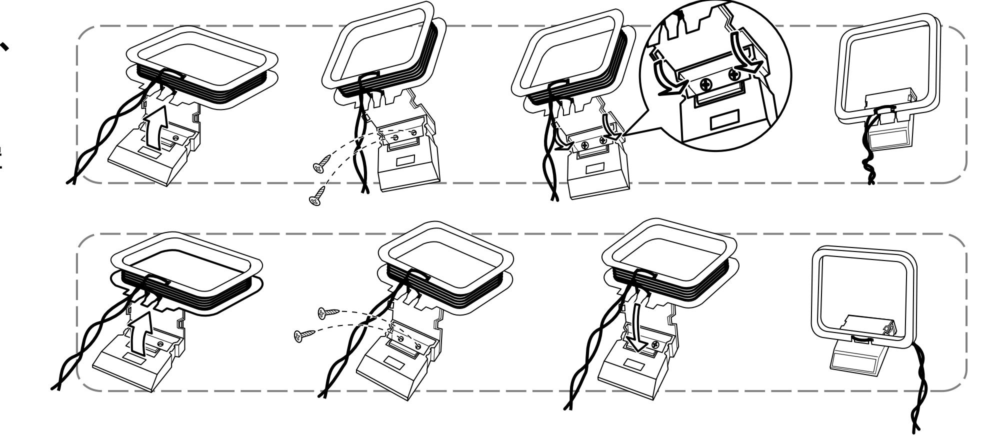


5. AMループアンテナの向きをいろいろ試してみて感度がよくなるところをさがしてください。



6. アンテナを組み立てて、柱や壁、台などに固定します。

※AMループアンテナはテレビやパソコンなどからなるべく離して設置してください。

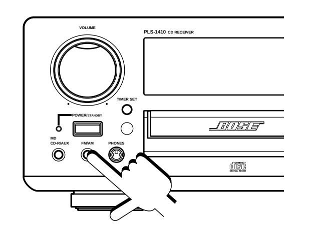


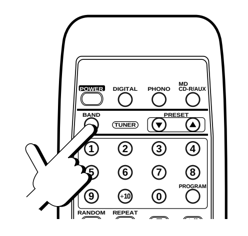
7. 向きの調整が終了したら電源を切ってください。

プリセットメモリーに登録しましょう

本体あるいはリモコンで電源を入れると、電源を切る直前のモードになっています。チューナーのモードになっていない場合は、本体のFM/AMキーあるいはリモコンのBAND（バンド）キーを押してチューナーのモードに切り替えます。

FMとAMの切り替えるには、チューナーモードのときに、本体のFM/AMキーあるいはリモコンのBAND（バンド）キーを押します。





◆はじめに、聴きたい放送局をプリセットメモリーに登録しましょう◆

登録の方法（3通りあります）

1. **エリアファインメモリーを使う**（26ページ）
2. **スキャンチューニング（自動受信）で放送局を探して登録する**（27ページ）
3. **手動で直接、周波数を合わせて登録する**（28ページ）

1 エリアファインメモリーを使う

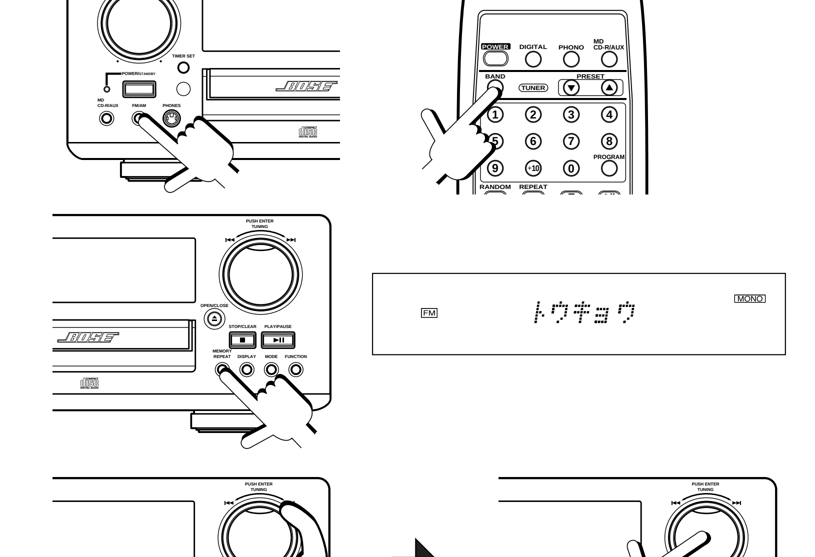
本機にはあらかじめ全国18地域の主要な放送局（FM、AM）の周波数と局名を示すキャラクター（文字や数字）が記憶されています。地域を指定するだけで放送局をプリセットすることができます。

エリア（地域）の合わせ方

1. **本体のFM/AMキーあるいはリモコンのBAND（バンド）キーを1回押します。**

※チューナーモードであれば、FMでもAMでもどちらでもかまいません。

2. **MEMORY/REPEAT（メモリー/リピート）キーを2秒以上続けて押してください。**



3. **マルチジョグダイヤルを回して希望する地域を選び、マルチジョグダイヤルを押してセットします。**

地域名	表示	地域名	表示
東京	トウキョウ	関東	カントウ
大阪	オオサカ	甲信越	コウシンエツ
広島	ヒロシマ	東海	トウカイ
福岡	フクオカ	北陸	ホクリク
名古屋	ナゴヤ	近畿	キンキ
札幌	サッポロ	中国	チュウゴク
仙台	センダイ	四国	シコク
東北1	トウホクー1	九州1	キュウシュウー1
東北2	トウホクー2	九州2	キュウシュウー2

FM　オオサカ　MONO

マルチジョグダイヤルを回すたびに18地域の略称が表示部に出ます。上の一覧表の順に表示されます。

※いくつかの地域にまたがる場合は、一覧表（32～34ページ）を参照のうえ希望地域を選び、記憶されていない放送局はマニュアルでプリセットしてください。

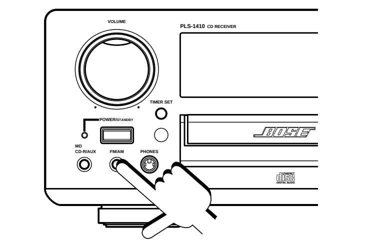
プリセットメモリーに登録しましょう（つづき）

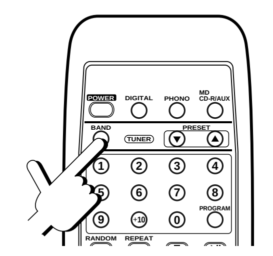
2 スキャンチューニング（自動受信）で放送局を探して登録する

受信可能な周波数内の放送局を自動で探します。

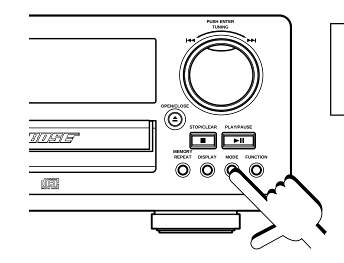
エリアファインメモリーに記憶されていない放送局を追加したい場合や、いくつかの地域にまたがって受信する場合はこの方法でプリセット（登録）してください。

1. 本体をチューナーモードにするために、本体のFM/AMキーあるいはリモコンのBAND（バンド）キーを押してFMまたはAMを選びます。





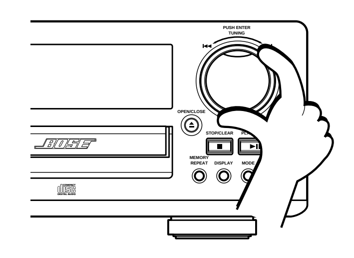
2. 本体のMODE（モード）キーを表示部に“Scan Tun.”と表示されるまで押します。このとき AUTO のインジケーターも点灯します。



FM Scan Tun. AUTO

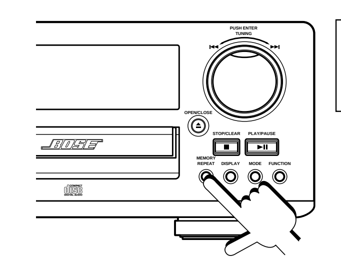
3. マルチジョグダイヤルを回すとスキャンチューニングを始めます。

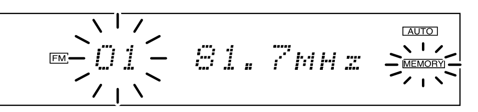
放送を受信するとスキャンは止まります。この受信した放送局を登録したい場合は、次の手順に進みます。登録したい放送局を受信するまでマルチジョグダイヤルで同じ方向に回してください。



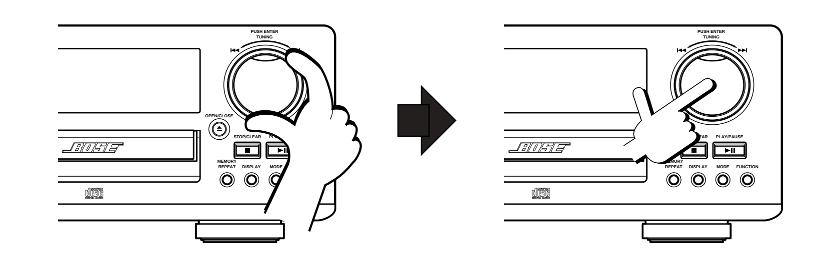
4. MEMORY/REPEAT（メモリー/リピート）キーを押します。

表示部にプリセットチャンネルと MEMORY インジケーターが約10秒間点滅しますので、その間にマルチジョグダイヤルを回して登録したいチャンネルを選んで、マルチジョグダイヤルを押してください。





※MEMORY/REPEAT（メモリー/リピート）キーを2秒以上押し続けると、エリアファインメモリーをセットする状態になって、それまで登録した放送局が消去されてしまいます。2秒以上押さないように注意してください。



・登録した放送局名を自由に入れることができます。29ページの「●プリセットチャンネルネームの入力」を参照してください。

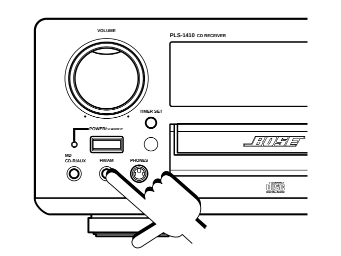
プリセットメモリーに登録しましょう（つづき）

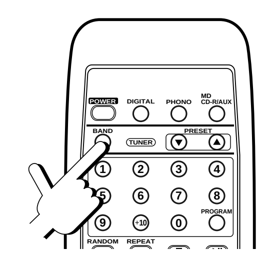
3 手動で直接、周波数を合わせて登録する

放送局の電波が弱いと、雑音が多いなどでスキャンチューニング（自動受信）できない電波の弱い放送局を受信する場合は、マニュアル（手動）で受信してください。

・エリアファインメモリーに記憶されていない放送局を受信するときなどの操作です。
・よくお聴きになる放送局はプリセット（登録）しておくと便利です。

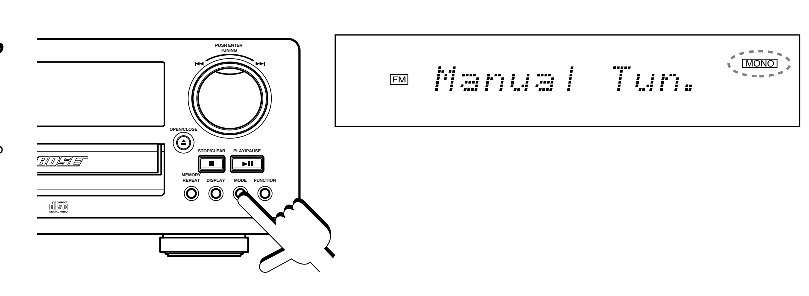
1. 本体をチューナーモードにするために、本体のFM/AMキーあるいはリモコンのBAND（バンド）キーを押してFMまたはAMを選びます。





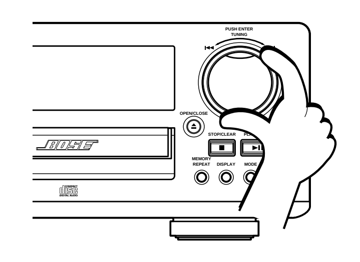
2. 本体のMODEキーを表示部に“ Manual Tun. ”と表示されるまで押します。

FMの場合は MONO インジケーターが点灯します。



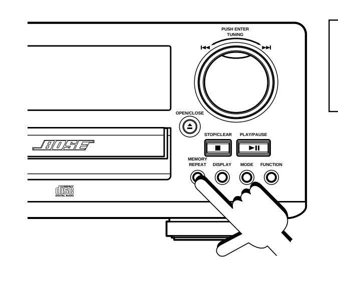
3. マルチジョグダイヤルで受信したい放送局の周波数に合わせます。

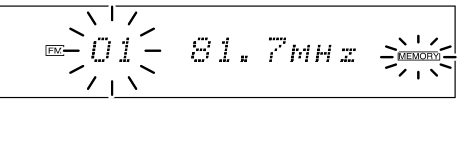
※電波が弱く、雑音が出る場合はアンテナの向きや設置場所を調整してください。



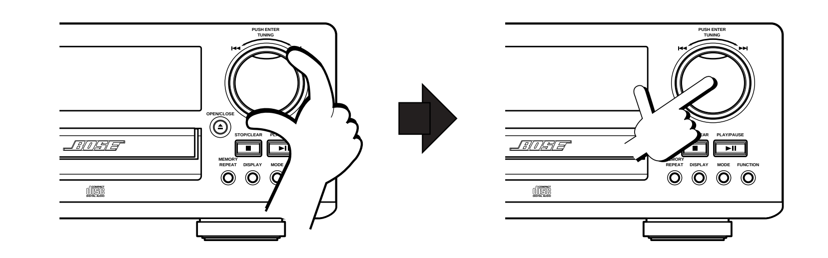
4. プリセット（登録）をする場合はMEMORY/REPEAT(メモリー/リピート）キーを押します。

表示部にプリセットチャンネルと MEMORY インジケーターが約10秒間点滅しますので、その間にマルチジョグダイヤルを回して、登録したいプリセットチャンネルを選び、マルチジョグダイヤルを押します。





※MEMORY/REPEAT(メモリー/リピート）キーを2秒以上押し続けると、エリアファインメモリーをセットする状態になって、それまで登録した放送局が消去されてしまいます。2秒以上押さないように注意してください。



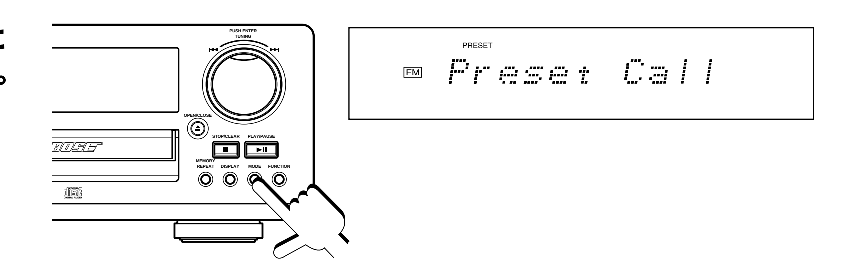
・登録した放送局名を自由に入れることができます。29ページの「●プリセットチャンネルネームの入力」を参照してください。

プリセットメモリーに登録しましょう（つづき）

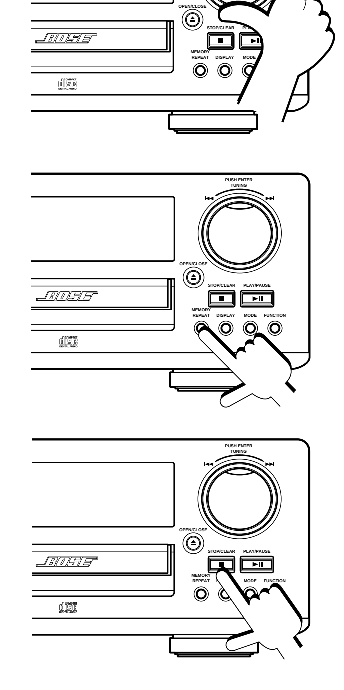
●プリセットチャンネルの消去

あまり聴かない放送局の登録を消去するには

1. 本体MODE（モード）キーを表示部に“ Preset Call ”と表示されるまで押します。



2. マルチジョグダイヤルを回して消去するプリセットチャンネルを選びます。



3. 本体MEMORY/REPEAT(メモリー/リピート）キーを1回押します。

4. プリセットチャンネルが点滅している間（約10秒）に本体 ■ STOP/CLEAR（ストップ/クリア）キーを押すとそのチャンネルの放送局が消去されます。

消されたチャンネルが空チャンネルになります。

●プリセットチャンネルネームの入力

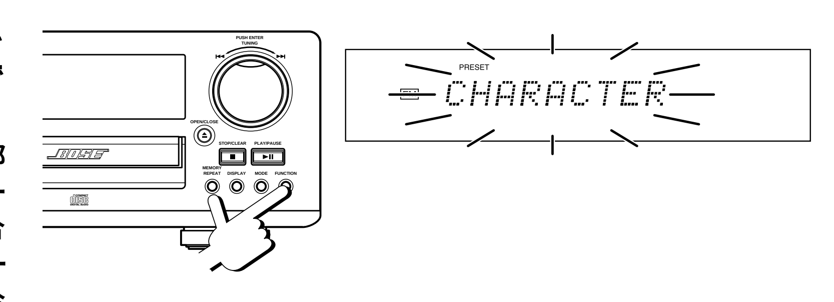
プリセットチャンネルに10桁の文字や記号でお好きな名前を付けたり、すでに付いている名前や文字を修正することができます。

※つまみやキーの操作間隔は10秒以内に行ってください。10秒以上間隔をあけると入力モードは解除されます。解除された場合は最初からやり直してください。

1. プリセットチューニングで名前を付けたいプリセットチャンネルを選んでおきます。

2. 本体のFUNCTION（ファンクション）キーを表示部に“ CHARACTER ”と表示されるまで押します。

※FUNCTION（ファンクション）キーを押して表示部に“ CHARACTER ”と表示されるのは、チューナーモードでプリセットチューニングで選局した場合のみです。もし、FUNCTION（ファンクション）キーを押しても“ CHARACTER ”が表示されない場合はチューナーモードで必ずプリセットチューニングでチャンネルを選んでください。

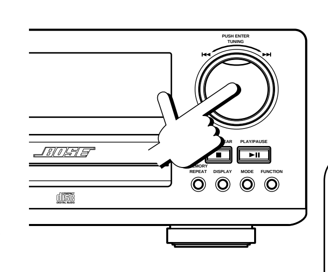


プリセットメモリーに登録しましょう（つづき）

3. マルチジョグダイヤルを押します。

表示部の一番左端から二桁目に " ＿ " が点滅して、文字や記号が入力できるようになります。

※入力可能な一番左の桁から入力することもできます。本機の ■ STOP/CLEAR（ストップ/クリア）キーを押すと一桁目に戻ります。



PRESET
FM

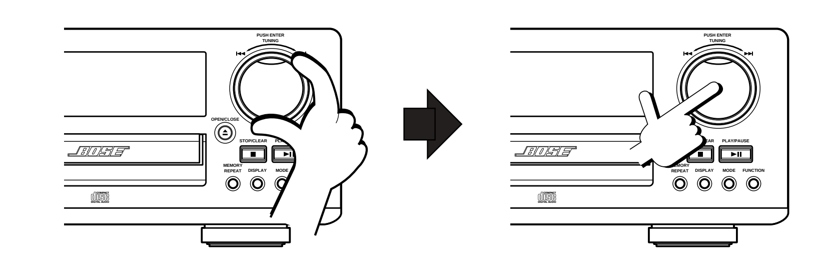
注 意

※つまみやキーの操作間隔は10秒以内に行ってください。10秒以上間隔をあけると入力モードは解除されます。解除された場合は最初からやり直してください。

4. マルチジョグダイヤルを回して文字や記号を選び、マルチジョグダイヤルを押して入力します。

次の桁に " ＿ " が点滅しますので、この手順を繰り返して10桁全て入力します。10桁入力が終わると自動的にチャンネルネームの入力が終了します。

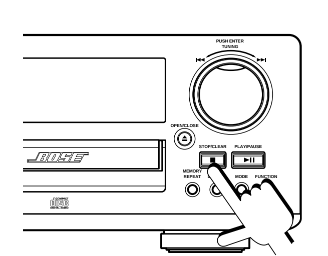
※10桁未満の文字数の場合に入力を終了させるには、MEMORY/REPEAT(メモリー/リピート）キーを押します。



途中で文字を修正するには

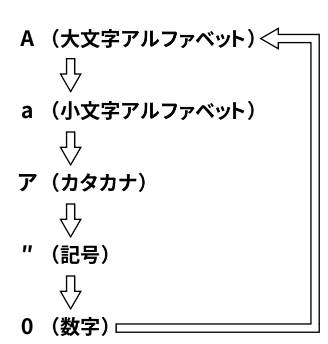
■ STOP/CLEAR（ストップ/クリア）キーを押すと、点滅表示が左に移動します。一番左の桁まで移動すると、最初から入力し直せます。

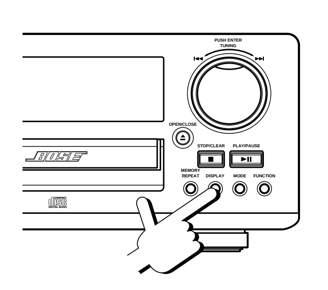
※一番左の桁に移動してさらに ■ STOP/CLEAR（ストップ/クリア）キーを押すと、入力モードが解除になります。



文字の種類を変えるには

文字入力時にDISPLAY（ディスプレイ）キーを押すごとにそれぞれの文字までスキップします。





使用できる文字

次のキャラクターが使用できます。
これらの文字、数字、記号を色々と組み合わせてご使用ください。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklm
nopqrstuvwxyzアイウエオカキクケコサシスセソタチツ
テトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワ
ンヲァィゥェォャュョッ ゛ ゜ ー・！ ″＃ ＄%＆ ’〈 〉※+、
ー ． ／ ： ； ＝ ？ ￥ ← ↑ → ↓ α β μ ＠ ▶ ◀
0123456789（スペース）再び A・・・・・

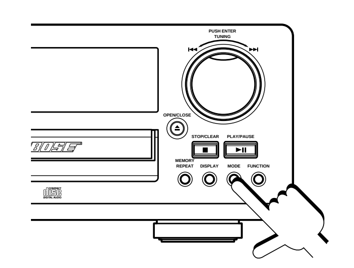
登録した放送局を呼び出してラジオを聴きましょう

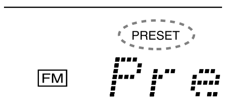
●プリセットチューニング

26〜30ページの「プリセットメモリーに登録しましょう」をよく読んで、プリセットメモリーにお聴きになりたい放送局の登録をしておいてください。

1. 本体MODE（モード）キーを表示部に“ Preset Call ”と表示されるまで押します。

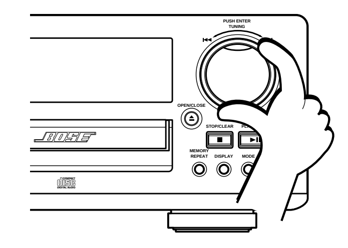
PRESETインジケーターが点灯します。

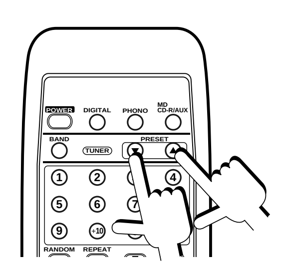




2. マルチジョグダイヤルを回して聴きたい放送局が登録されているチャンネルに合わせます。

リモコンの ▼ / ▲ PRESET（プリセット）キーを使ってチャンネルを選ぶことができます。





エリアファインメモリー　一覧表

この表は、本機にメモリーされている7都市と11地域の放送局のプリセットナンバー、周波数、局名の略称（キャラクター）を示しています。登録と呼び出し方は26～31ページをご覧ください。

◇東京　（都市－1　東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）

FM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.1	Inter FM	FMインターウェーブ/東京
2	76.5	Inter FM	FMインターウェーブ/横浜
3	77.1	ホウソウダイガク	放送大学/東京
4	78.0	bay FM	FMサウンド千葉/千葉
5	78.6	FM FUJI	FM富士/三ツ峠
6	79.5	NACK5	FM埼玉/浦和
7	80.0	TOKYO FM	FM東京/東京
8	80.4	YOKOHAMA	FM横浜/小田原
9	80.7	NHK-FM	NHK-FM/千葉
10	81.3	J-WAVE	FMジャパン/東京
11	81.9	NHK-FM	NHK-FM/横浜
12	82.5	NHK-FM	NHK-FM/東京
13	83.5	NHK-FM	NHK-FM/小田原
14	83.7	NHK-FM	NHK-FM/勝浦
15	84.7	YOKOHAMA	FM横浜/横浜
16	85.1	NHK-FM	NHK-FM/浦和
17	87.4	bay FM	FMサウンド千葉/勝浦

AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
18	594	NHK-1	NHK-第1/東京
19	693	NHK-2	NHK-第2/東京
20	810	AFN	AFN東京/福生
21	954	TBS	東京放送/東京
22	1134	ブンカホウソウ	文化放送/東京
23	1242	ニッポンホウソウ	ニッポン放送/横浜
24	1422	ラジオニッポン	ラジオ日本/横浜
25	1485	ラジオニッポン	ラジオ日本/小田原

◇札幌　（都市－2　北海道）

FM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.4	AIR-G'	FM北海道/旭川
2	78.5	AIR-G'	FM北海道/帯広
3	79.4	northwave	FMノースウェーブ/函館
4	79.5	northwave	FMノースウェーブ/小樽
5	79.8	northwave	FMノースウェーブ/旭川
6	80.4	AIR-G'	FM北海道/札幌
7	80.7	northwave	FMノースウェーブ/釧路
8	81.9	AIR-G'	FM北海道/小樽
9	82.1	northwave	FMノースウェーブ/帯広
10	82.5	northwave	FMノースウェーブ/札幌
11	83.1	AIR-G'	FM北海道/網走
12	85.2	NHK-FM	NHK-FM/札幌
13	85.8	NHK-FM	NHK-FM/旭川
14	86.0	NHK-FM	NHK-FM/北見/北桧山
15	86.4	AIR-G'	FM北海道/釧路
16	87.0	NHK-FM	NHK-FM/函館
17	87.5	NHK-FM	NHK-FM/帯広
18	88.0	NHK-FM	NHK-FM/室蘭
19	88.2	NHK-FM	NHK-FM/名寄
20	88.5	NHK-FM	NHK-FM/釧路
21	88.8	AIR-G'	FM北海道/函館
22	89.4	AIR-G'	FM北海道/室蘭

AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
23	567	NHK-1	NHK-第1/札幌
24	585	NHK-1	NHK-第1/釧路
25	747	NHK-2	NHK-第2/札幌
26	900	HBC	北海道放送/函館
27	1152	NHK-2	NHK-第2/釧路
28	1287	HBC	北海道放送/札幌
29	1404	HBC	北海道放送/釧路
30	1440	STV	札幌TV/札幌

◇仙台　（都市－3　宮城県）

FM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
1	77.1	Date fm	FM仙台/仙台
2	81.3	Date fm	FM仙台/気仙沼
3	81.4	Date fm	FM仙台/白石
4	82.5	NHK-FM	NHK-FM/仙台
5	84.1	Date fm	FM仙台/志津川/鳴子
6	84.3	NHK-FM	NHK-FM/白石
7	84.6	NHK-FM	NHK-FM/気仙沼
8	85.2	NHK-FM	NHK-FM/志津川/鳴子

AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
9	801	TBC	東北放送/気仙沼
10	891	NHK-1	NHK-第1/仙台
11	981	NHK-1	NHK-第1/志津川
12	1089	NHK-2	NHK-第2/仙台
13	1161	NHK-1	NHK-第1/気仙沼/鳴子
14	1215	TBC	東北放送/志津川
15	1260	TBC	東北放送/仙台
16	1539	NHK-2	NHK-第2/気仙沼
17	1557	TBC	東北放送/鳴子

◇名古屋　（都市－4　愛知県、静岡県、三重県）

FM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
1	77.1	ZIP-FM	FM名古屋/豊橋
2	77.8	ZIP-FM	FM名古屋/名古屋
3	78.4	K-MIX	静岡FM/浜松
4	78.9	FM MIE	三重FM/津
5	79.2	K-MIX	静岡FM/静岡
6	79.5	RADIO-i	愛知国際放送/名古屋
7	80.7	FM-AICHI	FM愛知/名古屋
8	81.3	FM-AICHI	FM愛知/豊橋
9	81.8	NHK-FM	NHK-FM/津
10	82.1	NHK-FM	NHK-FM/浜松
11	82.5	NHK-FM	NHK-FM/名古屋
12	83.3	NHK-FM	NHK-FM/設楽
13	83.6	NHK-FM	NHK-FM/岐阜
14	85.3	NHK-FM	NHK-FM/豊橋
15	88.8	NHK-FM	NHK-FM/静岡

AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
16	729	NHK-1	NHK-第1/名古屋
17	864	Tokai SF	東海ラジオ/豊橋
18	909	NHK-2	NHK-第2/名古屋
19	1053	CBC	中部日本/名古屋
20	1161	NHK-1	NHK-第1/豊橋
21	1332	Tokai SF	東海ラジオ/名古屋
22	1359	NHK-2	NHK-第2/豊橋
23	1485	CBC	中部日本/豊橋

◇大阪　（都市－5　大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県）

FM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.5	CO･CO･LO	関西インターメディア/大阪
2	77.0	E-Radio	FM滋賀/大津
3	78.3	FM802	FM802/中能勢
4	80.2	FM802	FM802/大阪
5	80.7	Passion	FM徳島
6	82.8	NHK-FM	NHK-FM/京都
7	84.0	NHK-FM	NHK-FM/大津
8	84.2	NHK-FM	NHK-FM/姫路
9	85.1	fm osaka	FM大阪/大阪
10	86.5	NHK-FM	NHK-FM/神戸
11	87.1	Kiss FM	兵庫FMラジオ/芦屋
12	88.1	NHK-FM	NHK-FM/大阪
13	89.4	α-STATION	FM京都/京都
14	89.9	Kiss FM	兵庫FMラジオ/神戸

AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
15	558	AMK	ラジオ関西/神戸
16	621	NHK-1	NHK-第1/京都
17	666	NHK-1	NHK-第1/大阪
18	828	NHK-2	NHK-第2/大阪
19	945	NHK-1	NHK-第1/彦根
20	1008	ABC	朝日放送/大阪
21	1143	KBS	KBS京都/京都
22	1179	MBS	毎日放送/大阪
23	1215	KBS	KBS京都/舞鶴/彦根
24	1233	WBS	和歌山放送/田辺/日置川
25	1269	JRT	四国放送/徳島/池田
26	1314	OBC	ラジオ大阪/大阪
27	1395	AMK	ラジオ関西/豊岡
28	1431	WBS	和歌山放送/和歌山/串本
29	1485	KBS	KBS京都/福知山
30	1557	WBS	和歌山放送/新宮/御坊

◇広島　（都市－6　広島県）

FM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
1	77.1	HIROSHIMA	広島FM/高見山
2	78.2	HIROSHIMA	広島FM/広島
3	81.7	HIROSHIMA	広島FM/呉
4	81.9	NHK-FM	NHK-FM/豊栄
5	82.0	NHK-FM	NHK-FM/南加計
6	82.1	HIROSHIMA	広島FM/福山
7	82.3	HIROSHIMA	広島FM/佐東
8	83.0	NHK-FM	NHK-FM/安芸千代田
9	83.5	HIROSHIMA	広島FM/三次
10	83.7	NHK-FM	NHK-FM/呉
11	84.3	NHK-FM	NHK-FM/佐東
12	84.5	NHK-FM	NHK-FM/三次
13	84.8	NHK-FM	NHK-FM/福山
14	86.3	HIROSHIMA	広島FM/安芸千代田
15	88.3	NHK-FM	NHK-FM/広島

AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局
16	702	NHK-2	NHK-第2/広島
17	999	NHK-1	NHK-第1/福山
18	1035	NHK-2	NHK-第2/三次
19	1071	NHK-1	NHK-第1/広島
20	1161	NHK-1	NHK-第1/福山/庄原
21	1350	RCC	中国放送/広島
22	1458	RCC	中国放送/三次/庄原
23	1467	NHK-2	NHK-第2/福山
24	1530	RCC	中国放送/福山/三原
25	1584	NHK-1	NHK-第1/三次
26	1602	NHK-2	NHK-第2/福山

エリアファインメモリー　一覧表（つづき）

◇福岡　（都市－7　福岡県）

	FM				AM		
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.1	Love FM	九州国際/久留米	21	540	NHK-1	NHK-第1/北九州
2	77.0	CROSS FM	FM九州/北九州	22	612	NHK-1	NHK-第1/福岡
3	77.7	FMY	FM山口/下関	23	720	KBC	九州朝日/北九州
4	77.9	FM-SAGA	FM佐賀/佐賀	24	1017	NHK-2	NHK-第2/福岡
5	78.7	CROSS FM	FM九州/福岡	25	1062	RKB	RKB毎日/大牟田/行橋
6	79.2	FMY	FM山口/山口	26	1197	RKB	RKB毎日/北九州
7	79.5	Smile-FM	FM長崎/長崎	27	1278	RKB	RKB毎日/福岡
8	80.0	fukuoka	FM福岡/北九州	28	1413	KBC	九州朝日/福岡
9	80.7	fukuoka	FM福岡/福岡	29	1485	KBC	九州朝日/大牟田/行橋
10	81.5	FMY	FM山口/美祢	30	1602	NHK-2	NHK-第2/北九州
11	81.6	NHK-FM	NHK-FM/佐賀				
12	81.8	fukuoka	FM福岡/行橋				
13	82.1	fukuoka	FM福岡/久留米				
14	82.2	NHK-FM	NHK-FM/門司				
15	82.7	Love FM	九州国際/北九州				
16	83.4	NHK-FM	NHK-FM/久留米				
17	84.8	NHK-FM	NHK-FM/福岡				
18	85.7	NHK-FM	NHK-FM/北九州				
19	85.8	NHK-FM	NHK-FM/大牟田				
20	88.6	FMY	FM山口/宇部				

◇東北1　（地域－1　青森県、岩手県、秋田県）

	FM				AM		
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.1	FM IWATE	FM岩手/盛岡	20	531	NHK-1	NHK-第1/盛岡
2	77.0	FM IWATE	FM岩手/野田	21	576	NHK-1	NHK-第1/大船渡
3	77.1	FM AKITA	FM秋田/花輪	22	684	IBC	岩手放送/盛岡
4	78.0	FM AKITA	FM秋田/湯沢	23	774	NHK-2	NHK-第2/秋田
5	78.4	AFB	FM青森/八戸	24	936	ABS	秋田放送/秋田
6	79.2	FM IWATE	FM岩手/釜石	25	963	NHK-1	NHK-第1/青森
7	80.0	AFB	FM青森/青森	26	999	NHK-1	NHK-第1/八戸
8	81.3	AFB	FM青森/むつ	27	1233	RAB	青森放送/青森
9	81.8	NHK-FM	NHK-FM/八戸	28	1386	NHK-2	NHK-第2/盛岡
10	82.2	FM IWATE	FM岩手/二戸	29	1485	RAB	青森放送/八戸
11	82.7	NHK-FM	NHK-FM/むつ	30	1503	NHK-1	NHK-第1/秋田
12	82.8	FM AKITA	FM秋田/秋田				
13	83.1	NHK-FM	NHK-FM/盛岡				
14	83.5	NHK-FM	NHK-FM/宮古				
15	86.0	NHK-FM	NHK-FM/青森				
16	86.7	NHK-FM	NHK-FM/秋田				
17	88.3	NHK-FM	NHK-FM/大館/新庄				
18	89.2	FM AKITA	FM秋田/大館				
19	89.3	FM IWATE	FM岩手/宮古				

◇東北2　（地域－2　福島県、山形県）

	FM				AM		
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.9	Boy-FM	FM山形/鶴岡	18	540	NHK-1	NHK-第1/山形
2	77.3	Boy-FM	FM山形/米沢	19	846	NHK-1	NHK-第1/郡山
3	78.2	Boy-FM	FM山形/新庄	20	918	YBC	山形放送/山形
4	78.6	Fukushima	FM福島/いわき/原町	21	1098	RFC	ラジオ福島/郡山
5	79.8	Fukushima	FM福島/白河	22	1161	NHK-1	NHK-第1/会津
6	80.4	Boy-FM	FM山形/山形	23	1323	NHK-1	NHK-第1/福島
7	81.8	Fukushima	FM福島/福島	24	1341	NHK-1	NHK-第1/いわき
8	82.1	NHK-FM	NHK-FM/山形	25	1368	NHK-1	NHK-第1/鶴岡
9	82.8	Fukushima	FM福島/会津若松	26	1431	RFC	ラジオ福島/いわき
10	83.6	NHK-FM	NHK-FM/勿来	27	1458	RFC	ラジオ福島/福島
11	84.3	NHK-FM	NHK-FM/白河	28	1512	NHK-2	NHK-第2/郡山
12	84.6	NHK-FM	NHK-FM/長井	29	1521	NHK-2	NHK-第2/山形
13	85.3	NHK-FM	NHK-FM/福島	30	1602	NHK-2	NHK-第2/福島
14	85.9	NHK-FM	NHK-FM/会津若松				
15	86.0	NHK-FM	NHK-FM/鶴岡				
16	86.1	NHK-FM	NHK-FM/いわき				
17	88.3	NHK-FM	NHK-FM/新庄				

◇関東　（地域－3　茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都）

	FM				AM		
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.1	Inter FM	FMインタウェーブ/東京	17	594	NHK-1	NHK-第1/東京
2	76.4	BERRY	FM栃木/宇都宮	18	693	NHK-2	NHK-第2/東京
3	77.1	ホウソウダイガク	放送大学/東京	19	810	AFN	AFN東京/福生
4	78.8	ホウソウダイガク	放送大学/前橋	20	864	CRT	栃木放送/那須
5	79.5	NACK5	FM埼玉/浦和	21	954	TBS	東京放送/東京
6	80.0	TOKYO FM	FM東京/東京	22	1062	CRT	栃木放送/足利
7	80.3	NHK-FM	NHK-FM/宇都宮	23	1134	ブンカホウソウ	文化放送/東京
8	81.3	J-WAVE	FMジャパン/東京	24	1197	IBS	茨城放送/水戸
9	81.6	NHK-FM	NHK-FM/前橋	25	1242	ニッポンホウソウ	ニッポン放送/東京
10	82.2	FM GUNMA	FM群馬/榛名	26	1422	ラジオニッポン	ラジオ日本/横浜
11	82.5	NHK-FM	NHK-FM/東京	27	1458	IBS	茨城放送/土浦/関城
12	82.9	NHK-FM	NHK-FM/北茨城	28	1485	ラジオニッポン	ラジオ日本/小田原
13	83.2	NHK-FM	NHK-FM/水戸	29	1530	CRT	栃木放送/宇都宮
14	84.2	NHK-FM	NHK-FM/日立				
15	85.1	NHK-FM	NHK-FM/浦和				
16	86.3	FM GUNMA	FM群馬/前橋				

◇甲信越　（地域－4　山梨県、長野県、新潟県）

	FM				AM		
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	77.4	NHK-FM	NHK-FM/飯田	21	540	NHK-1	NNHK-第1/松本
2	77.5	NIIGATA	FM新潟/新潟	22	765	YBS	山梨放送/甲府
3	78.1	NAGANO	長野FM/聖	23	819	NHK-1	NHK-第1/長野
4	78.6	FM FUJI	FM富士/三ツ峠	24	837	NHK-1	NHK-第1/新潟
5	79.2	NIIGATA	FM新潟/糸魚川	25	864	SBC	信越放送/松本
6	79.7	NAGANO	長野FM/美ヶ原	26	927	NHK-1	NHK-第1/甲府
7	80.3	NAGANO	長野FM/小海	27	1098	SBC	信越放送/長野/飯田
8	80.5	FM FUJI	FM富士/身延	28	1116	BSN	新潟放送/新潟
9	82.3	NHK-FM	NHK-FM/新潟	29	1530	BSN	新潟放送/上越
10	83.0	FM FUJI	FM富士/甲府	30	1593	NHK-2	NHK-第2/新潟
11	83.3	NAGANO	長野FM/善光寺平				
12	83.5	NHK-FM	NHK-FM/大和				
13	84.0	NHK-FM	NHK-FM/長野				
14	84.7	NHK-FM	NHK-FM/身延				
15	85.1	NHK-FM	NHK-FM/糸魚川				
16	85.6	NHK-FM	NHK-FM/甲府				
17	85.7	NHK-FM	NHK-FM/善光寺平				
18	86.0	NHK-FM	NHK-FM/三ツ峠				
19	86.5	NIIGATA	FM新潟/大和				
20	88.3	NAGANO	長野FM/飯田				

◇東海　（地域－5　静岡県、三重県、岐阜県）

	FM				AM		
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	77.8	ZIP-FM	FM名古屋/名古屋	23	639	NHK-2	NHK-第2/静岡
2	78.1	FM MIE	FM三重/磯部	24	792	NHK-1	NHK-第1/高山
3	78.4	K-MIX	静岡FM/浜松	25	882	NHK-1	NHK-第1/静岡
4	78.9	FM MIE	三重FM/津	26	999	NHK-1	NHK-第1/浜松
5	79.2	K-MIX	静岡FM/静岡	27	1125	NHK-2	NHK-第2/高山
6	80.0	FM GIFU	FM岐阜/(2001.4)	28	1404	SBS	静岡放送/静岡/浜松
7	80.4	FM MIE	三重FM/尾鷲	29	1431	GBS	岐阜放送/岐阜
8	81.8	NHK-FM	NHK-FM/津	30	1521	NHK-2	NHK-第2/浜松
9	82.1	NHK-FM	NHK-FM/浜松				
10	82.8	NHK-FM	NHK-FM/磯部				
11	83.0	K-MIX	静岡FM/熱海				
12	83.4	NHK-FM	NHK-FM/中川根				
13	83.6	NHK-FM	NHK-FM/岐阜				
14	84.2	NHK-FM	NHK-FM/熱海				
15	84.4	NHK-FM	NHK-FM/名張				
16	84.8	NHK-FM	NHK-FM/土岐南				
17	85.3	NHK-FM	NHK-FM/伊豆長岡				
18	85.5	FM MIE	FM三重/名張				
19	85.6	NHK-FM	NHK-FM/郡上八幡				
20	85.8	NHK-FM	NHK-FM/中津川				
21	86.6	K-MIX	静岡FM/伊豆長岡				
22	88.8	NHK-FM	NHK-FM/静岡				

エリアファインメモリー　一覧表（つづき）

◇北陸　（地域－6　石川県、富山県、福井県）

FM				AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.1	FM FUKUI	FM福井/福井	17	540	NHK-1	NHK-第1/七尾
2	78.4	HELLO 5	FM石川/七尾	18	648	NHK-1	NHK-第1/富山
3	80.5	HELLO 5	FM石川/金沢	19	738	KNB	北日本放送/富山
4	81.5	NHK-FM	NHK-FM/富山	20	864	FBC	福井放送/福井
5	81.9	HELLO 5	FM石川/珠洲	21	927	NHK-1	NHK-第1/福井
6	82.2	NHK-FM	NHK-FM/金沢	22	1026	NHK-1	NHK-第1/敦賀
7	82.5	FUKUI FM	福井FM/小浜	23	1035	NHK-2	NHK-第2/富山
8	82.7	FM TOYAMA	富山FM/富山	24	1107	MRO	北陸放送/金沢
9	83.0	NHK-FM	NHK-FM/羽咋	25	1161	NHK-1	NHK-第1/小浜
10	83.2	NHK-FM	NHK-FM/珠洲	26	1224	NHK-1	NHK-第1/金沢
11	83.4	NHK-FM	NHK-FM/福井	27	1386	NHK-2	NHK-第2/金沢
12	83.9	NHK-FM	NHK-FM/輪島	28	1467	NHK-2	NHK-第2/七尾
13	84.4	NHK-FM	NHK-FM/七尾	29	1521	NHK-2	NHK-第2/福井
14	85.5	HELLO 5	FM石川/羽咋	30	1557	FBC	福井放送/小浜
15	87.8	NHK-FM	NHK-FM/小浜				
16	89.9	HELLO 5	FM石川/輪島				

◇近畿　（地域－7　兵庫県、京都府、奈良県、和歌山県、滋賀県）

FM				AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	77.0	E-Radio	FM滋賀/大津	22	558	AMK	ラジオ関西/神戸
2	77.6	Kiss FM	兵庫FMラジオ放送/姫路	23	621	NHK-1	NHK-第1/京都
3	78.3	Kiss FM	兵庫FMラジオ放送/氷上	24	666	NHK-1	NHK-第1/大阪
4	78.4	Kiss FM	兵庫FMラジオ放送/香住	25	828	NHK-2	NHK-第2/大阪
5	80.2	FM802	FM802/大阪	26	1008	ABC	朝日放送/大阪
6	80.7	Passion	FM徳島/徳島	27	1143	KBS	KBS京都/京都
7	81.8	NHK-FM	NHK-FM/田辺	28	1179	MBS	毎日放送/大阪
8	82.4	NHK-FM	NHK-FM/八鹿	29	1314	OBC	ラジオ大阪/大阪
9	82.7	NHK-FM	NHK-FM/波賀	30	1431	WBS	和歌山放送/和歌山
10	82.8	NHK-FM	NHK-FM/京都				
11	84.0	NHK-FM	NHK-FM/大津				
12	84.2	NHK-FM	NHK-FM/姫路/舞鶴				
13	84.7	NHK-FM	NHK-FM/和歌山				
14	85.1	fm osaka	FM大阪/大阪				
15	85.4	FM KYOTO	FM京都/峰山				
16	86.5	NHK-FM	NHK-FM/神戸				
17	87.2	α-STATION	FM京都/舞鶴				
18	87.4	NHK-FM	NHK-FM/奈良				
19	88.1	NHK-FM	NHK-FM/大阪				
20	89.4	α-STATION	FM京都/京都				
21	89.9	Kiss FM	兵庫FMラジオ放送/神戸				

◇中国　（地域－8　岡山県、山口県、島根県、鳥取県）

FM				AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.8	OKAYAMA	FM岡山/岡山	21	603	NHK-1	NHK-第1/岡山
2	77.2	V-air	FM山陰/用瀬	22	675	NHK-1	NHK-第1/山口
3	77.4	V-air	FM山陰/松江	23	765	KRY	山口放送/徳山/須佐田万川
4	77.7	FMY	FM山口/下関	24	900	BSS	山陰放送/米子
5	78.2	HIROSHIMA	広島FM/広島	25	1296	NHK-1	NHK一第1/松江
6	78.6	FMY	FM山口/萩	26	1350	RCC	中国放送/広島
7	78.8	V-air	FM山陰/鳥取	27	1377	NHK-2	NHK-第2/山口
8	79.2	FMY	FM山口/山口	28	1386	NHK-2	NHK-第2/岡山
9	80.4	OKAYAMA	FM岡山/津山/笠岡	29	1494	RSK	山陰放送/岡山
10	80.7	V-air	FM山陰/邑智	30	1593	NHK-2	NHK-第2/松江
11	82.4	NHK-FM	NHK-FM/萩				
12	82.7	Love FM	九州国際/北九州				
13	83.3	NHK-FM	NHK-FM/宇部				
14	84.5	NHK-FM	NHK-FM/松江				
15	85.3	NHK-FM	NHK-FM/山口				
16	85.8	NHK-FM	NHK-FM/鳥取				
17	86.6	V-air	FM山陰/浜田				
18	88.3	NHK-FM	NHK-FM/広島				
19	88.6	FMY	FM山口/宇部				
20	88.7	NHK-FM	NHK-FM/岡山				

◇四国　（地域－9　徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

FM				AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	77.6	FM EHIME	FM愛媛/八幡浜	20	846	NHK-1	NHK-第1/宇和島/新居浜
2	77.7	TOKUSHIMA	FM徳島/日和佐	21	900	RKC	高知放送/高知
3	78.5	Hi-Six	FM高知/中村	22	945	NHK-1	NHK-第1/徳島
4	78.6	KAGAWA	FM香川/高松	23	963	NHK-1	NHK-第1/松山
5	79.7	FM EHIME	FM愛媛/松山	24	990	NHK-1	NHK-第1/高知
6	80.7	TOKUSHIMA	FM徳島/徳島	25	1116	RNB	南海放送/松山/宇和島/新居浜
7	81.6	Hi-Six	FM高知/高知	26	1152	NHK-2	NHK-第2/高知
8	82.1	FM EHIME	FM愛媛/宇和島	27	1269	JRT	四国放送/徳島/池田
9	82.3	TOKUSIMA	FM徳島/池田	28	1368	NHK-1	NHK-第1/高松
10	83.4	NHK-FM	NHK-FM/徳島	29	1449	RNC	西日本放送/高松/丸亀
11	84.4	NHK-FM	NHK-FM/中村/川之江	30	1512	NHK-2	NHK-第2/松山
12	84.8	NHK-FM	NHK-FM/宇和島				
13	85.7	NHK-FM	NHK-FM/日和佐				
14	86.0	NHK-FM	NHK-FM/高松				
15	86.5	NHK-FM	NHK-FM/八幡浜				
16	87.0	NHK-FM	NHK-FM/新居浜				
17	87.5	NHK-FM	NHK-FM/高知				
18	87.7	NHK-FM	NHK-FM/松山				
19	89.2	FM EHIME	FM愛媛/新居浜				

◇九州1　（地域－10　佐賀県、長崎県、熊本県）

FM				AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	77.4	FMK	FM中九州/熊本	19	684	NHK-1	NHK-第1/長崎
2	77.9	FM-SAGA	FM佐賀/佐賀	20	756	NHK-1	NHK-第1/熊本
3	78.4	FMK	FM中九州/御所浦	21	873	NHK-2	NHK-第2/熊本
4	78.7	CROSS FM	FM九州/福岡	22	963	NHK-1	NHK-第1/佐賀
5	79.5	Smile-FM	FM長崎/長崎	23	981	NHK-1	NHK-第1/佐世保
6	80.0	fukuoka	FM福岡/北九州	24	1098	NBC	長崎放送/佐世保
7	80.3	Smile-FM	FM長崎/佐世保	25	1197	RKK	熊本放送/熊本
8	80.7	fukuoka	FM福岡/福岡	26	1233	NBC	長崎放送/長崎
9	81.6	NHK-FM	NHK-FM/佐賀	27	1278	RKB	毎日放送/福岡
10	82.5	NHK-FM	NHK-FM/水俣	28	1413	KBC	九州朝日放送/福岡
11	82.6	NHK-FM	NHK-FM/厳原(対馬)	29	1458	NBC	長崎放送/佐賀
12	82.8	NHK-FM	NHK-FM/大瀬戸	30	1575	AFN	AFN佐世保/佐世保
13	83.3	NHK-FM	NHK-FM/郷ノ浦				
14	84.5	NHK-FM	NHK-FM/長崎				
15	84.8	NHK-FM	NHK-FM/福岡				
16	85.4	NHK-FM	NHK-FM/熊本				
17	85.7	NHK-FM	NHK-FM/北九州				
18	86.0	NHK-FM	NHK-FM/佐世保				

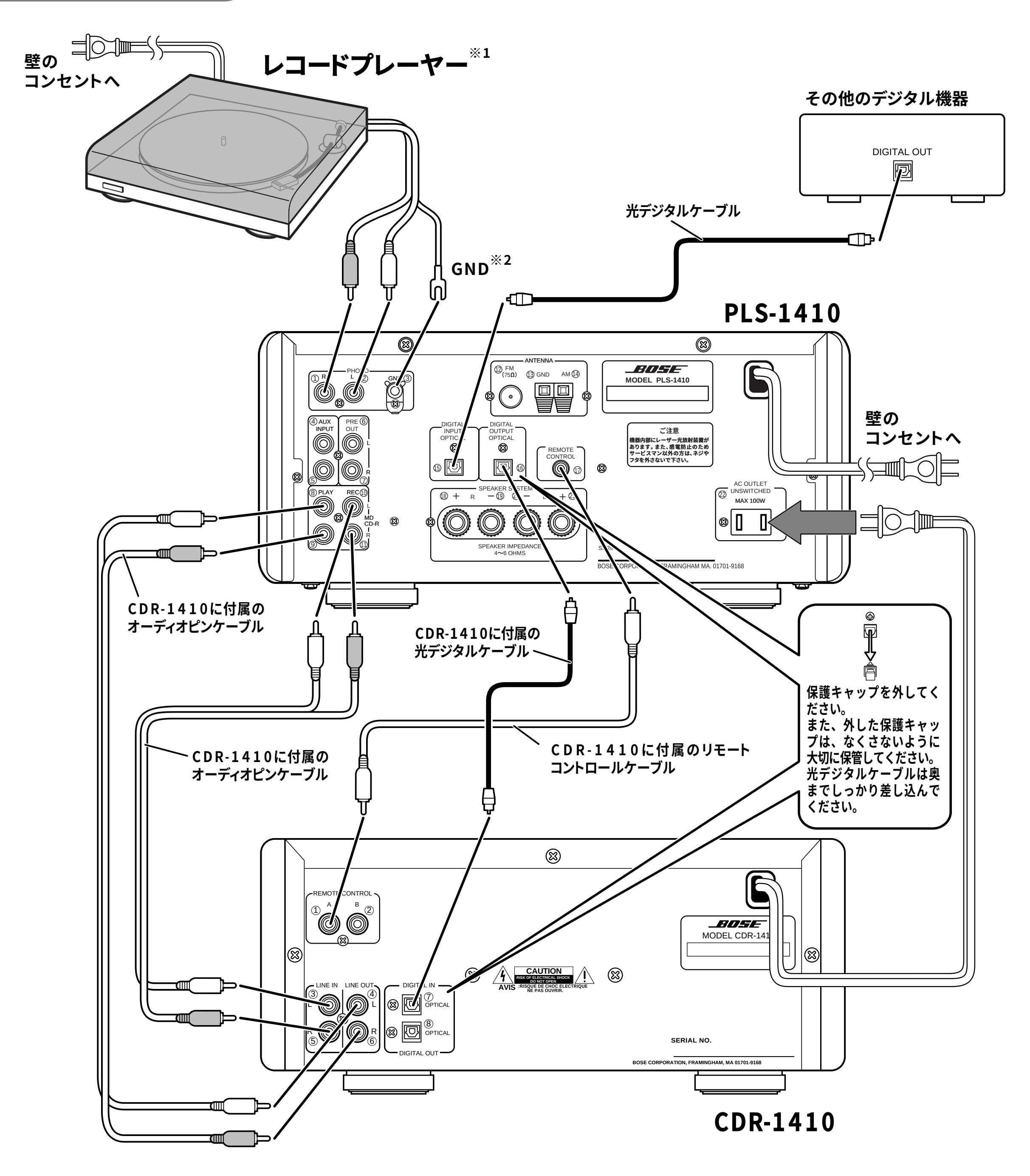
◇九州2　（地域－11　大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

FM				AM			
No.	周波数	キャラクター	放送局	No.	周波数	キャラクター	放送局
1	76.6	μ-FM	FM鹿児島/枕崎	19	540	NHK-1	NHK-第1/宮崎
2	79.0	μ-FM	FM鹿児島/鹿屋	20	549	NHK-1	NHK-第1/那覇
3	79.8	μ-FM	FM鹿児島/鹿児島	21	576	NHK-1	NHK-第1/鹿児島
4	80.5	μ-FM	FM鹿児島/阿久根	22	639	NHK-1	NHK-第1/大分
5	83.2	JOY FM	FM宮崎/宮崎	23	648	AFN	AFN沖縄/那覇
6	84.4	NHK-FM	NHK-FM/種子島	24	738	RBC	琉球放送/那覇
7	84.9	JOY FM	FM宮崎/高千穂	25	864	ROK	ラジオ沖縄/沖縄
8	85.0	NHK-FM	NHK-FM/平良	26	936	MRT	宮崎放送/宮崎
9	85.6	NHK-FM	NHK-FM/鹿児島	27	1098	OBS	大分放送/大分
10	86.2	NHK-FM	NHK-FM/宮崎	28	1107	MBC	南日本放送/鹿児島
11	87.0	NHK-FM	NHK-FM/延岡/石垣	29	1125	NHK-2	NHK-第2/那覇
12	87.3	Okinawa	FM沖縄/那覇	30	1386	NHK-2	NHK-第2/鹿児島
13	88.0	Air Radio	FM大分/大分				
14	88.1	NHK-FM	NHK-FM/沖縄/高千穂				
15	88.9	NHK-FM	NHK-FM/大分				
16	89.1	AFN	AFN沖縄/沖縄				
17	89.3	Air Radio	FM大分/大分				
18	89.5	JOY FM	FM宮崎/延岡				

外部の機器との接続

A レコードプレーヤーとボーズ社CDR-1410を接続する場合

接続するには



※1 フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーでMM型カートリッジを使用しているものに限ります。
※2 レコードプレーヤーの一部にはGNDが無いものがあります。レコードプレーヤーの取扱説明書をよく読んでご使用ください。

⚠ 重要

PHONO入力端子へは

PHONO入力端子へは、レコードプレーヤー以外は接続できません。本機はレコードプレーヤー用のフォノイコライザーを搭載しています。
PHONO入力端子へは、フォノイコライザーが内蔵されていないMM型カートリッジを使用しているレコードプレーヤーを接続してください。

・フォノイコライザーを内蔵しているレコードプレーヤーをご使用になる場合は、本機のAUX入力端子へレコードプレーヤーを接続してください。

外部の機器との接続（つづき）

聴くには

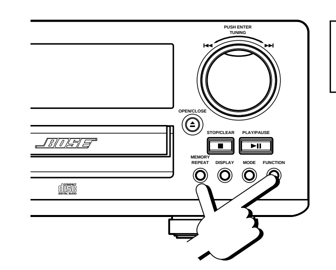
◆レコード、デジタル入力信号を聴くとき◆

1. レコードプレーヤーまたは、外部のデジタル機器の電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

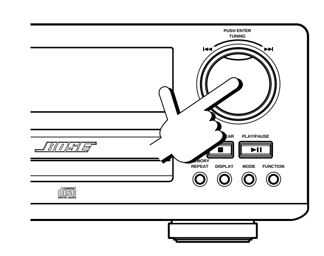
3. 本機のFUNCTION（ファンクション）キーを表示部に“ INPUT ”と表示されるまで押してください。

※リモコンを使うときは、レコードプレーヤーを選ぶにはPHONOキーを、外部のデジタル機器を選ぶときはDIGITALキーを押します。

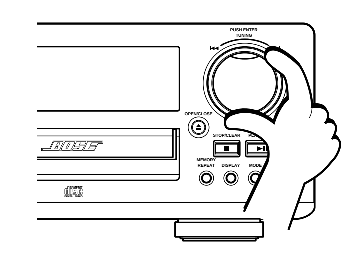


INPUT

4. 表示部が点滅している間（約10秒）にマルチジョグダイヤルを押します。



5. “ INPUT ”点灯中（約10秒）にレコードプレーヤーを選ぶときは“ PHONO ”を外部のデジタル機器を選ぶときは“ DIGITAL ”を表示するまでマルチジョグダイヤルを回します。



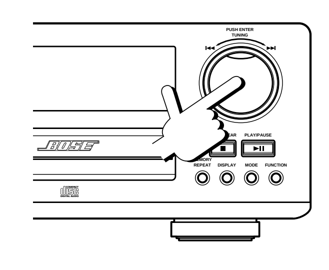
レコードプレーヤーを選ぶ場合

PHONO
PHONO

外部のデジタル機器を選ぶ場合

DIGITAL
DIGITAL

6. マルチジョグダイヤルを1回押します。



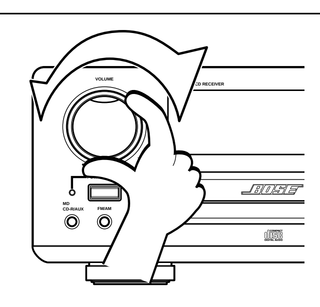
7. レコード再生または、デジタル機器で再生します。

※DVDプレーヤーの光デジタル出力を接続する場合は、次の点にご注意ください。

- 光デジタル出力端子から信号が出力されることを確認してください。
- デジタル信号がPCMであることを確認してください。ドルビーデジタルやDTSなどの信号は本機では再生できません。

ドルビー、DOLBY、AC-3、PRO LOGIC、およびダブルD記号 ◻◻ は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
“ DTS ”はDTS Technology LLCの商標です。

8. 本機のVOLUME（ボリューム）つまみを回して音量を調節してください。



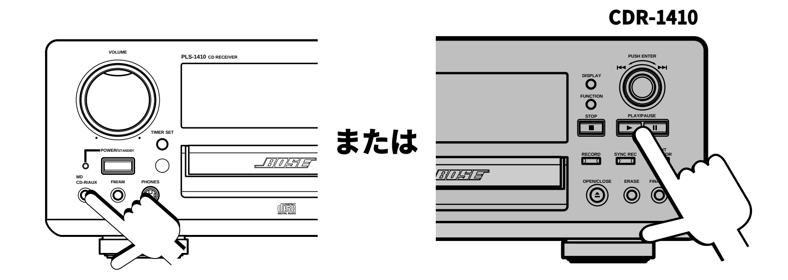
外部の機器との接続(つづき)

◆CDR-1410でCD、CD-R/RWを聴くとき◆

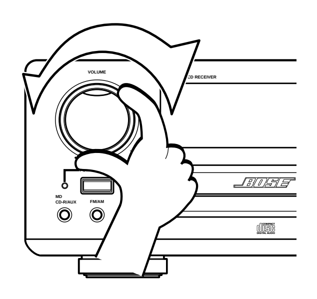
※本機とCDR-1410がリモートコントロールケーブルで接続されていることを確認してください。

1. **本機の電源を入れます。**

2. **本機のMD CD-Rキーを押して、CD-Rを選ぶか CDR-1410のPLAYキーを押してCD、CD-R/RW を再生します。**



3. **本機のVOLUME(ボリューム)つまみを回して音量を調節してください。**



外部の機器との接続(つづき)

録音するには

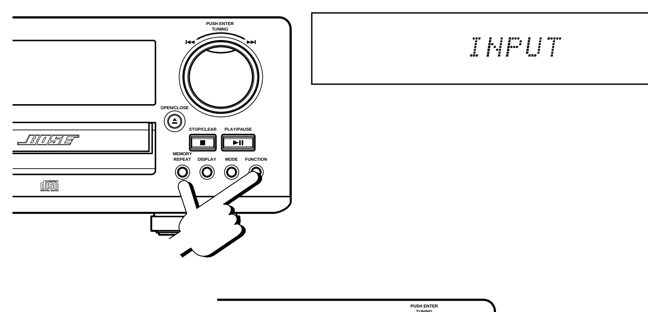
1 レコードをCD-R/RWに録音する場合（ボーズ社 CDR-1410を使って）

1. **レコードプレーヤーの電源を入れます。**

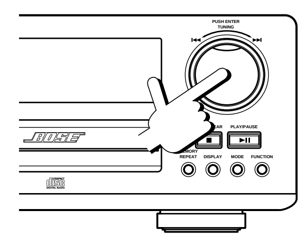
2. **本機の電源を入れます。**

3. **本機のFUNCTION（ファンクション）キーを表示部に“ INPUT ”と表示されるまで押してください。**

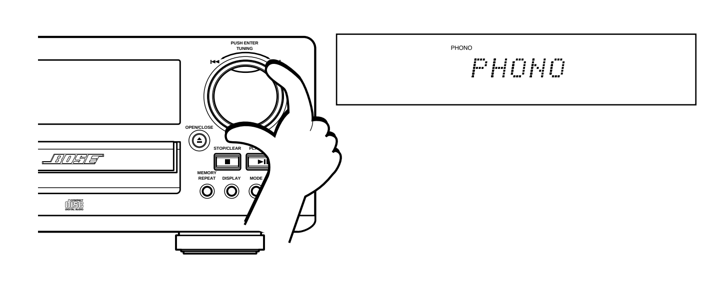
※リモコンのPHONOキーを押してもPHONOモードに変えられます。



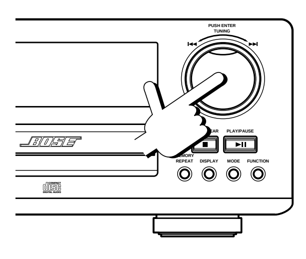
4. **表示部が点滅している間（約10秒）にマルチジョグダイヤルを押します。**



5. **“ INPUT ”点灯中（約10秒）にマルチジョグダイヤルを表示部に“ PHONO ”が表示されるまで回します。**



6. **マルチジョグダイヤルを押します。**

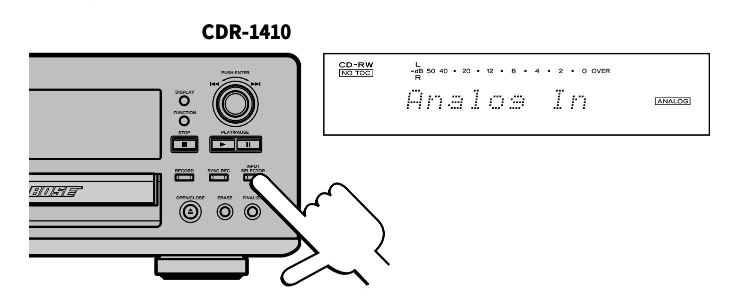


7. **ボーズ社CDR-1410の電源が入っている事を確認してください。**

・リモートコントロールケーブルが正しく接続されていれば、本機の電源を入れた時に自動的にCDR-1410の電源も入ります。

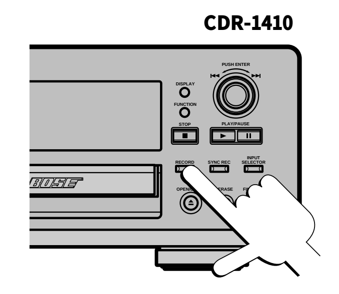
8. **録音用のCD-RまたはCD-RWをCDR-1410にセットします。**

9. **CDR-1410のINPUT SELECTOR（インプットセレクター）キーを押して“ Analog In ”を表示させます。**



外部の機器との接続(つづき)

10. CDR-1410のRECORD(レコード)キーを押します。



11. CDR-1410で曲番の付け方を選びます。

CDR-1410のFUNCTION(ファンクション)キーとマルチジョグダイヤルを使って各設定を次のように設定します。

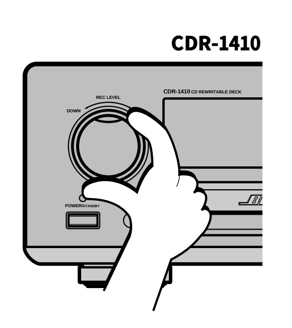
- “ A__TRACK>ON ”
  (オートトラックON/自動で曲番を付ける)に
- “ S__LVL>−54dB ”
  (サウンドレベル/無音部分の検出レベル)に

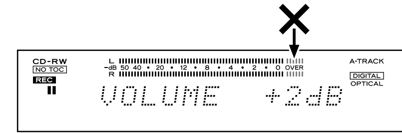
※オートトラックでうまく曲番が付かない場合は、CDR-1410の取扱説明書の「録音のための設定」をよく読んで設定をしてください。

12. レコードを再生します。

この場合、レコードの曲の中で一番大きな音の部分を選んで再生します。

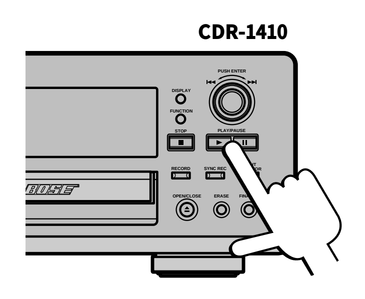
13. CDR-1410のピークレベルメーターを見ながらREC LEVEL(レックレベル)つまみを回して、レコードの中で一番大きな音の部分のときに、ピークレベルメーターの“ OVER ”が点灯しないように録音レベルを調節します。





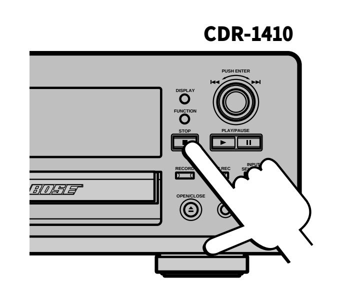
14. 録音レベルの設定が終了したらレコードの再生を止めます。

15. CDR-1410のPLAY/PAUSE(▶ または ❚❚)キーを押して録音を開始します。



16. レコードの再生を開始します。

17. レコードの再生が終了したら、CDR-1410の■STOP(ストップ)キーを押して録音を終了してください。



外部の機器との接続（つづき）

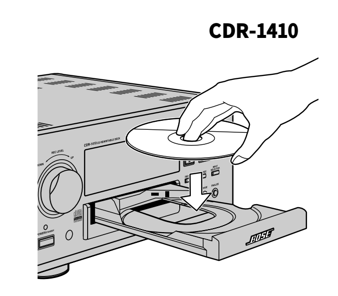
2 CDまたはアナログ録音CD-R（ファイナライズ済）をCD-R/RWにデジタルで録音する場合

1. 本機の電源を入れます。

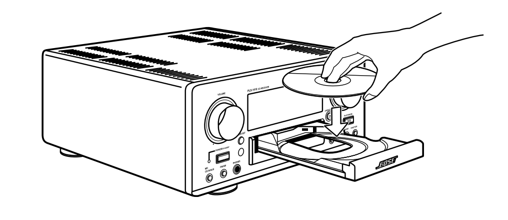
2. ボーズ社CDR-1410の電源が入っている事を確認してください。

・リモートコントロールケーブルが正しく接続されていれば、本機の電源を入れた時に自動的にCDR-1410の電源も入ります。

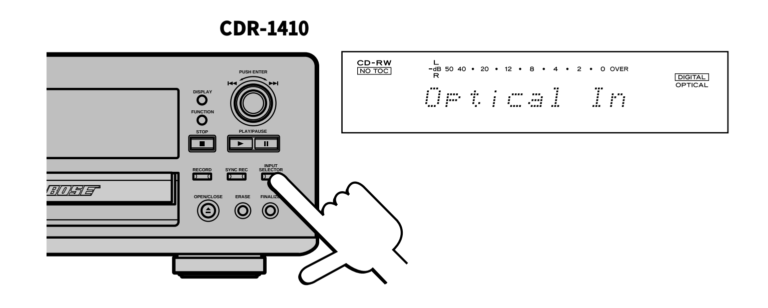
3. 録音用のCD-RまたはCD-RWをCDR-1410にセットします。



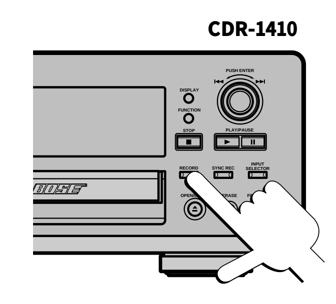
4. 本機に録音したい曲の入っているディスクをセットします。



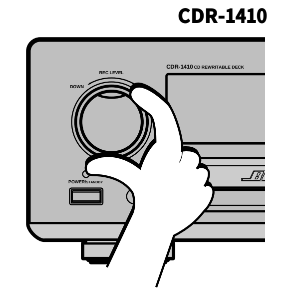
5. CDR-1410のINPUT SELECTOR（インプットセレクター）キーを押しで“ Optical In ”を選びます。



6. CDR-1410のRECORD（レコード）キーを押します。

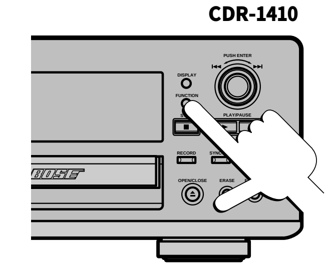


CDR-1410



7. CDR-1410のREC LEVEL(レックレベル) つまみを回して録音レベルを0dBに設定します。

CDR-1410

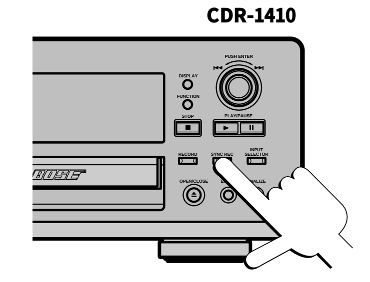


8. CDR-1410のFUNCTION(ファンクション)キーとマルチジョグダイヤルを使って各設定を次のように設定します。

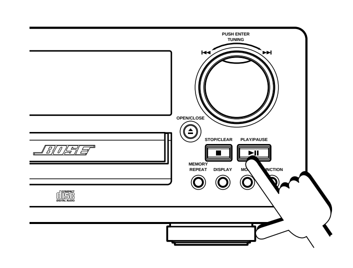
•" A__TRACK＞ON "
（オートトラックON/自動で曲番を付ける）に
•" S__LVL＞－72dB "
（サウンドレベル/無音部分の検出レベル）に

※アナログ録音されたCD-Rの場合は、サウンドレベルは－54dBくらいに合わせます。詳しくは、CDR-1410の取扱説明書の「録音のための設定」をよく読んで設定をしてください。

CDR-1410



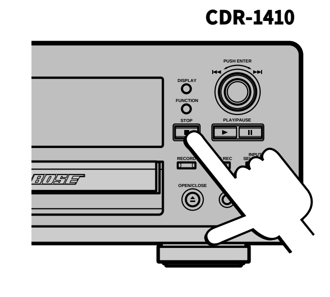
9. CDR-1410のSYNC REC(シンクレック)キーを押します。



10. 本機の►II PLAY/PAUSE(プレイ/ポーズ)キーを押すと自動的に録音が開始されます。

※自動的に録音が開始されなかったり、勝手に録音が開始されたりする場合はサウンドレベルの調節が必要です。CDR-1410の取扱説明書の「録音のための設定」を参照して調節してください。

CDR-1410



11. 本機のディスクの再生が終了したらCDR-1410の■ STOP(ストップ)キーを押して録音を終了させてください。

3 CDまたはデジタル録音CD-R(ファイナライズ済)をCD-R/RWにアナログで録音する場合

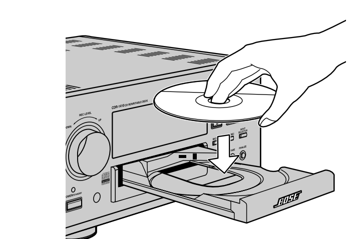
※デジタル録音したCD-R(CDからデジタルでコピーしたもの)の場合、シリアルコピーマネージメントシステムが働いて、デジタルで再びコピーをすることができません。

1. 本機の電源を入れます。

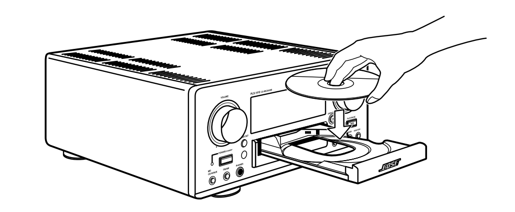
2. ボーズ社CDR-1410の電源が入っている事を確認してください。

・リモートコントロールケーブルが正しく接続されていれば、本機の電源を入れた時に自動的にCDR-1410の電源も入ります。

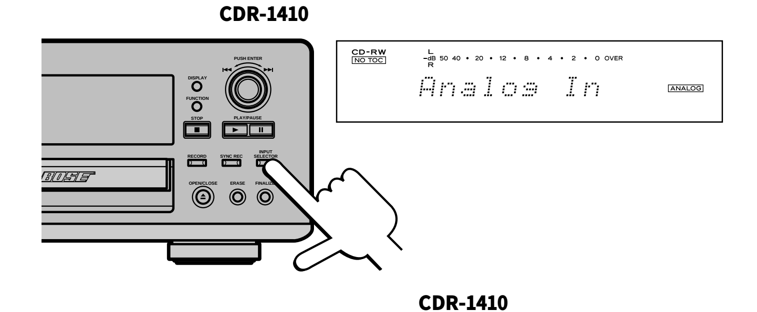
3. 録音用のCD-RまたはCD-RWをCDR-1410にセットします。



4. 本機に録音したい曲の入ったディスクをセットします。



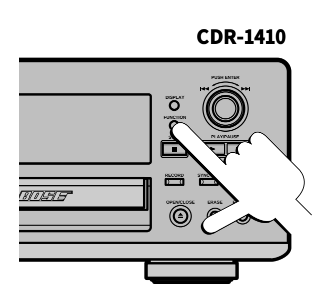
5. CDR-1410のINPUT SELECTOR(インプットセレクター)キーを押して"Analog In"を選びます。



6. CDR-1410のRECORD(レコード)キーを押します。



7. CDR-1410のFUNCTION(ファンクション)キーとマルチジョグダイヤルを使って各設定を次のように設定します。



・" A__TRACK>ON "
(オートトラックON/自動で曲番を付ける)に
・" S__LVL>−54dB "
(サウンドレベル/無音部分の検出レベル)に

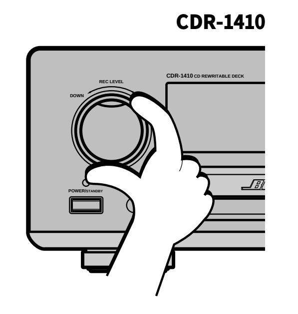
※オートトラックでうまく曲番が付かない場合は、CDR-1410の取扱説明書の「録音のための設定」をよく読んで設定をしてください。

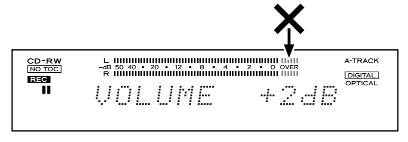
外部の機器との接続（つづき）

8. 本機でCDまたはデジタル録音CD-R（ファイナライズ済）の一番大きな音の部分を再生します。

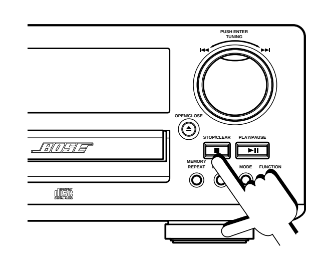
9. CDR-1410ピークレベルメーターを見ながらREC LEVEL(レックレベル)つまみを回して、CDまたはデジタル録音CD-R（ファイナライズ済）の中で一番大きな音の部分のときに、ピークレベルメーターの" OVER "が点灯しないように録音レベルを調整します。

CDR-1410



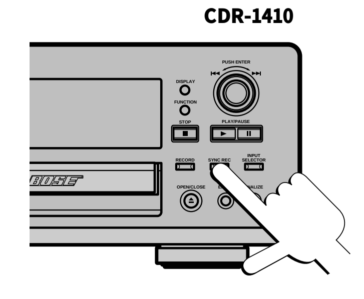


10. 録音レベルの設定が終了したら、本機の ■ STOP（ストップ）キーを押してください。



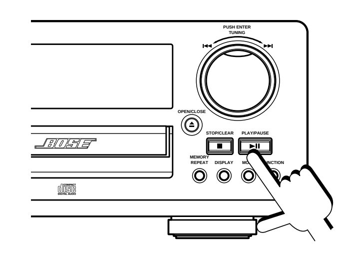
11. CDR-1410のSYNC REC（シンクレック）キーを押します。

CDR-1410



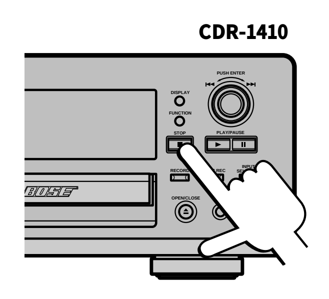
12. 本機の ►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押すと自動的に録音が開始されます。

※自動的に録音が開始されなかったり、勝手に録音が開始されたりする場合はサウンドレベルの調節が必要です。CDR-1410の取扱説明書の「録音のための設定」を参照して調節してください。



13. 本機のディスクの再生が終了したら、CDR-1410の ■ STOP（ストップ）キーを押して録音を終了させてください。

CDR-1410



外部の機器との接続(つづき)

CDまたはCD-RをCDR-1410を使ってコピーするときの便利な機能（CD CYNC録音）

本機には、たった2回キーを押すだけでディスクのコピーができる便利な機能(CD SYNC:CD シンク)が搭載されています。ただし、CDR-1410はあらかじめ以下の点がセットされている必要がありますが、一度設定を済ませれば、同じ条件のディスクであれば、この機能を使って簡単にディスクのコピーができます。

「録音のための設定」は以下の項目です。各項目のくわしい内容や設定の方法はCDR-1410の取扱説明書を参照してください。

○デジタル録音なのかアナログ録音なのか

・デジタル録音の場合
CDR-1410のINPUT SELECTORキーで " Optical In " を選びます。

・アナログ録音の場合
CDR-1410のINPUT SELECTORキーで " Analog In " を選びます。

○録音レベルの設定

・デジタルの場合
基本的には0dBに合わせます。

・アナログの場合
コピーするディスク内の曲の一番大きな音のときにCDR-1410のピークレベルメーターの " OVER " が点灯しないように調節します。

○オートトラック(自動で曲番を付ける)の設定

基本的にはONに設定します。

○サウンドレベルの設定

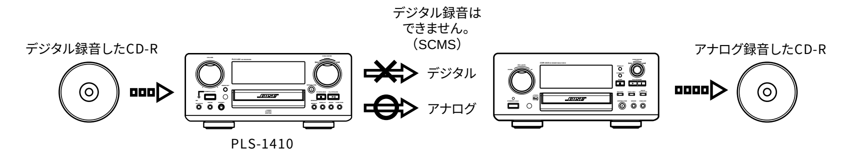
・デジタル録音の場合
基本的には－72dBに設定します。

・アナログの場合
雑音などにより、最適な値に設定します（デフォルト　初期値－54dB)。

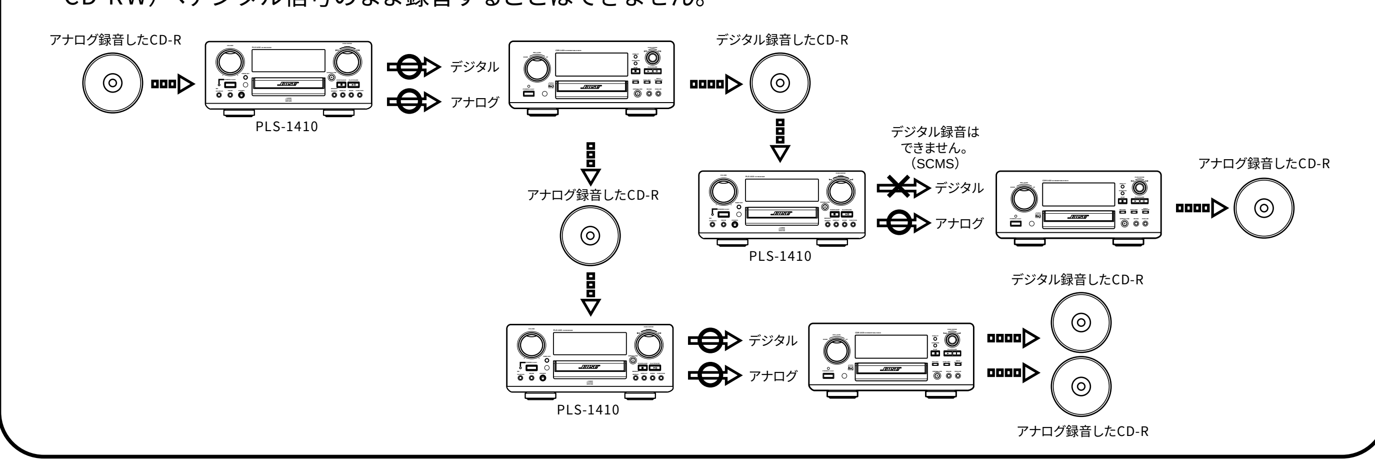
シリアルコピーマネージメントについて

シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は、著作権保護のため、各種のオーディオ機器間でデジタル録音ができるのは一世代だけに制限した規定です。

・CD(コンパクトディスク)、DAT(デジタルオーディオテープ)、MD (ミニディスク)ソフトからCD-R/RWへデジタル録音できますが、一度デジタル信号をデジタル信号のまま録音したデジタル録音媒体は、他のデジタル録音媒体へデジタル信号のまま録音することはできません。



・アナログレコードやFM放送などを、本機で録音したCD-R/RWから他のデジタル録音媒体へデジタル信号のまま一度だけ録音できますが、一度デジタル信号をデジタル信号のまま録音したものから、他のデジタル録音媒体(MD、CD-R、CD-RW)へデジタル信号のまま録音することはできません。



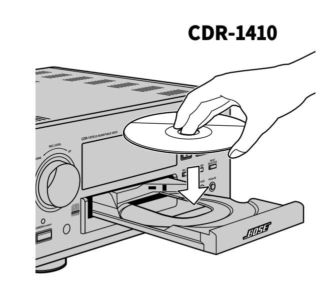
外部の機器との接続(つづき)

CD SYNC録音のしかた

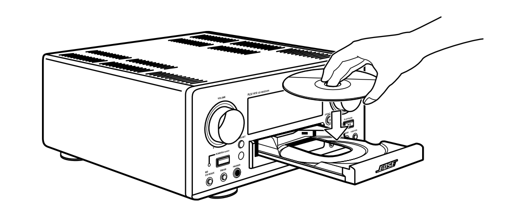
CDR-1410の「録音のための設定」がされている事と、リモートコントロールケーブルが正しく接続されている事を確認してください。

1. 本機の電源を入れます。

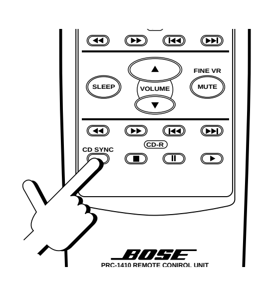
2. 録音用CD-RまたはCD-RWをCDR-1410にセットします。



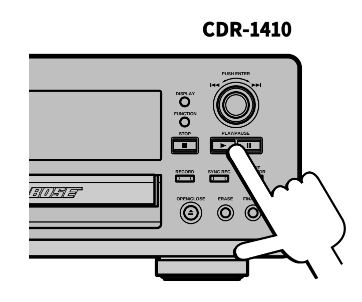
3. コピーしたい曲の入っているディスクを本機にセットします。



4. 本機のリモコンのCD SYNC(CDシンク)キーを押します。



5. CDR-1410のPLAY/PAUSE(▶ または II)キーを押すと録音が開始します。



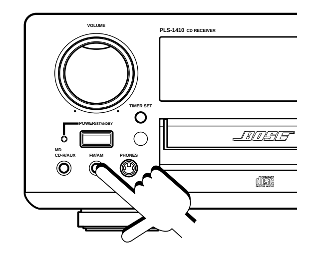
6. 本機のディスクが終了するとCDR-1410の録音も自動的に終了します。

4 ラジオをCD-R/RWに録音する場合

1. 本機の電源を入れます。

2. 本機のFM/AMキーを押してチューナーモードにします。

※リモコンのBANDキーを押してもチューナーモードに変えられます。

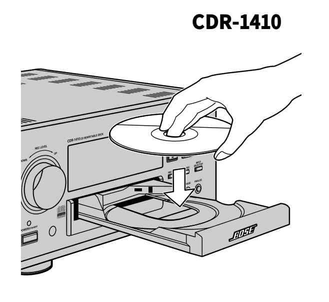


3. 録音したい放送番組を受信します。

4. ボーズ社CDR-1410の電源が入っていることを確認してください。

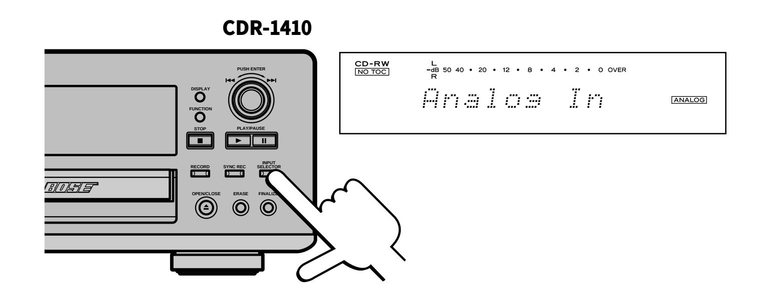
・リモートコントロールケーブルが正しく接続されていれば、本機の電源を入れた時に自動的にCDR-1410の電源も入ります。

CDR-1410



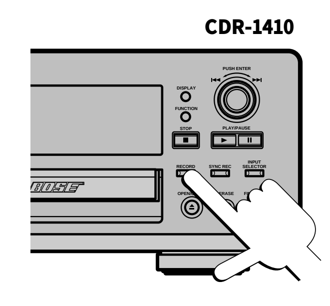
5. 録音用のCD-RまたはCD-RWをCDR-1410にセットします。

CDR-1410



6. CDR-1410のINPUT SELECTOR(インプットセレクター)キーを押して"Analog In"を表示させます。

CDR-1410



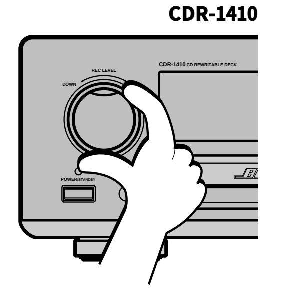
7. CDR-1410のRECORD(レコード)キーを押します。

外部の機器との接続(つづき)

8. CDR-1410で曲番の付け方を選びます。

CDR-1410のFUNCTIONキーを押して表示部に“ A__ TRACK>□□□ ”を表示させて、ジョグダイヤルを回して“ OFF ”を選びます。

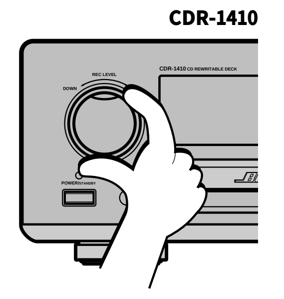
CDR-1410

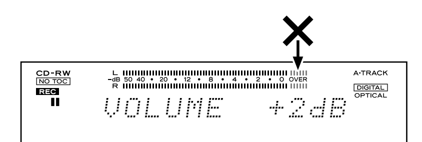


CD-RW NO TOC SYNC A_TRACK>OFF A-TRACK DIGITAL OPTICAL

9. CDR-1410のピークレベルメーターを見ながら“ OVER ”が点灯しないようにREC LEVELつまみを回して録音レベルを調節します。

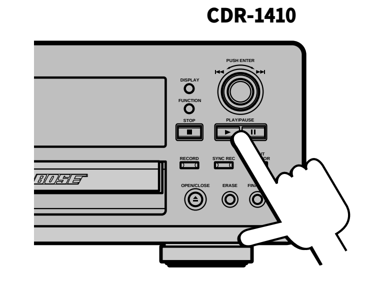
CDR-1410





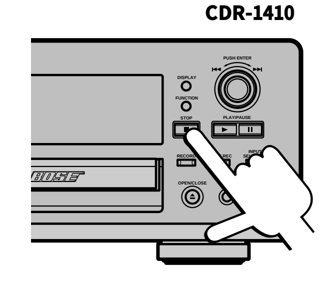
10. CDR-1410のPLAY/PAUSE(▶ または ‖) キーを押して録音を開始します。

CDR-1410



11. 録音を終了させる場合は、CDR-1410の ■STOP(ストップ)キーを押してください。

CDR-1410



外部の機器との接続(つづき)

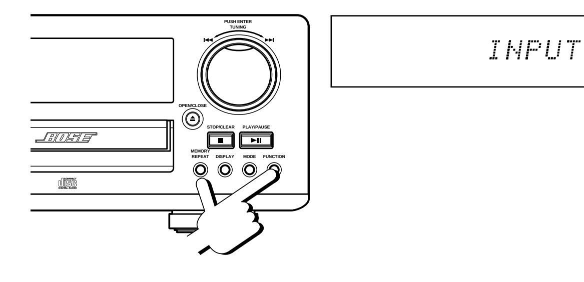
5 デジタル入力された信号をCD-R/RWに録音する場合 (BS、CSなどのデジタル音声をデジタル録音する場合)

1. **外部デジタル出力機器の電源を入れます。**

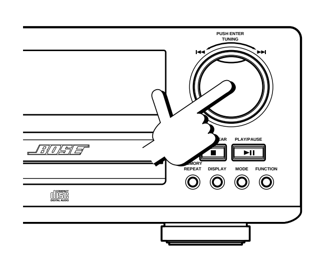
2. **本機の電源を入れます。**

3. **本機のFUNCTION(ファンクション)キーを表示部に " INPUT "と表示されるまで押してください。**

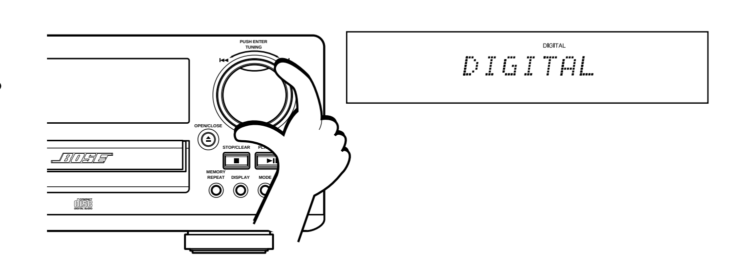
※リモコンのDIGITALキーを押してもデジタル入力モードに変えられます。



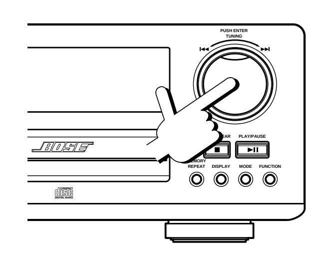
4. **表示部が点滅している間(約10秒)にマルチジョグダイヤルを押します。**



5 **" INPUT "点灯中(約10秒)にマルチジョグダイヤルを表示部に" DIGITAL "が表示されるまで回します。**



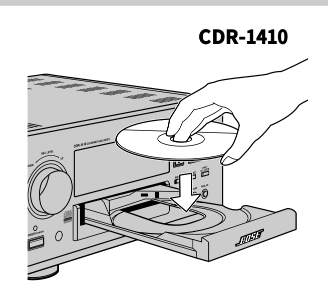
6. **マルチジョグダイヤルを押します。**



7. **ボーズ社CDR-1410の電源が入っている事を確認してください。**

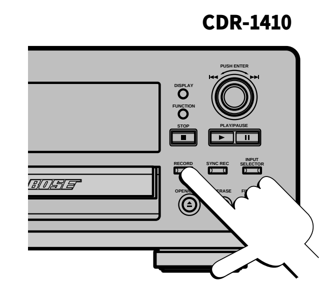
・リモートコントロールケーブルが正しく接続されていれば、本機の電源を入れた時に自動的にCDR-1410の電源も入ります。

8. 録音用のCD-RまたはCD-RWをCDR-1410にセットします。

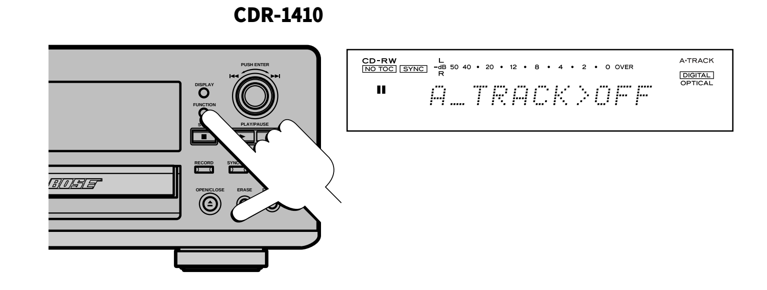


9. CDR-1410のINPUT SELECTOR(インプットセレクター)キーを押して“Optical In”を選びます。

※BS、CSデジタル音声の中にはデジタルで録音できない内容のもの(シリアルコピーマネジメント)があります。そのような放送を録音する場合は、46ページの4の6～11の操作を行ってください。

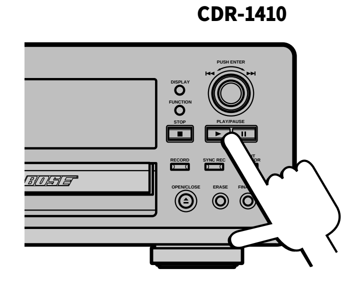


10. CDR-1410のRECORD(レコード)キーを押します。



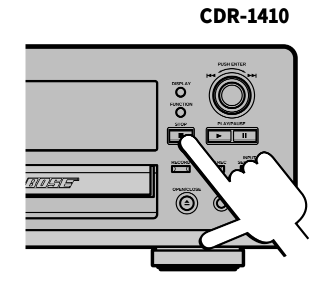
11. CDR-1410で曲番の付け方を選びます。

CDR-1410のFUNCTIONキーを押して表示部に“A_TRACK>□□□”を表示させて、ジョグダイヤルを回して“OFF”を選びます。



12. CDR-1410のPLAY/PAUSE(►または II)キーを押して録音を開始します。

13. 録音を終了させる場合は、CDR-1410の■STOP(ストップ)キーを押してください。



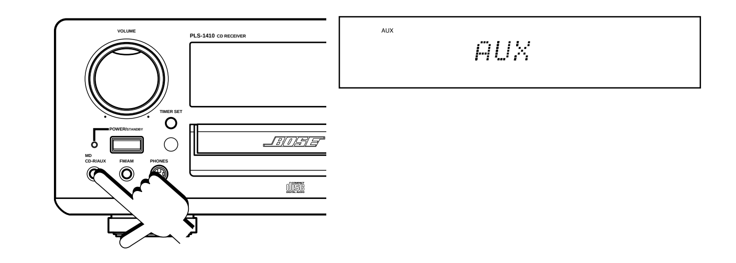
6 AUX入力端子からの入力信号をCD-R/RWに録音する場合

1. AUX入力端子につながれている外部の機器の電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

3. 本機のMD CD-R/AUXキーを表示部に“ AUX ”と表示されるまで押してください。

※リモコンのMD CD-R/AUXキーを押してもAUXモードに変えられます。



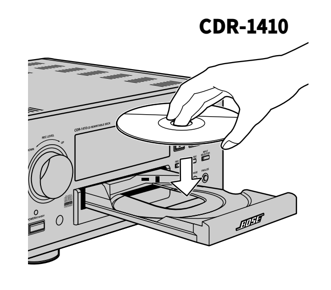
4. AUX入力端子につながれている機器で録音したい音声を再生します。

5. ボーズ社CDR-1410の電源が入っている事を確認してください。

・リモートコントロールケーブルが正しく接続されていれば、本機の電源を入れた時に自動的にCDR-1410の電源も入ります。

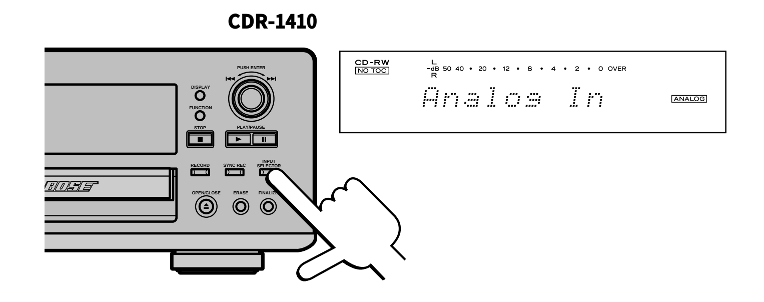
6. 録音用のCD-RまたはCD-RWをCDR-1410にセットします。

CDR-1410



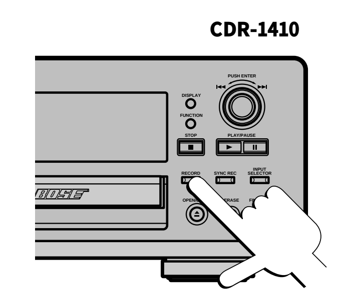
7. CDR-1410のINPUT SELECTOR（インプットセレクター）キーを押して“ Analog In ”を表示させます。

CDR-1410



8. CDR-1410のRECORD（レコード）キーを押します。

CDR-1410



外部の機器との接続(つづき)

9. CDR-1410で曲番の付け方を選びます。

・音楽などを録音する場合は

CDR-1410のFUNCTIONキーを押して表示部に“ A__TRACK>□□ ”を表示させて、ジョグダイヤルを回して“ ON ”を選びます。

※オートトラックでうまく曲番が付かない場合は、CDR-1410の取扱説明書の「録音のための設定」をよく読んで設定をしてください。

・放送番組やライブなどの場合は

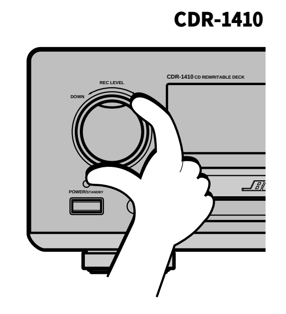
“ A__TRACK>OFF ”を選びます。

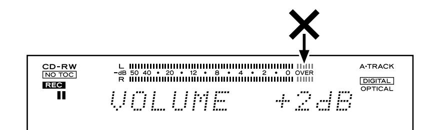
10. 録音したい音声を再生します。

このとき一番大きな音になるところを再生してください。

11. CDR-1410のピークレベルメーターを見ながらREC LEVEL(レックレベル)つまみを回して、音の一番大きなところでピークレベルメーターの“ OVER ”が点灯しないように録音レベルを調節します。

CDR-1410

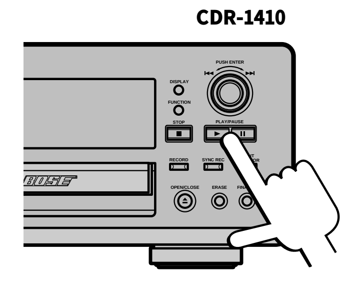




12. 録音レベルの設定が終了したらAUX入力端子につながれている機器の再生を停止します。

13. CDR-1410のPLAY/PAUSE(► または ▮▮)キーを押して録音を開始します。

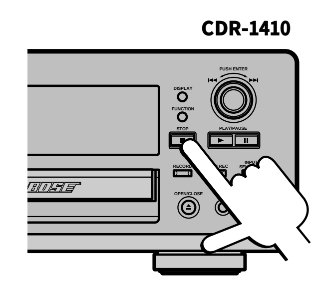
CDR-1410



14. AUX入力端子につながれている機器の再生を開始します。

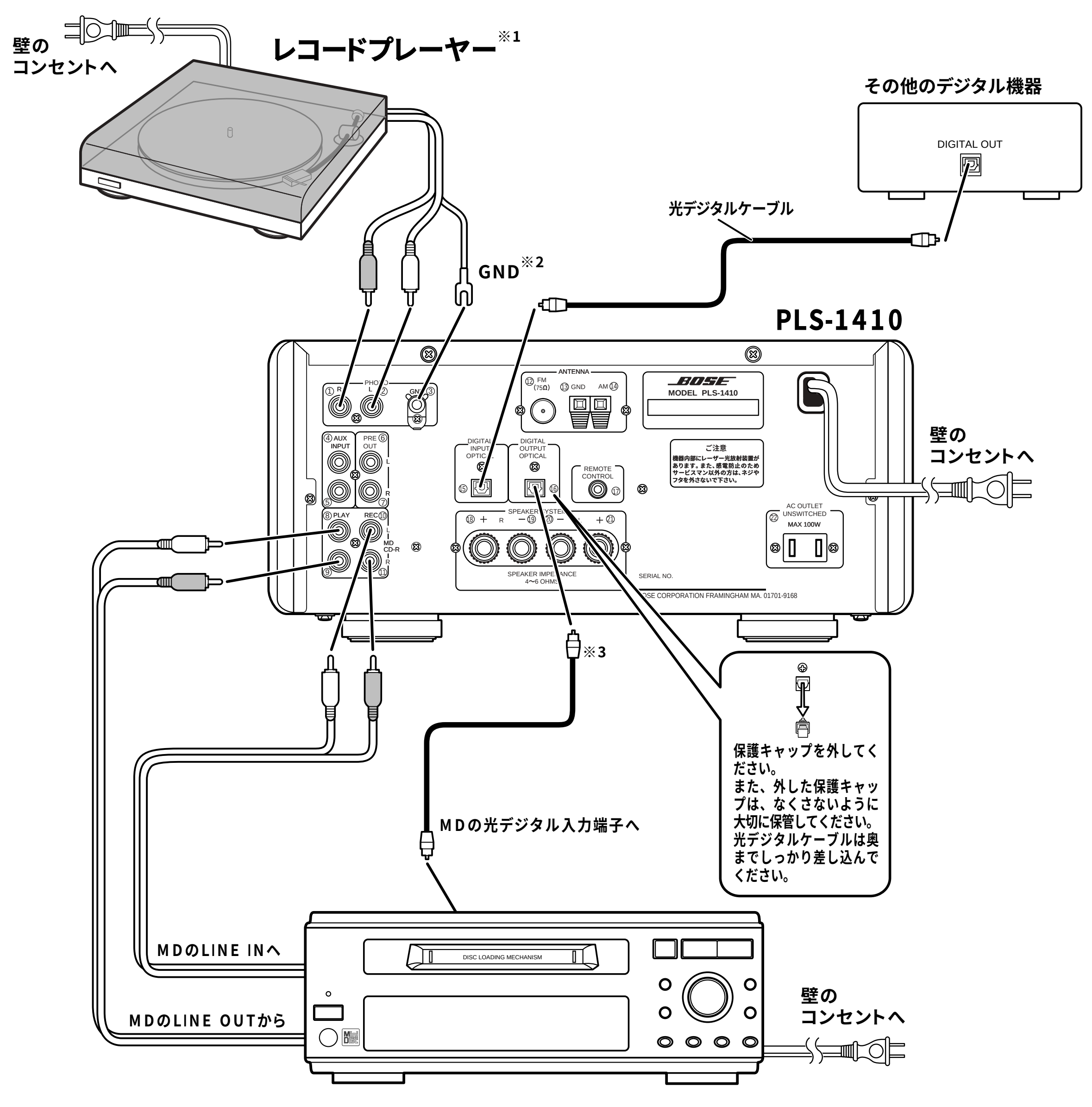
15. 録音したい音声の再生が終了したら、CDR-1410の■STOP(ストップ)キーを押してください。

CDR-1410



B レコードプレーヤーとMDデッキ、他社CD-R/RWまたはカセットデッキを接続する場合

接続するには



※1 フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーでMM型カートリッジを使用しているものに限ります。
※2 レコードプレーヤーの一部にはGNDが無いものがあります。レコードプレーヤーの取扱説明書をよく読んでご使用ください。
※3 MDデッキの場合のみ光デジタルケーブルを接続します。

⚠ 重要

PHONO入力端子へは

PHONO入力端子へは、レコードプレーヤー以外は接続できません。本機はレコードプレーヤー用のフォノイコライザーを搭載しています。
PHONO入力端子へは、フォノイコライザーが内蔵されていないMM型カートリッジを使用しているレコードプレーヤーを接続してください。

※フォノイコライザーを内蔵しているレコードプレーヤーをご使用になる場合は、本機のAUX入力端子へレコードプレーヤーを接続してください。

外部の機器との接続(つづき)

聴くには

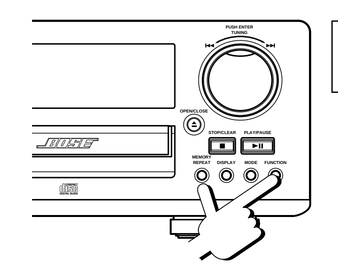
◆レコード、デジタル入力信号を聴くとき◆

1. レコードプレーヤーまたは、外部のデジタル機器の電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

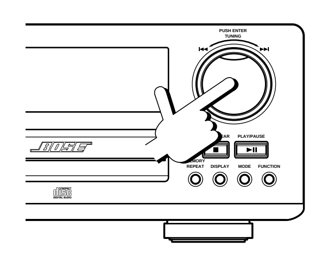
3. 本機のFUNCTION(ファンクション)キーを表示部に“ INPUT ”と表示されるまで押してください。

※リモコンを使うときは、レコードプレーヤーを選ぶにはPHONOキーを、外部のデジタル機器を選ぶときはDIGITALキーを押します。

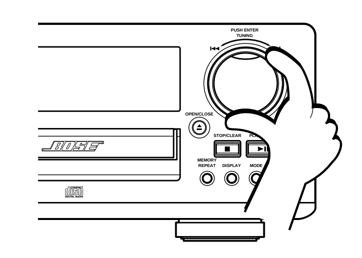


INPUT

4. 表示部が点滅している間(約10秒)にマルチジョグダイヤルを押します。



5.“ INPUT ”点灯中(約10秒)にレコードプレーヤーを選ぶときは“ PHONO ”を外部のデジタル機器を選ぶときは“ DIGITAL ”を表示するまでマルチジョグダイヤルを回します。



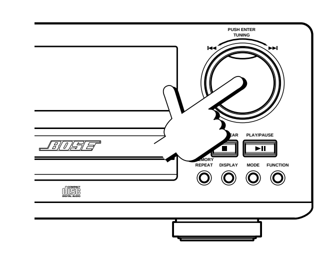
レコードプレーヤーを選ぶ場合

PHONO
PHONO

外部のデジタル機器を選ぶ場合

DIGITAL
DIGITAL

6. マルチジョグダイヤルを1回押します。



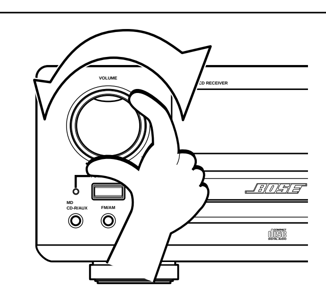
7. レコード再生または、デジタル機器で再生します。

※DVDプレーヤーの光デジタル出力を接続する場合は、次の点にご注意ください。

- ・光デジタル出力端子から信号が出力されることを確認してください。
- ・デジタル信号がPCMであることを確認してください。ドルビーデジタルやDTSなどの信号は本機では再生できません。

ドルビー、DOLBY、AC-3、PRO LOGIC、およびダブルD記号 DD は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
“ DTS ”はDTS Technology LLCの商標です。

8. 本機のVOLUME(ボリューム)つまみを回して音量を調節してください。



外部の機器との接続(つづき)

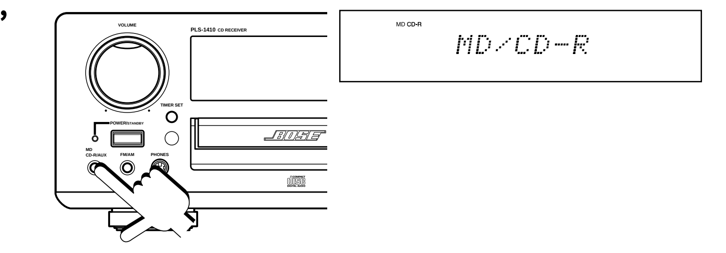
◆MDまたは、カセットテープを聴くとき◆

1. MDデッキまたは、カセットデッキの電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

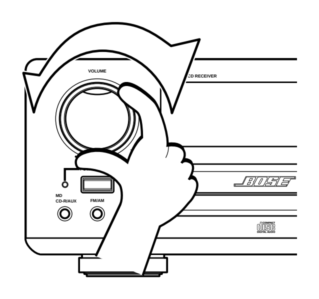
3. 本機のMD CD-R/AUXキーを表示部に" MD/CD-R "と表示されるまで押してください。

※リモコンのMD CD-R/AUXキーを押してMDまたはカセットデッキの入力モードにすることができます。



4. MDまたは、カセットテープを再生します。

5. 本機のVOLUME(ボリューム)つまみを回して音量を調節してください。



外部の機器との接続(つづき)

録音するには

1 レコードをMDまたは、カセットテープに録音する場合

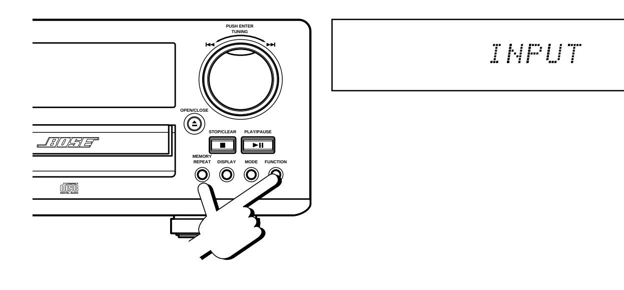
1. レコードプレーヤーの電源を入れます。

2. MDデッキまたは、カセットデッキの電源を入れます。

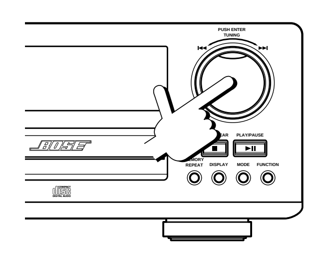
3. 本機の電源を入れます。

4. 本機のFUNCTION(ファンクション)キーを表示部に“ INPUT ”と表示されるまで押してください。

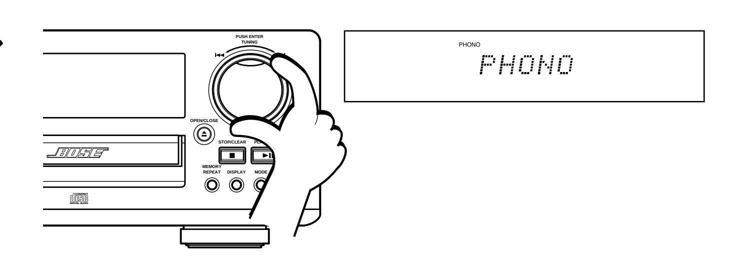
※リモコンのPHONOキーを押してもPHONO入力モードに変えられます。



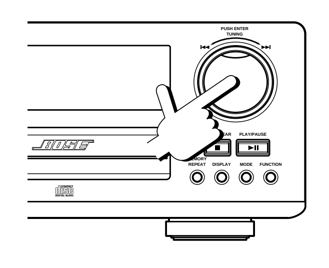
5. 表示部が点滅している間(約10秒)にマルチジョグダイヤルを押します。



6. “ INPUT ”点灯中(約10秒)にマルチジョグダイヤルを表示部に“ PHONO ”が表示されるまで回します。



7. マルチジョグダイヤルを押します。



8. MDデッキまたは、カセットデッキに録音用MDまたはカセットテープをセットします。

9. MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定を行います。

※MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定は、MDデッキまたは、カセットデッキの取扱説明書を見ながら行ってください。本機からは、アナログの信号が出力されます。MDデッキの場合は、アナログ録音の項目をご覧ください。

10. MDデッキまたは、カセットデッキの録音を開始します。

11. レコードの再生を開始します。

12. レコードの再生が終了したら、MDデッキまたは、カセットデッキの録音を終了させてください。

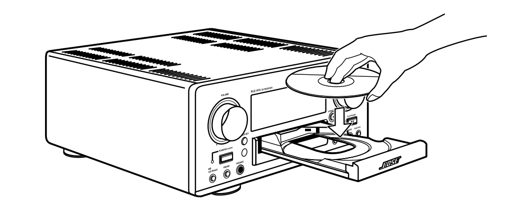
外部の機器との接続（つづき）

2 CDまたは、アナログ録音CD-R（ファイナライズ済）を MDまたは、カセットテープに録音する場合

1. MDデッキまたは、カセットデッキの電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

3. 本機に録音したい曲の入っているディスクをセットします。



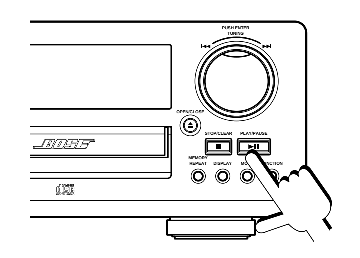
4. 録音用のMDまたは、カセットテープをMDデッキまたはカセットデッキにセットします。

5. MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定を行います。

※MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定は、それぞれの機器の取扱説明書を見ながら行ってください。MDデッキの場合は、本機からのデジタル出力を使って録音することができます。MDデッキの取扱説明書のデジタル録音の項目をご覧ください。

6. MDデッキまたは、カセットデッキの録音を開始します。

7. 本機の►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押してディスクの再生を開始します。



8. 録音したい曲が終了したらMDデッキまたは、カセットデッキの録音を終了させてください。

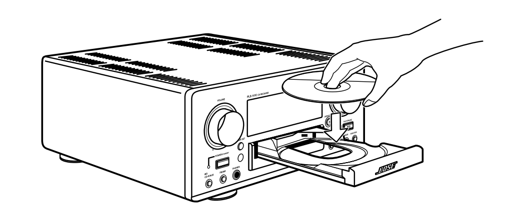
3 デジタル録音したCD-R（ファイナライズ済）をMDまたは、カセットテープに録音する（CDをデジタルコピー）場合

デジタルコピーしたCD-R は、シリアルコピーマネージメントシステムによりデジタル録音はできません。MD、カセットテープどちらもアナログで録音してください（44ページ参照）。

1. MDデッキまたは、カセットデッキの電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

3. 本機に録音したい曲の入っているディスクをセットします。



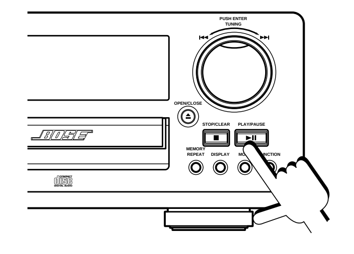
4. 録音用のMDまたは、カセットテープをMDデッキまたは、カセットデッキにセットします。

5. MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定を行います。

※MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定は、それぞれの機器の取扱説明書を見ながら行ってください。MDデッキの場合は、アナログ録音の項目をご覧ください。

6. MDデッキまたは、カセットデッキの録音を開始します。

7. 本機の►II PLAY/PAUSE（プレイ/ポーズ）キーを押してディスクの再生を開始します。



8. 録音したい曲が終了したらMDデッキまたは、カセットデッキの録音を終了させてください。

外部の機器との接続(つづき)

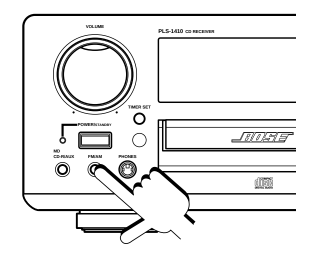
4 ラジオをMDまたは、カセットテープに録音する場合

1. MDデッキまたは、カセットデッキの電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

3. 本機のFM/AMキーを押してチューナーモードにします。

※リモコンのBANDキーを押してもチューナーモードに変えられます。



4. 録音したい放送番組を受信します。

5. 録音用のMDまたは、カセットテープをMDデッキまたはカセットデッキにセットします。

6. MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定を行います。

※MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定は、それぞれの機器の取扱説明書を見ながら行ってください。MDデッキの場合は、アナログ録音の項目をご覧ください。

7. MDデッキまたは、カセットデッキの録音を開始します。

8. 録音したい番組が終了したら、MDデッキまたは、カセットデッキの録音を終了させてください。

5 デジタル入力された信号をMDまたは、カセットテープに録音する場合 (BS、CSなどのデジタル音声を録音する場合)

1. 外部のデジタル出力機器の電源を入れます。

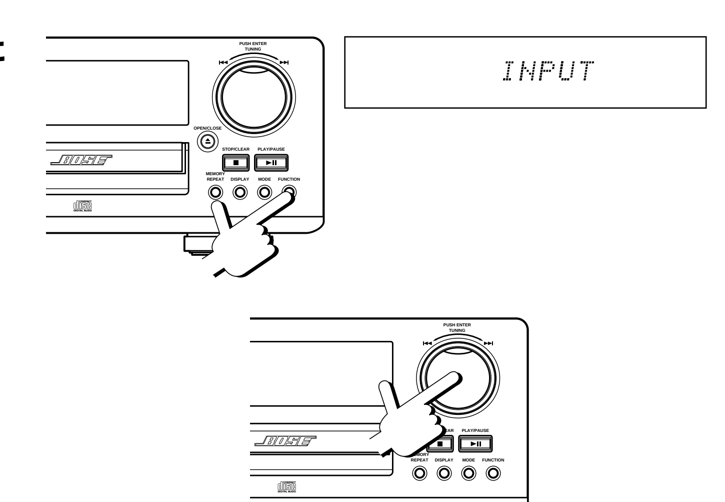
2. MDデッキまたは、カセットデッキの電源を入れます。

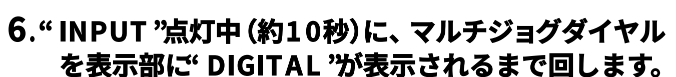
3. 本機の電源を入れます。

4. 本機のFUNCTION(ファンクション)キーを表示部に“ INPUT ”と表示されるまで押してください。

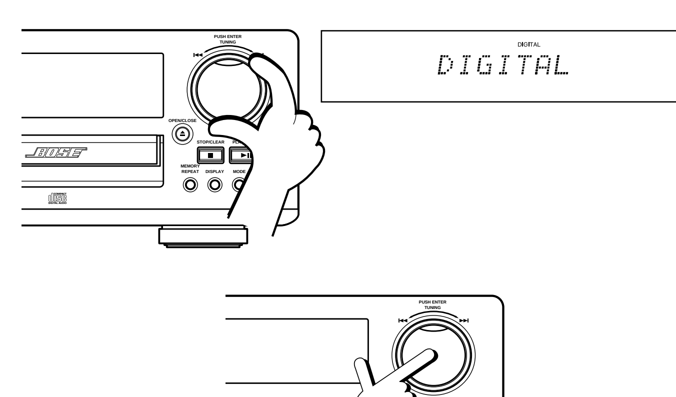
※リモコンのDIGITALキーを押してもデジタル入力モードに変えられます。

5. 表示部が点滅している間(約10秒)にマルチジョグダイヤルを押します。





6. “ INPUT ”点灯中(約10秒)に、マルチジョグダイヤルを表示部に“ DIGITAL ”が表示されるまで回します。



7. マルチジョグダイヤルを押します。

8. 録音用のMDまたは、カセットテープをMDデッキまたは、カセットデッキにセットします。

9. MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定を行います。

※MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定は、それぞれの機器の取扱説明書を見ながら行ってください。MDデッキの場合は、本機からのデジタル出力を使って録音することができます。ただしBS、CS音声の中にはデジタルで録音できない内容のもの(シリアルコピーマネージメント)があります。そのような放送を録音する場合はカセットデッキに録音する場合と同じようにアナログで録音してください。

10. MDデッキまたは、カセットデッキの録音を開始します。

11. 録音したい番組が終了したら、MDデッキまたは、カセットデッキの録音を終了させてください。

6 AUX入力端子からの入力信号をMDまたは、カセットテープに録音する場合

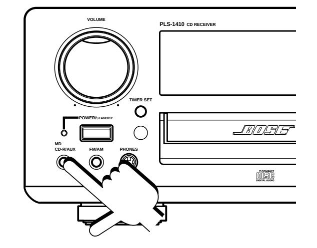
1. AUX入力端子につながれている外部の機器の電源を入れます。

2. MDデッキまたは、カセットデッキの電源を入れます。

3. 本機の電源を入れます。

4. 本機のMD CD-R/AUXキーを表示部に“AUX”と表示されるまで押してください。

※リモコンのMD CD-R/AUXキーを押してもAUX入力モードに変えられます。



5. AUX入力端子につながれている機器で録音したい音声を再生します。

6. 録音用のMDまたは、カセットテープをMDデッキまたは、カセットデッキにセットします。

7. MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定を行います。

※MDデッキまたは、カセットデッキの録音の設定は、それぞれの機器の取扱説明書を見ながら行ってください。本機からはアナログの信号が出力されます。MDデッキの場合は、アナログ録音の項目をご覧ください。

8. 設定が終了したら、AUX入力端子につながれている機器の再生を停止します。

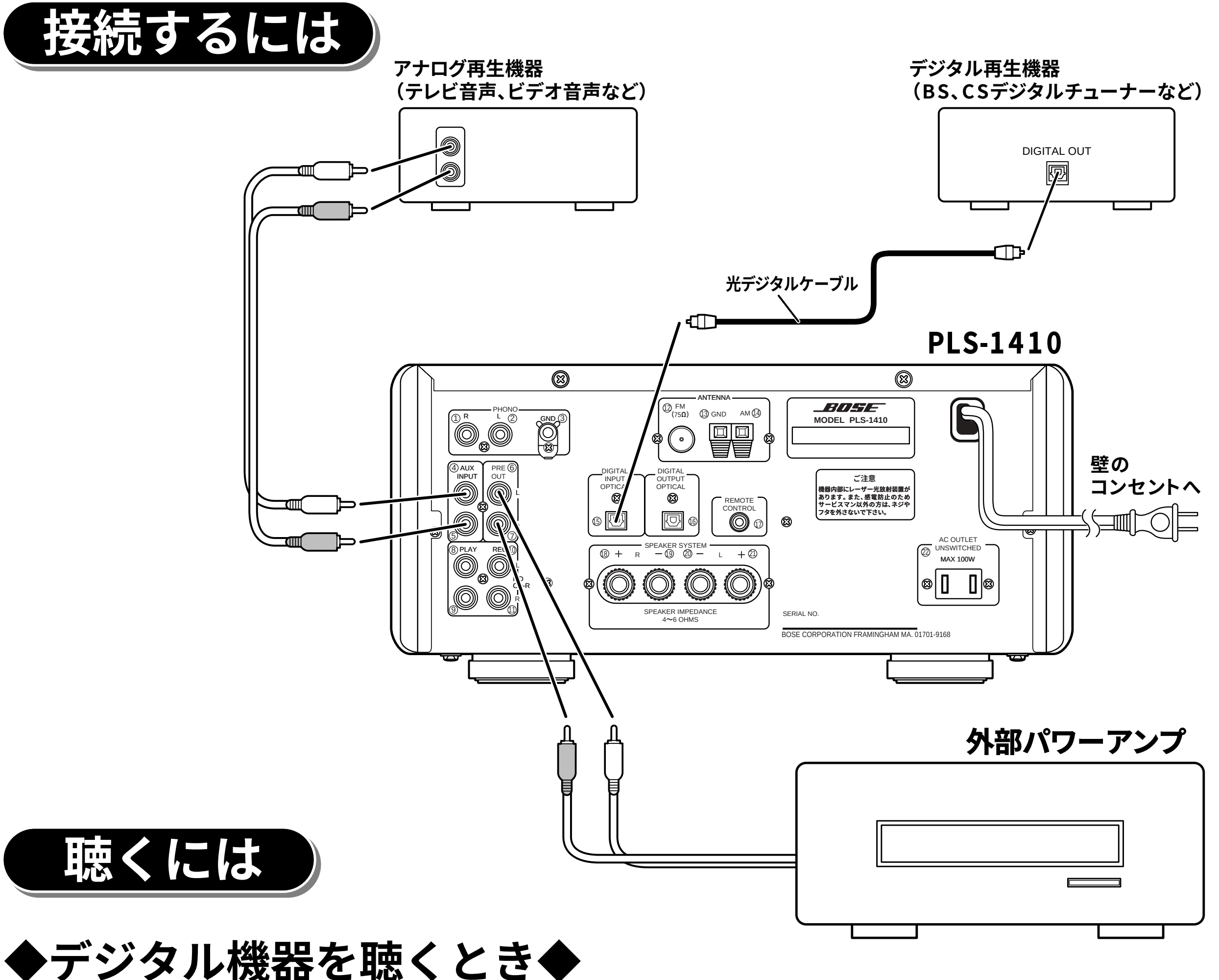
9. MDデッキまたは、カセットデッキの録音を開始します。

10. 録音したい音声の再生が終了したら、MDデッキまたは、カセットデッキの録音を終了させてください。

外部の機器との接続（つづき）

C その他の機器を接続する場合

接続するには



聴くには

◆デジタル機器を聴くとき◆

DVDプレーヤーの光デジタル出力を接続する場合は、次の点にご注意ください。

・光デジタル出力端子から信号が出力されることを確認してください。

・デジタル信号がPCMであることを確認してください。ドルビーデジタルやDTSなどの信号は本機では再生できません。

ドルビー、DOLBY、AC-3、PRO LOGIC、およびダブルD記号 DD は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
" DTS "はDTS Technology LLCの商標です。

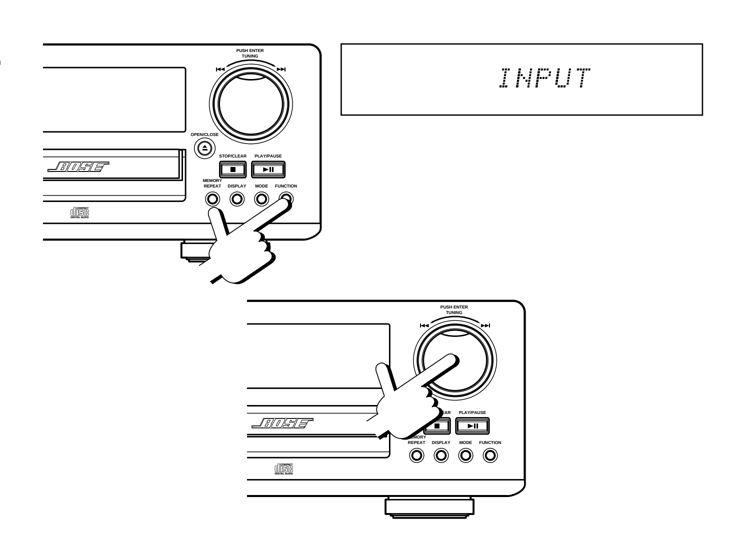
1. 外部デジタル再生機器の電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

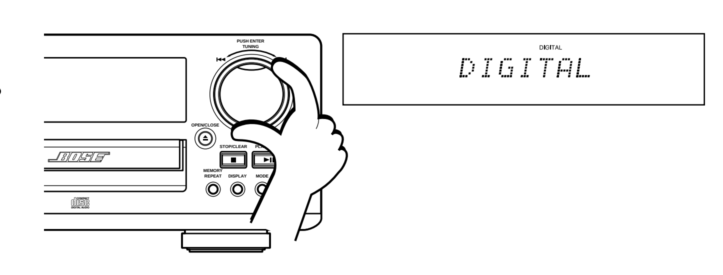
3. 本機FUNCTION（ファンクション）キーを表示部に " INPUT "と表示されるまで押してください。

※リモコンのDIGITALキーを押してもデジタル入力モードに変えられます。

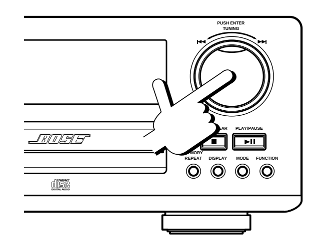
4. 表示部が点滅している間（約10秒）にマルチジョグダイヤルを押します。



5.“ INPUT ”点灯中（約10秒）にマルチジョグダイヤルを表示部に“ DIGITAL ”が表示されるまで回します。

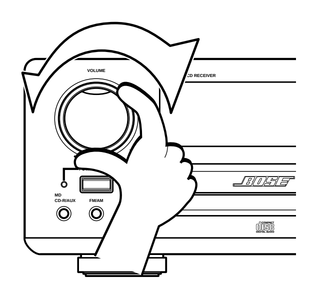


6. マルチジョグダイヤルを1回押します。



7. 外部デジタル再生機器でお聴きになりたい音声を再生します。

8. 本機のVOLUME（ボリューム）つまみを回して音量を調節してください。



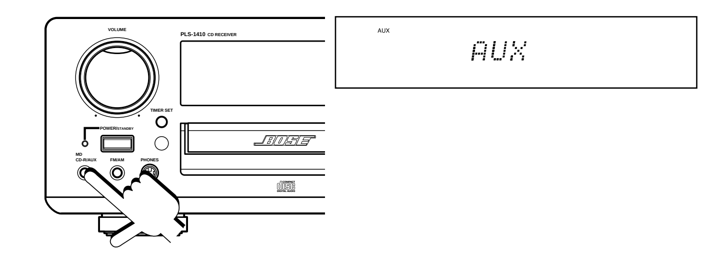
◆アナログ機器を聴くとき◆

1. 外部アナログ再生機器の電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。

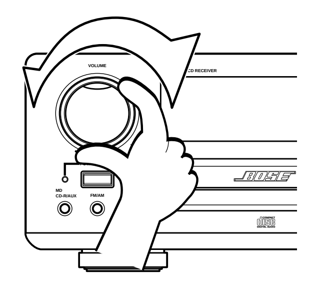
3. 本機MD CD-R/AUXキーを表示部に“ AUX ”と表示されるまで押してください。

※リモコンのMD CD-R /AUXキーを押してもAUX入力モードに変えられます。



4. アナログ再生機器でお聴きになりたい音声を再生します。

5. 本機のVOLUME（ボリューム）つまみを回して音量を調節してください。



●外部のパワーアンプを使うには

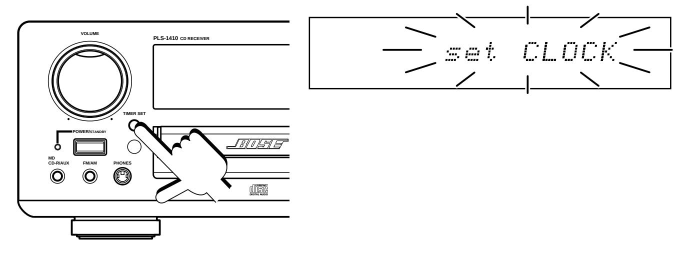
本機のPRE OUT端子からは、本機のVOLUMEに連動する（可変）音声信号が出力されます。この端子にパワーアンプを接続することで、よりお楽しみいただけます。

タイマーセットのしかた

◆タイマーセットのしかた◆

1. 本機の電源を入れます。

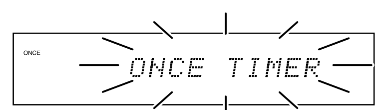
2. 本機のTIMER SET（タイマーセット）キーを2秒以上押し続けます。



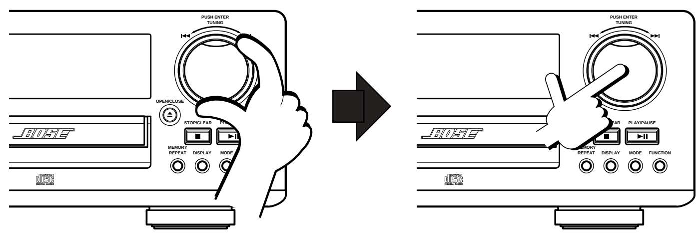
※現在時刻の設定がされていない場合、表示部に“ Set CLOCK ”が表示されます。この場合は13ページの「時計合わせについて」を参照して、現在時刻に合わせてください。



3. 表示部の“ ONCE TIMER ”が点滅します。



4. 点滅中（約10秒）にマルチジョグダイヤルを回して



・“ ONCE TIMER ”
（ワンスタイマー／1回だけのタイマーによるON/OFF）

・“ EVERY TIMER ”
（エブリタイマー／毎回同じ時刻にON/OFF）

のどちらかを表示させて、マルチジョグダイヤルを押します。



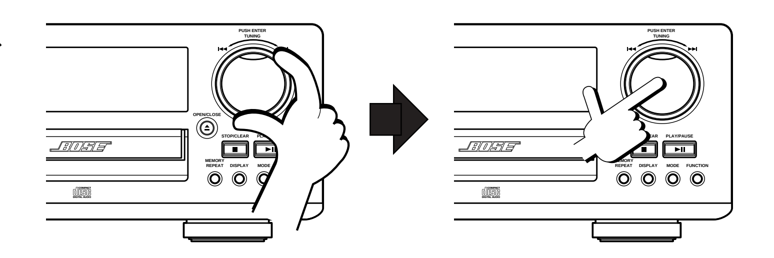
“ EVERY TIMER ”を選んだ場合

マルチジョグダイヤルを回して、以下3種類のうちの一つを選んでジョグダイヤルを押してください。

・“ EVERY DAY ”（エブリデー／毎日）
・“ MON to FRI ”（マンデー トゥ フライデー／月曜日から金曜日までの毎日）
・“ MON to SAT ”（マンデー トゥ サタデー／月曜日から土曜日までの毎日）

5. 音源を選びます。

マルチジョグダイヤルを回して希望の音源を表示させて、マルチジョグダイヤルを押してください。



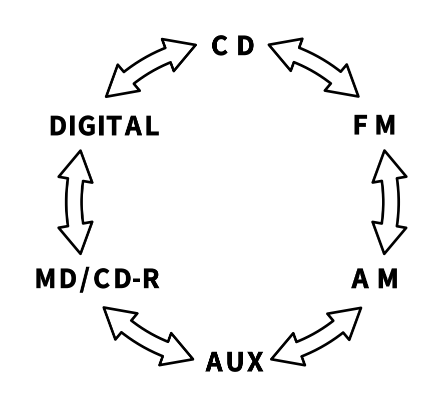
※AUX、DIGITALについてタイマーでONする時刻にそれらの端子につながれた機器から音声が入力されている必要があります。



・CDを選んだ場合
CDはプログラム再生やランダム再生でも設定できます。プログラムは電源を切る前にセットしておきます。

・FM/AMを選んだ場合
最後に聴いていた放送局がタイマーでONします。もし希望の放送局でタイマーをONさせたい場合は、タイマーセットの操作に入る前にその放送局を受信しておいてください。

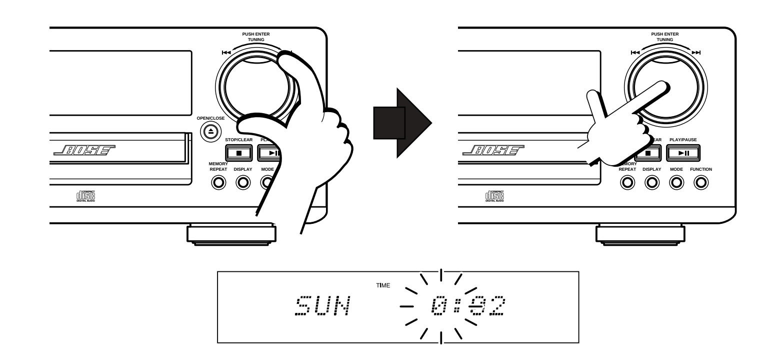
・MD/CD-Rを選んだ場合
ボーズ社のCDR-1410をご使用になっていて、リモートコントロールケーブルが正しく接続されていれば、タイマーONの時刻になると自動的にCDR-1410がディスクの再生をはじめます。



タイマーセットのしかた(つづき)

6. タイマーONする『時』を設定します。

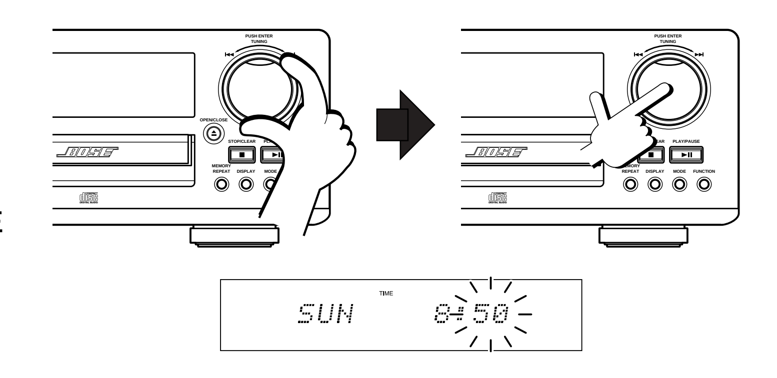
マルチジャグダイヤルを回して希望の『時』に合わせて、マルチジョグダイヤルを押します。表示は24時間表示です。



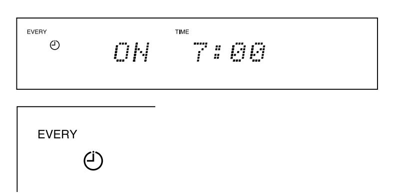
7. 『分』を設定します。

マルチジョグダイヤルを回して希望の『分』に合わせ、マルチジョグダイヤルを押します。

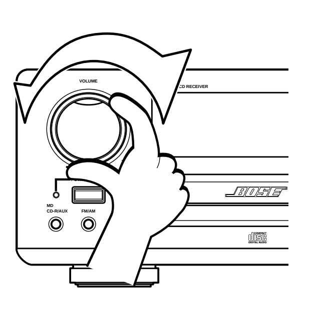
※タイマーONする時刻と、OFFする時刻が同じ場合はジョグダイヤルを押すと、もう一度『時』の設定に戻ります。正しくOFF時刻を設定してください。



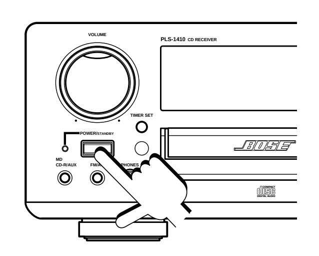
8. 以上の設定が終わると、表示部左上部にインジーケーターが点灯してタイマーがセットされます。



9. ONする時の音量をVOLUME(ボリューム)つまみ回して設定してください。



10. 電源を切ると、設定した時刻にタイマーが働きます。

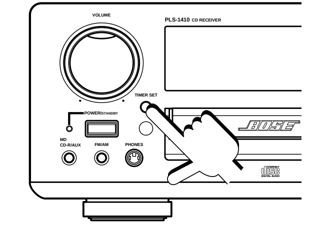


タイマーセットのしかた(つづき)

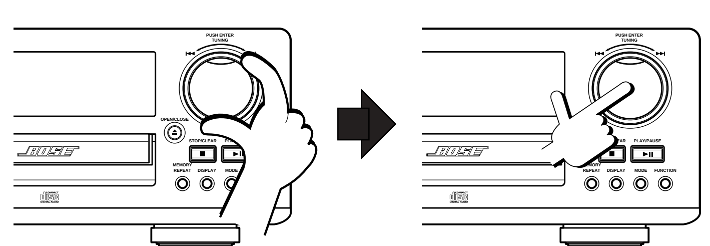
◆タイマーセット、解除のしかた◆

1. **本機の電源を入れます。**

2. **TIMER SET（タイマーセット）キーを1回（2秒以内）押します。**



3. **“ ONCE ON ”が点滅しますので（約10秒）その間にマルチジョグダイヤルを回して**



- “ ONCE ON ”
  （ワンスタイマー オン：ワンスタイマーをセットする）
- “ ONCE OFF ”
  （ワンスタイマー オフ：ワンスタイマーを解除する）
- “ EVERY ON ”
  （エブリタイマー オン：エブリタイマーをセットする）
- “ EVERY OFF ”
  （エブリタイマー オフ：エブリタイマーを解除する）

を選んで、マルチジョグダイヤルを押してください。

※タイマーの設定内容を変える場合は、「タイマーセットのしかた」の操作を行なってください。

4. **タイマーをセットした場合、ONした時の音量をVOLUME（ボリューム）つまみを回して決定してから電源を切ってください。**

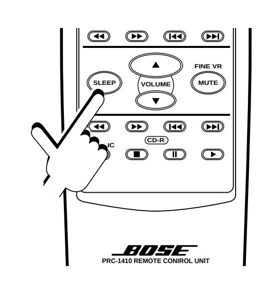
小さい音量で電源を切った場合は、電源が入ったときに少し大きめの音で再生を始める場合があります。

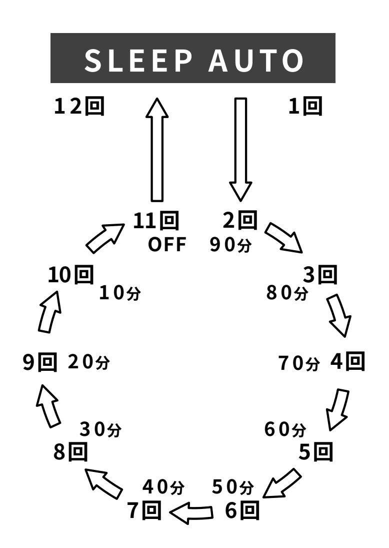
スリープ(SLEEP)タイマーの使い方

スリープタイマーとは、セットすると一定時間後に電源が切れる機能です。

※スリープタイマーは、リモコンでセットします。

スリープタイマーがセットされると表示部がうす暗いディマーモードに変化します。リモコンのSLEEP（スリープ）キーを押すたびに図のように電源が切れるまでの時間が変ります。



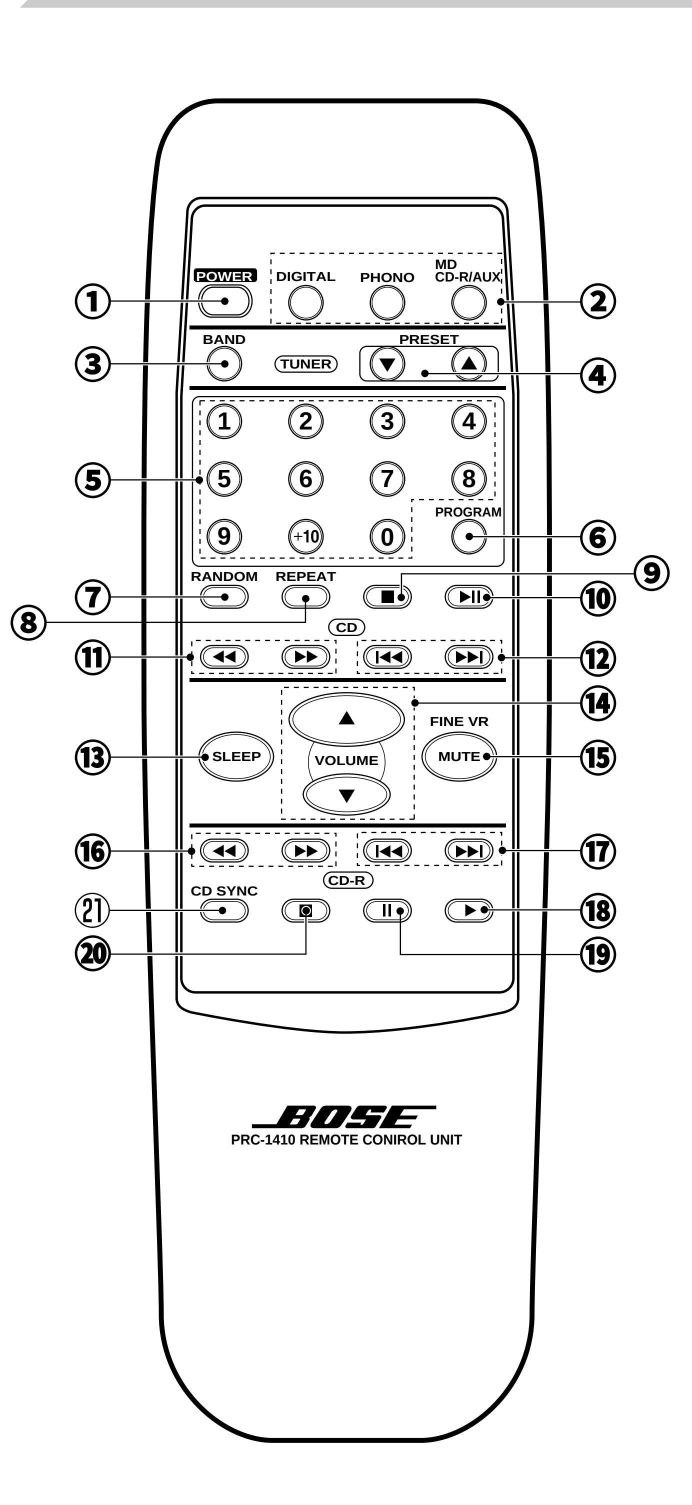


AUTO SLEEP（オートスリープ）とは

本機でCD再生時にオートスリープを選ぶと、本機のCDの再生が終了すると自動的に電源が切れる機能です。

※AUTO SLEEP（オートスリープ）は、チューナーモード、AUXモード、MD/CDモードなどのモードでもセットできますが、電源が自動的に切れるのは本機でのCD再生終了時だけです。

各部の名称および機能/リモコン



① POWER（パワー）キー

電源を入れたり切ったり（スタンバイ）するときにこのキーを押します。

② DIGITAL/PHONO/MD CD-R/AUX（入力切替）キー

外部に接続されている機器からの入力に切り替えるときに使用します。

③ BAND（バンド）キー

チューナーモードに切り替えたり、チューナーモード時にはＦＭとAMを切り替えるときに使用します。

④ PRESET（プリセット）キー

プリセットチャンネルで放送局を選ぶときに使用します。マニュアル、スキャンチューニング時には、このキーを押すとプリセット選局モードに切り替わります。

⑤ 数字キー

演奏曲または、プログラムする曲の順番を指定するときに使用します。例えば、3曲目を指定するときは〈3〉を押します。12曲目の場合は〈+10〉を一度押した後、〈2〉を押します。

⑥ PROGRAM（プログラム）キー

CDの中から好きな曲を選んで再生するプログラム再生の曲順を、プログラムするときに使用します。

⑦ RANDOM（ランダム）キー

CDの曲やプログラムした曲順を、ランダム（順不同）に再生するときに押します。またランダム再生モード時に、このキーを押すと、ランダム再生モードが解除されます。

⑧ REPEAT（リピート）キー

CDの曲を繰り返し再生するときに、このキーを押します。キーを押すたびに、全曲リピート→1曲リピート→リピート解除→全曲リピートの順に切り替わります。

⑨ ■（CDストップ）キー

CDの再生を停止するときに、このキーを押します。

⑩ ►II（CDプレイ／ポーズ）キー

CDの再生を開始したり、再生中は一時停止（ポーズ）にするときに、このキーを押します。

⑪ ◄◄/►►（CD早戻し／早送り）キー

このキーを押している間、CDを早戻し、早送りできます。

各部の名称および機能/リモコン(つづき)

⑫ ⏮/⏭（CD選局）キー

⏭ を押すと、次の曲に進みます。プログラム再生時には、次のプログラム曲へ移ります。ランダム再生時には、次の曲をランダムに選びます。
⏮ を押すと、現在再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと、1つ前の曲の頭に戻ります。プログラム再生中は、再生中の頭に戻ります。

⑬ SLEEP（スリープ）キー

スリープタイマーをセットするときに使います。

⑭ VOLUME▲（UP／アップ）▼（DOWN／ダウン）キー

▲ キーを押すと、音量が上がります。また、ミュート（一時消音）中にこのキーを押すと、ミュートが解除されます。
▼ キーを押すと、音量が下がります。また、ミュート中にこのキーを押すと、ミュートが解除されます。

⑮ MUTE（ミュート／一時消音）キー

このキーを押すと、一時的に音を消します。ミュート中にこのキーを押すと、ミュートが解除されます。また、このキーを2秒以上押すと、ファイン・ボリューム・コントロールモードになります。ファイン・ボリューム・コントロールモードになると、リモコンのVOLUME（ボリューム）キーでの音量の微調整が可能になります。解除するには、このキーを2回押すか、電源を切ると解除されます。

⑯ ◀◀/▶▶（CD-R早戻し／早送り）キー

システム接続されているCDR-1410で再生中のディスクの早戻し、早送りができます。

⑰ ⏮/⏭（CD-R選局）キー

システム接続されているCDR-1410をコントロールできます。⏮ キーを押すと、1曲戻ります。再生中にこのキーを押すと、曲の頭に戻ります。続けてもう一度このキーを押すと、1つ前の曲の頭に移ります。RECポーズ中に⏮ キーを押すと、指定録音曲数※を減らすことができます。⏭ キーを押すと、次の曲の頭の移ります。RECポーズ中に ⏭ キーを押すと、指定録音曲数を増やすことができます。

※CDR-1410の取扱説明書の「曲数を指定して録音するには」を参照してください。

⑱ ▶（CD-Rプレイ）キー

このキーを押すと、システム接続されているCDR-1410にディスクがセットされている場合は、再生を開始します。CDR-1410がRECポーズ状態のときにこのキーを押すと、録音が開始します。

⑲ ⏸（CD-Rポーズ）キー

このキーを押すと、システム接続されているCDR-1410の再生を一時停止します。また、一時停止中にこのキーを押すと、再生をはじめます。

⑳ ■（CD-Rストップ）キー

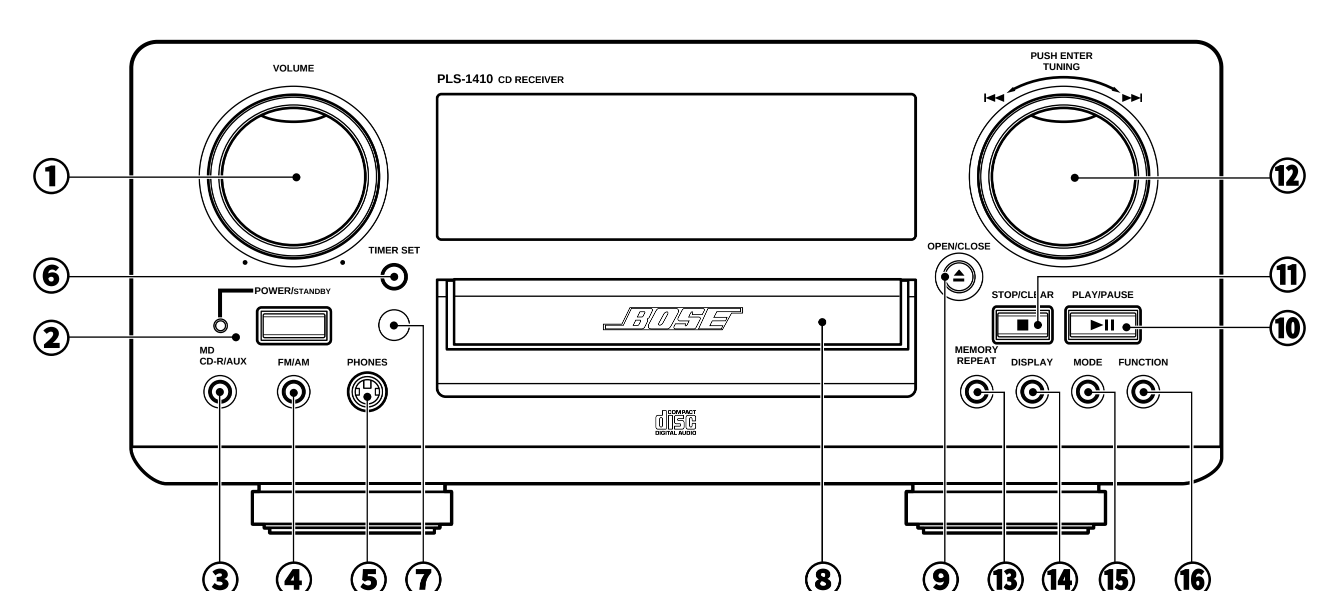
このキーを押すと、システム接続されたCDR-1410のディスクの再生を停止したり、録音を停止します。

㉑ CD SYNC（CDシンク）キー

本機に録音したいCDをセットして、システム接続されているCDR-1410に録音可能なディスクがセットしてあるときこのキーを押すと、本機はポーズ状態になり、CDR-1410はRECポーズ状態になります。また、CDR-1410、CDR-1410用リモコン、⑱ ▶、⑲ ⏸キーのいずれかを押すと録音がスタートし、録音終了後にCDR-1410が自動的にストップします。

※この機能をお使いになるには、CDR-1410の「録音のための設定」をする必要があります。CDR-1410の取扱説明書を参照してください。

各部の名称および機能/前面



① VOLUME（ボリューム/音量調整）つまみ

つまみを時計まわりに回すと音が大きくなり、反時計方向に回すと音が小さくなります。回転型モーター駆動ボリュームを採用していますので、リモコンでもUP/DOWNができます。

② POWER/STANDBY（パワー/スタンバイ）キーと STANDBY（スタンバイ）インジケーター

1回押すと表示部に“ Welcome ! ”と表示して電源が入ります。もう1回押すと、電源が切れてスタンバイ状態になります。このとき、表示が消灯しSTANDBYインジケーターが点灯します。

※入力モード（CD、FM/AM、MD/CD-R、AUX）はラストメモリーです。POWERスイッチで電源を再び入れたときは、電源を切る前の設定になります。

③ MD CD-R/AUX（入力切り替え）キー

MDまたはCD-RとAUXの切り替えを行うキーです。入力モードがCDやチューナーの場合は、1回押すと入力信号がCDからMDまたはCD-R入力に切り替わり、表示が“ MD/CD-R ” に変わります。もう１回押すとAUX入力に切り替わり、表示も “ AUX ” に変わります。キーが押されるたびにMDまたはCD-RとAUXの切り替え動作を繰り返します。

④ FM/AMキー

チューナーモードに切り替えたり、FMとAMを切り替えるときにこのキーを押します。

⑤ PHONES（ヘッドホンジャック）

標準のステレオヘッドホンプラグが使えます。プラグを差し込むと自動的にスピーカーからの音が切れます。

⑥ TIMER SET（タイマーセット）キー

ONCE（ワンス）タイマーのON/OFF、EVERY（エブリ）タイマーのON/OFFを設定するときに押します。またこのキーを2秒以上押すと、タイマーの内容の設定モードになります。マルチジョグダイヤルを使って設定します。

⑦ リモコン受信窓

リモコンの信号を受信します。リモコンはここに向けて操作してください。

⑧ CD（コンパクトディスク）トレー

CDをこのトレーにセットします。CDトレーがイジェクトされた状態で軽く押すとCDトレーがロードされます。

⑨ ⏏ OPEN/CLOSEキー

CDトレーのイジェクトとロードを行います。

●CDモードのとき

1回押すとトレーがイジェクトされ、表示は“ OPEN ”になります。もう1回押すとトレーがロードされます。キーが押されるたびに、これらの動作を繰り返します。CDトレーにCDがセットしてある場合は、CDの全演奏時間を表示します。CDトレーが空の場合は“ NO DISC ”を表示します。

●その他のモードのとき

モードは切り替わることなく、CDトレーのイジェクトとロードを行います。

各部の名称および機能/前面（つづき）

⑩ ►II PLAY/PAUSE（プレイ／ポーズ）キー

CDを再生するときや、一時停止するときにこのキーを押します。CD以外（チューナー、PHONO、MD/CD-R、AUX、DIGITAL）の再生をしているときは、CDに切り替わりCDの再生を開始します。また、スタンバイ時にこのキーを押すと、電源が入り、このときCDトレーにCDがセットしてある場合は、自動的に再生を開始します。CD再生中にこのキーを押すと、一時停止状態になり、さらにもう一度押すと再生を開始します。

⑪ ■ STOP/CLEAR（ストップ／クリア）キー

CD再生時にこのキーを押すと、再生が停止します。また、このキーは時計合わせ、タイマーセット、CDプログラム設定時の項目内容のキャンセル時にも使用します。

⑫ マルチジョクダイヤル

各種設定や、選曲、チューニングなどを行います。

●CDのとき

►►I の方向に回すと、CDの曲が進みます。
I◄◄ の方向に回すと、CDの曲が戻ります。

●チューナーのとき

プリセットメモリーで受信中
►►I の方向に回すと、プリセットチャンネルが進みます。
I◄◄ の方向に回すと、プリセットチャンネルを戻します。

●スキャンチューニングのとき

►►I の方向に回すと、高い周波数へ移りながら放送局を受信し、その周波数で停止します。
I◄◄ の方向に回すと、低い周波数へ移りながら放送局を受信し、その周波数で停止します。

●マニュアルチューニングのとき

►►I に方向に回すと、AMの場合は9kHzずつ、FMの場合は100kHzずつ高い周波数へ移ります。
I◄◄ に方向に回すと、AMの場合は9kHzずつ、FMの場合は100kHzずつ低い周波数へ移ります。

・入力切替、時刻設定、その他設定をするときにこのつまみを回して選び、押して確定します。

⑬ MEMORY/REPEAT（メモリー／リピート）キー

●CDのとき

このキーを押すと、全曲繰り返し再生、一曲繰り返し再生を選びます。

●チューナーのとき

・プリセットしたい放送局を受信時にこのキーを押すと、プリセットチャンネルが点滅をはじめます。チャンネルをマルチジョグダイヤルで選んで、マルチジョグダイヤルを押して確定します。また、プリセットチャンネルを消去したいときは、消去したいプリセットチャンネルをマルチジョグダイヤルを回して選び、このキーを押します。点滅中に ■ STOP/CLEARキーを押します。

・エリアファインメモリーのセットをするときに使います。このキーを2秒以上押してください。マルチジョグダイヤルを回してエリアを選びます。

⑭ DISPLAY（ディスプレー）キー

表示部の表示を切り替えるときに押します。

●チューナーのとき

放送局名→周波数→時計表示→放送局名…
※ただし、放送局名がない場合は飛ばします。

●CDのとき

1曲の経過時間→1曲の残り時間→全経過時間→CD全曲での残り時間→時計表示→1曲の経過時間…

●その他の音源のとき

音源名（PHONO、DIGITAL、MD/CD-R、AUX）の表示と時計表示を切り替えます。

●チューナーのプリセットチャンネルネーム入力中

このキーを押すたびに
A（大文字）→ a（小文字）→ ア（カタカナ）→ ”（記号）→ 0（数字）→ A（大文字）
までスキップします。

●スタンバイのとき

このキーを押すと、省エネモードになります。省エネモード時に押すと、通常のスタンバイモードになります。

⑮ MODE（モード）キー

●CDのとき

通常再生、ランダム再生、プログラム再生を選びます。

●チューナーのとき

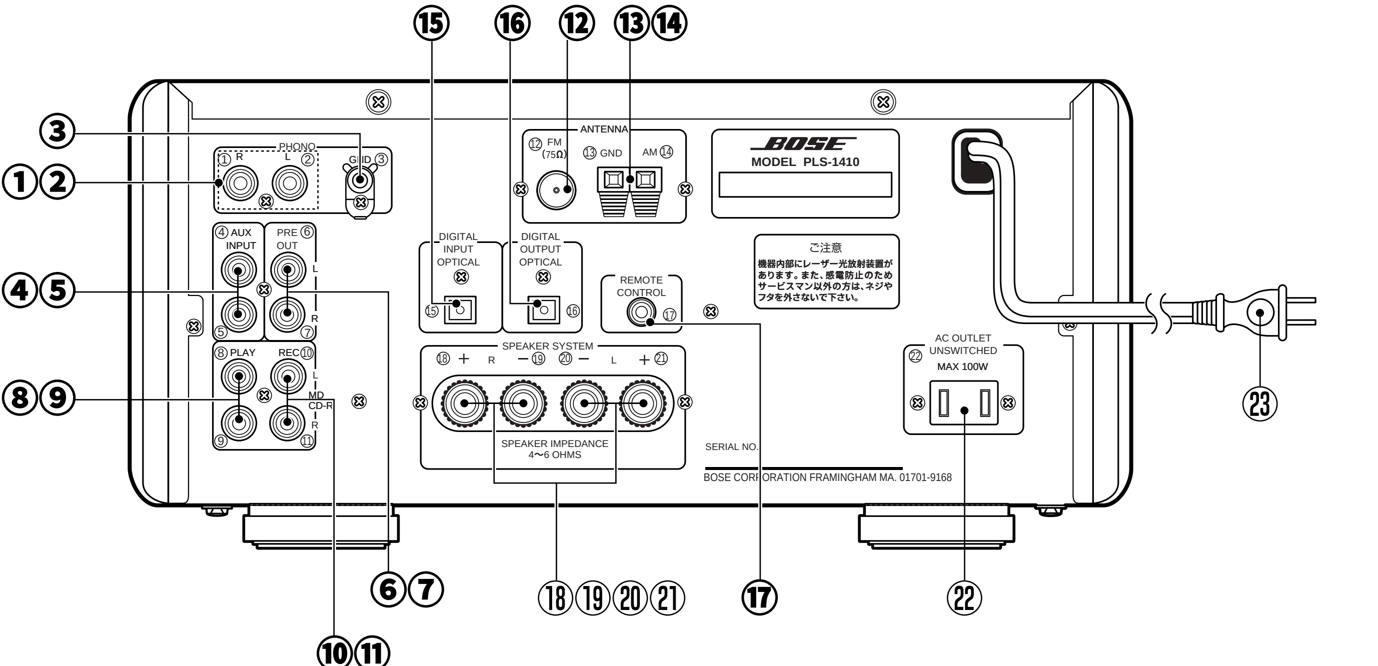
選局モードを選択するときに、このキーを押します。

⑯ FUNCTION（ファンクション）キー

このキーを押して、マルチジョグダイヤルの機能の切り替えを行います。このキーを押すたびに、次のように切り替わります。
INPUT（入力切替）→ TIME ADJUST（時計合わせ）→ SPEAKER EQ（スピーカーイコライザーの設定）→ BALANCE（バランス）→BASS（低音量）→TREBLE（高音量）→CHARACTER※（キャラクター）→INPUT（入力切替）…

※CHARACTER（キャラクター）は、チューナーモード時のプリセットチャンネル受信時のみ表示されます。

各部の名称および機能/背面



①、② PHONO入力端子

レコードプレーヤーの出力をこの入力端子に接続します。

※ここに接続できるレコードプレーヤーは、フォノイコライザーを内蔵していないMM型カートリッジを使用するプレーヤーのみです。

③ GND端子

レコードプレーヤーのGNDをここにつなぎます。

※一部のレコードプレーヤーには、GNDがないものがあります。必ずレコードプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

④、⑤ AUX入力端子

外部からの音声端子を入力するための端子です。

⑥、⑦ PRE OUT端子

ボリュームに連動した信号が出力される端子です。

⑧、⑨ MD/CD-R PLAY端子

外部のMDまたはCD-Rの出力端子からの音声をここに接続します。

⑩、⑪ MD/CD-R REC端子

外部のMDまたはCD-Rの入力端子へここから接続します。

⑫ FMアンテナ端子

FMアンテナを接続する端子です。付属のT型FMアンテナを接続してください。

⑬、⑭AMアンテナ端子

AMアンテナを接続する端子です。付属のAMループアンテナを接続してください。

⑮ DIGITAL INPUT OPTICAL（光デジタル入力端子）

外部のデジタル機器からのデジタル信号をここに入力します。端子はEIAJ角型です。

⑯ DIGITAL OUTPUT OPTICAL（光デジタル出力端子）

外部のデジタル機器からDIGITAL INPUT OPTICAL端子に入力されたデジタル信号や、CD再生時のデジタル信号が出力されます。端子はEIAJ角型です。

⑰ REMOTE CONTROL端子

ボーズ社CDR-1410とこの端子をリモートコントロールケーブルで接続すると、システムとして連動させることができます。

⑱、⑲、⑳、㉑ スピーカー出力端子

スピーカーケーブルを接続する端子です。バナナプラグ対応の大型スピーカーターミナルを採用しています。

㉒ ACアウトレット

外部の機器にAC電源を供給するためのコンセントです。最大100WまでのAC出力です。本機の電源には連動していません。

㉓ 電源コード

商用電源100V 50Hz/60Hzに接続します。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
音が出ない	•電源プラグがしっかり差し込まれていないか、外れている。 •電源が入っていない。 •全てのコードが、完全に接続されていない。 •入力切り換えで正しく選択されていない。 •音量が最小になっている。 •ミュートがかかったままになっている。	•もう一度しっかり差し込み直してください。 •電源を入れてください。 •もう一度コードの接続を確認してください。 •モード(CD、チューナー、TAPE、AUX)を確認してください。 •音量の調整をしてください。 •ミュートを解除してください。
電源が入らない	•電源プラグがしっかり差し込まれていないか、外れている。	•もう一度しっかり差し込み直してください。
ディスクが回らない	•電源コードがしっかり差し込まれていないか、外れている。 •電源が入っていない。 •CDが外れている。裏表が逆にセットされている。 •CDが汚れている。 •CDに傷がついている。 •CDが反っている。	•もう一度しっかり差し込み直してください。 •電源を入れてください。 •レーベル面が上になるようにCDを正しい位置に入れ直してください。 •CDをクリーナー等できれいにしてください。 •傷のないCDをご使用ください。 •反っていないCDをご使用ください。
CDは回るが音が出ない	•スピーカーの接続が間違っている。 •アンプの音量が最小になっている。 •ミュートがかかったままになっている。	•本取扱説明書をもう1度見ながら、正しくつなぎ直してください。 •音量の調整をしてください。 •ミュートを解除してください。
CDは回るが途中で回らなくなり止ってしまう	•CDが汚れている。 •CDに傷がついている。 •CDが反っている。	•CDをクリーナー等できれいにしてください。 •傷のないCDをご使用ください。 •反っていないCDをご使用ください。
音が途切れる	•CDが汚れている。 •CDに傷がついている。 •CDが反っている。	•CDをクリーナー等できれいにしてください。 •傷のないCDをご使用ください。 •反っていないCDをご使用ください。
リモートコントロール操作ができない	•リモコンの送信窓が、正しく本体の受信窓に向けられていない。 •リモコンの送信窓と本体の受信窓の間に障害物等がある。 •リモコンの電池が逆に入っている。 •リモコンの電池が消耗している。 •本体の受信窓に他の強い光が当たっている。 •インバーター採用の蛍光燈が製品のすぐ近くにある。	•受信窓に正しく向けてください。 •障害物等を取り除いてください。 •電池を正しく入れてください。 •電池を新しいものに交換してください。 •光が当たらないようにしてください。 •蛍光燈を遠ざけてください。
ラジオの放送が聞こえない、または聞き苦しい	•アンテナが接続されていない。 •アンテナの向きや位置が悪い。 •近くでノイズを発するものを使用している。	•アンテナを正しく接続してください。 •アンテナの向きを位置を調整し直してください。 •蛍光燈やドライヤーなどの電気機器を近くで使用しないでください。
放送がステレオにならない	•方送内容がモノラルである。 •マニュアルチューニングモードになっている。 •マニュアルチューニングモード(強制モノラルモード)で登録した。	•ステレオの放送を受信する。 •チューナーの プリセットスキャン、オートスキャンモードにしてください。 •マニュアルモード(強制モノラルモード)の場合はステレオになりません。

故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、ボーズサービスセンター事業部 ☎ 045-979-0821
製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社、インフォメーションセンター ☎ 03-5489-0955
までご連絡ください。

仕様

〈総合〉

外形寸法	299(W)×131(H)×371(D)mm
質量	8.1kg
定格消費電力	90W（IEC 60065）
待機時消費電力	1W（スタンバイ時：省エネモード時）
光デジタル入出力端子装備	

〈CDプレーヤー部〉

再生周波数帯域	20Hz～20kHz ±1dB
ダイナミックレンジ	98dB以上(1kHz A-WTD)
SN比	98dB以上 (A-WTD)
全高調波歪率	0.005%以下 (1kHz 0dB)
チャンネル・セパレーション	85dB以上（1kHz）
ワウ・フラッター	測定限界値以下

〈アンプ部〉

定格出力	55W＋55W (1kHz、THD 0.1%、6Ω)
再生周波数帯域	20Hz～100kHz (±3dB、AUX入力、6Ω、IW、EQポジション：OTHERS)
SN比	90dB以上 (AUX入力、A-WTD)
REC OUT出力レベル	1.5V
PRE OUT出力レベル	1.0V
入力感度/入力インピーダンス	MD/CD-R、AUX：250mV/47kΩ PHONO：2.5mV/47kΩ
RIAA偏差	20Hz～20kHz ±0.5dB

〈チューナー部〉

(FM)

周波数範囲(STEP)	76.0～90.0MHz(100kHzステップ)
実用感度	13dBf
SN比	76dB以上
全高調波歪率	0.3%（at 65dBf、1kHz、mono）以下
周波数特性	30Hz～15kHz（±3dB）
セパレーション	45dB（at 1kHz）以上

(AM)

周波数範囲(STEP)	522～1629kHz（9kHz ステップ）
実用感度	45dBμV/m
SN比	50dB以上
全高調波歪率	1%以下

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。



http://www.bose.co.jp/

ボーズ株式会社

〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル TEL 03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。